



沖縄県薬剤師会報

No.265. 2013(平成25年) 7・8月号



沖縄県薬剤師会

目次

巻頭言	薬剤師全体の資質の底上げのための教育・研修体制の確立 …… 田場 英治…(1)
会務ハイライト	平成25年度新任・新人薬剤師研修会報告 …… 田場 英治…(2)
	平成25年度新任・新人薬剤師研修会集合研修評価表回答結果…(4)
実務実習	平成25年度第Ⅰ期薬学生実務実習報告 …… 我喜屋美香…(7)
	平成25年度薬学生実務実習Ⅰ期生からの体験記・感想…(8)
	楠見僚平・松島亜紀・上原佳子・知花理子・仲村渠典華・平敷善彦 喜友名尚子・比屋根倫子・三田井菜菜子・宇根由紀乃・當眞彩
啓蒙・普及活動	薬剤師職能の啓蒙活動について …… 大城 喜仁…(9)
	「しごとミュージアム」「グッジョブ・サマースクール」「テレビ・コマーシャル」 しごとミュージアム参加報告 …… 三田井菜菜子・楠見僚平…(16)
	テレビ・コマーシャル放送内容…(17)
	広報委員長のうらかた日記 …… 宮城 敦子…(18)
	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 6.26ヤング街頭キャンペーン ……(19)
研修会	第6回スキルアップ研修会報告 …… 島袋さゆり…(20)
薬業連合会	平成25年第58回沖縄県薬業連合会理事会・総会及び懇親会報告 …… 稲福 文隆…(22)
部会だより	学薬だより「騒音測定ならびに測定器の借用について」…(23)
	平成25年度(第41回)学校薬剤師部会総会・研修会報告 …… 村田 成夫…(24)
	学校薬剤師について、知っていますか?～学薬活動20年間の変遷～…(25)
	第9回保険薬局部会総会報告 …… 川上 善久…(26)
	保険薬局部会研修会報告 …… 川上 善久…(27)
	女性薬剤師部会通常総会報告 …… 長元 恒子…(28)
	女性薬剤師部会主催 第13回漢方講座報告 …… 村田美智子・與儀明美・高尾勝子…(30)
	漢方講座用 症例に関する質問票&問診票 ……(33)
	日本女性薬剤師会学術講演会報告 …… 狩俣 イソ…(35)
	平成25年度日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部会報告 …… 森下 彰久…(36)
	第42回沖縄県病院薬剤師会通常総会報告 …… 外間 惟夫…(37)
その他会務報告	沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊 …… 大城 喜仁…(42)
寄稿	沖縄戦殉職医療人之碑に参拝しておもう …… 笠原 大吾…(43)
会議レポート	平成25年度医薬分業対策担当者全国会議報告 …… 川上 善久…(44)
地区だより	第11回北部地区薬剤師会定時総会報告 …… 北部地区薬剤師会事務局…(46)
	一般社団法人那覇地区薬剤師会総会 …… 那覇地区薬剤師会事務局…(48)
	南部地区薬剤師会総会報告 …… 新垣 秀幸…(49)
	平成24年度中部地区薬剤師会総会報告 …… 普久原 隆…(50)
	在宅医療ネットワーク作りについてのアンケート結果報告 …… 亀谷 浩昌…(51)
月例相談会	第108回健康とおくすり相談会報告(那覇地区薬剤師会) …… 眞榮城紀美子…(52)
D I	薬事情報おきなわNo.223 …… 薬事情報センター…(53)
県民の皆様へ	あまくま薬立つ情報…(63)
薬学の歴史	第19回 薬剤師、マースシャル…(64)
	第20回 アメリカ植民地時代の最初の病院…(65)
薬草学	身近な薬草を知ろう 第9回 トウガン…(66)
リレー随筆	私の沖縄ライフ …… 金城奈々美…(68)
青年部	燃えろ! 青年団 鈴木 毅さん …… 伊差川サヤカ…(69)
卒煙物語	その41 未成年者喫煙禁止法と治療 …… えん こ…(70)
薬連だより	国会レポート～一般医薬品のインターネット販売と参議院選挙～ …… 藤井もとゆき…(71)
理事会	平成25年度第2回定例理事会議事概要…(72)
	平成25年度第3回臨時理事会議事概要…(76)
	平成25年度第4回定例理事会議事概要…(76)
転載記事	週刊「ほ〜むぶらざ」の彩職賢美に高江洲はつよ先生…(82)
	琉球大学大学院学位取得した砂川智子先生…(84)
会務報告	平成25年6月〜7月末日分(沖縄県薬剤師連盟会務報告)…(85)
一包一話	ユンタク、ヒンタク …… 橋 の 下…(90)
表彰	渡嘉敷見先生・西登貴世先生・玉山善正先生が薬物乱用防止協会より感謝状を受賞…(92)
誌上	具志堅興永先生 謹んでご冥福をお祈り申し上げます…(92)
会員作品	誌上ギャラリー(裏表紙)について…(92)
編集後記	…(95)
お知らせ	第8回スキルアップ研修会の開催案内 …… 開局委員会…(21)
	第2回日本くすりと糖尿病学会学術集会開催案内…(45)
	地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい! ……(47)
	県薬が会員に販売している印刷物等…(47)
	会報原稿募集のご案内…(91)
	第27回沖縄県薬剤師会学術大会の演題の募集について …… 薬剤師学術研修委員会…(93)

巻 頭 言



薬剤師全体の資質の底上げのための 教育・研修体制の確立

専務理事 田場 英治



私は県立病院薬剤師として35年間勤め、県立中部病院を最後に、今年の3月定年退職しました。今度は違う角度から薬剤師業務を視てみたいと思い、今年の6月、沖縄県薬剤師会の専務理事に就任しました。

昭和35年に現在の薬剤師法が制定されてから50年余が経過しました。その間、劇的な変化を遂げたのが調剤業務に対する概念です。第一世代は調剤・用法指示、第二世代は処方内容の確認、医薬連携が加わり、第三世代は患者インタビュー、服薬指導、薬歴管理が加わり、第四世代は処方意図の解析、薬剤情報提供、薬歴管理活用、リスクマネジメント、患者服薬情報提供、薬薬連携が加わり、第五世代は後発医薬品の調剤、在宅調剤、モニタリング、他職種連携、コンサルテーションがさらに加わり、調剤業務のグレードアップが必要です。薬剤師の基本は「第五世代の概念に基づいた正しい調剤をすること」が県民のためになることです。どんな素晴らしい他の業務をしていますが、調剤過誤を犯してしまうと一瞬にして信頼を失います。そのためには、一定のレベルまで薬剤師全体の資質の底上げを図るための教育・研修体制の確立が必要です。

聖マリアンナ医科大学病院の薬剤部部長の

増原先生とお話をする機会がありました。増原先生は、「当院の薬剤部は私が赴任した2001年から“ファーマシューティカルケアの実践”を理念に掲げてきた」と話し、キャリアに応じた研修内容で継続的なスキルアップを図り、新人研修では臨床薬剤業務を5～6年目の薬剤師がマンツーマンで新人に付き、さらに、より経験のある薬剤師がフォローに当たっています。また、上級レベルのEBM実践研修も充実しています。薬物治療では臨床上の課題を抽出し、それに関する情報を検索・整理してアセスメントを行い、投与計画に結び付けることが求められています。論文を読んでいる薬剤師が多いと思いますが、それを評価し有効性と限界を把握できなければ、臨床に応用できません。

薬学教育が6年制となった現在、私の薬剤師像は、医師と対等の立場で投与計画についてカンファランスしている光景です。がしかし、今の大学教育ではその実現に程遠い感じがします。大学側と日本薬剤師会・日本病院薬剤師会が連携を密にして、きちんとしたカリキュラムを確立することが必要です。沖縄県薬剤師会でも薬剤師の質の底上げのための教育・研修制度の確立に向けて頑張っていきます。ご協力よろしくお願いします。

会務ハイライト

平成25年度新任・新人薬剤師研修会報告

会 期：平成25年 7 月21日（日）

会 場：（施設見学）沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局
（研 修 会）沖縄県薬剤師会館 ホール

共 催：沖縄県薬剤師会・沖縄県病院薬剤師会



薬剤師学術研修委員会
田場 英治

平成25年度新任・新人薬剤師研修会が、去る7月21日（日）沖縄県薬剤師会館ホールで開催された。今年は若い薬剤師の参加が特に目立ち、更に実務実習期間中の薬学生の参加も多かった。参加者の内訳は薬局薬剤師38人、病院薬剤師33人、その他1人、薬学生8人で、過去最多の参加数であった。

講義の前には、自由参加で沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局の施設見学が行なわれ、同病院薬局の長田茂薬局長と城間玲子副薬局長が対応された。

研修会は、薬剤師学術研修委員会の渡具知一枝副委員長の司会のもとに進行。

研修会前のランチョンセミナーは、協和発酵キリン株式会社の山口友弥氏が「オングリザの有用性」について講演された。

開催のあいさつを松山朝雄学術担当理事が、新任・新人薬剤師に対する期待と薬のプロとして自己研鑽を続けて欲しいとあいさつし、講義に入った。

講義1「医薬品情報について」は、那覇市立病院の野口直美先生が講演。野口先生は、医薬品情報業務の内容（整理・分類・評価・加工・提供）、収集方法や情報源、そして効率的な情報調査の方法や検索の仕方、インタビューフォーム（IF）、副作用の機序別分類などについて事例をあげて講演された。

講義2「薬歴の書き方について」は、当会医療保険担当理事の吉田洋史先生が講演。例年、薬歴の目的、書き方の基本について総論と実例を示しながらの講演であったが、吉田先生の講演は医薬分業法制定と闘争史の話か

ら始まった。“医薬分業60パーセント時代”は先人薬剤師の努力と活動によって実現したという話で、過去から現在の流れを知っていただいたうえで、「患者さんに対して薬剤師はどのようにアプローチすればよいのか」という講話に入った。薬剤師の3つの役割として、STEP1“薬”（剤形、調剤方法、管理方法の選択）、STEP2“患者”（薬効、副作用、体調チェック）、STEP3“多職種&薬薬連携”をあげられ、在宅医療やフィジカルアセスメントという言葉だけに注目せず、ヘルスアセスメントをすることが地域医療の原点であることを強調された。

講義3「フィジカルアセスメントについて」は、同研修会では初めて取り上げた項目で、琉球大学医学部附属病院薬剤部の佐久川卓先生が講演。薬剤師がフィジカルアセスメントするメリットは正しい知識・技術を習得し、薬の副作用を早期に発見して、薬物治療を安全に提供できることだという内容だった。

その後、学校薬剤師部会副部会長の笠原大吾先生が「学校薬剤師部会について」、青年薬剤師部会部会長の石川恵市先生が「青年薬剤師部会について」、それぞれの紹介と参加呼びかけがあった。

最後に、外間惟夫薬剤師学術研修委員会委員長のあいさつで閉会となった。

今回の研修会は若い薬剤師と薬学生の参加が多く、また講義内容も興味深く、実り多い研修会であった。参加した若い薬剤師と薬学生の、今後の県薬剤師会活動への積極的な参加を期待したい。

<施設見学>		沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局（自由参加）		11:00～11:45
製品説明「オングリザの有用性に関して」		協和発酵キリン(株) 山口 友弥		12:00～12:50
<研修会>		13:00～16:40	司 会 薬剤師学術研修委員会副委員長	渡具知一枝
1. あいさつ			学術担当理事	松山 朝雄
2. 医薬品情報について	13:05～14:05	那覇市立病院薬局	野口 直美	
3. 薬歴の書き方について	14:05～15:05	医療保険担当理事	吉田 洋史	
————— 休 憩		15:05～15:20（15分）	—————	
4. フィジカルアセスメントについて	15:20～16:20	琉球大学医学部附属病院薬剤部	佐久川 卓	
5. 学校薬剤師について	16:20～16:30	学校薬剤師部会 副部会長	笠原 大吾	
6. 青年薬剤師部会紹介	16:30～16:40	青年部会 部会長	石川 恵市	
7. 閉会のあいさつ	16:40	薬剤師学術研修委員会委員長	外間 惟夫	

< 講 師 陣 >



野口 直美氏



吉田 洋史氏



佐久川 卓氏



笠原 大吾氏



石川 恵市氏



山口 友弥氏



松山 朝雄 学術担当理事



神村 武之 会長



外間 惟夫 委員長



渡具知 一枝 副委員長



集合研修評価表
実施日：平成25年 7月21日
研修会名：平成25年度新任・新人薬剤師研修会
場 所：沖縄県薬剤師会館ホール

今後の研修会の参考にさせていただきますので、今回の研修会に関して下記の項目に従い評価をしてください。該当に○印を、5段階評価の場合は、優れている場合を5、普通を3、劣るものを1として○をつけてください。感想あるいは要望があれば該当欄にご記入ください。

<研修会全体の評価：本日の研修会を客観的に評価して下さい>

項 目		評 価					コ メ ン ト
1. 開催日（曜日）は		適切	不適切→				
2. 開催時間は		適切	不適切→				
3. 研修時間 長さは		適切	不適切→				
4. 会場の広さ・配置		適切	不適切→				
5. 配布された資料は		5	4	3	2	1	
6. スライド（映写状況含）		5	4	3	2	1	
7. 講義内容 資料・ スライド を含む	演題1 医薬品情報	5	4	3	2	1	
	演題2 薬歴の書き方	5	4	3	2	1	
	演題3 フィジカルアセスメント	5	4	3	2	1	

<受講者の自己評価：あなた自身が本日の研修会全体から得たものについて>

項 目	評 価					コ メ ン ト
8. 研修の内容は 理解できましたか	5	4	3	2	1	
9. テーマに対して 興味を持てましたか	5	4	3	2	1	
10. 新しい知識を 得ることができましたか	5	4	3	2	1	
11. 自分の業務に 役立つと思いますか	5	4	3	2	1	

<以下はこれまでの生涯学習を含めて、ご意見があればご記入下さい>

12. 今後、研修したい テーマがありますか	
13. 薬剤師の将来について 意見があれば述べて下さい	

勤務先：保険薬局・病院・診療所・製薬企業・卸・教育・行政・フリー・その他（ ）

性 別：男 女 **歳 代：**20 30 40 50 60代～

会員・所属学会：県薬会員・県病薬会員・医療薬学会員・薬学会員・その他（ ）

平成25年度 新任・新人薬剤師研修会 集合研修評価表回答結果

実施日：平成25年7月21日（日） 研修会名：平成25年度新任・新人薬剤師研修会

回答数字（囲み数字）は人数【出席者80人、回答者40人（未回答あり）】

【参加者】保険薬局 (11) 病院・診療所 (20) その他 (4) 未記入 (45)
男 (22) 女 (15) 未記入 (3)
年代 20代 (24) 30代 (4) 40代 (2) 50代 (3) 60代 (1) 未記入 (6)
県薬会員 (12) 県病薬会員 (9) その他 (6) 未記入 (13)

＜研修会全体の評価：本日の研修会を客観的に評価して下さい＞

1. 開催日（曜日）は 適切 (40) 不適切 (0) 未記入 (0)
コメント ○参加人数を増やすならこのままで良いと思う。
2. 開催時間は 適切 (37) 不適切 (2) 未記入 (1)
コメント ○4～5月に学びたい内容でした。
3. 研修時間の長さは 適切 (33) 不適切 (6) 未記入 (1)
コメント ○もう少し短くてもいいのでは。
4. 会場の広さ・配置 適切 (40) 不適切 (0) 未記入 (0)
コメント ○事前に参加人数を把握しているので妥当だと思う。
5. 配布された資料は 5 (17) 4 (14) 3 (5) 2 (1) 1 (0) 未記入 (4)
コメント ○やや発表内容とくい違いがあったのが残念。
6. スライド(映写状況含) 5 (6) 4 (4) 3 (15) 2 (9) 1 (4) 未記入 (2)
コメント ○プロジェクターの不具合による中断が残念。
7. 講義内容（資料・スライドを含む）

演 題 1	5 (8)	4 (17)	3 (12)	2 (2)	1 (1)	未記入 (0)
コメント	○普段の業務でそこまで見ることはないが、使い慣れた一つを持つことの強みを知った。					
	○添付文書やIFは読めばわかる。そこから何が読み取れるかが大切で、それを聞きたかった。					
演 題 2	5 (13)	4 (13)	3 (8)	2 (3)	1 (1)	未記入 (2)
コメント	○具体的な薬歴の書き方を講義してほしかった。					
	○タイトルとはあまりにもかけ離れたものだったので、知りたい内容ではなかった。					
	○変わった講義内容で楽しかった。副作用のチェックは重要。					
演 題 3	5 (30)	4 (4)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	未記入 (6)
コメント	○フィジカルの有用性がわかった。意欲向上した。					
	○自分もやらねばと思った。継続して研修会に取り入れてほしい。					

＜受講者の自己評価＞

8. 研修内容は理解できたか 5 (16) 4 (19) 3 (5) 2 (0) 1 (0)

コメント ○日常業務に使える内容だったので理解しやすかった。

9. テーマへの興味を持てたか 5 (21) 4 (13) 3 (6) 2 (0) 1 (0)

コメント ○事前の印象よりも興味深い内容であった。

10. 新しい知識が得られたか 5 (27) 4 (11) 3 (2) 2 (0) 1 (0)

コメント ○フィジカルアセスメントについて、もっと学びたいと思った。

11. 自分の業務に役立つか 5 (25) 4 (14) 3 (1) 2 (0) 1 (0)

コメント ○患者さんとの会話から考えられることを増やしていけるように頑張りたいです。

＜学習についての意見＞

12. 今後、研修したいテーマがありますか

○フィジカルアセスメント、ハイリスク薬の薬歴の書き方

○クレーム処理方法、投薬まちがい、ヒヤリハットへの対策、接遇の大切さなど

13. 薬剤師の将来について意見があれば述べて下さい

○フィジカルアセスメントを薬剤師が普通にできるようになって、臨床の現場にどんどん出て行けるようになると良いなと思いました。また、周りの人とのつながりは本当に大切で、横のつながりも大切にしていきたい。

＜施設見学＞

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター薬局

参加人数が多いことから、2グループに分かれての見学となった。



施設説明をする長田茂薬局長



城間玲子副薬局長も説明をされた

長田茂薬局長、城間玲子副薬局長のご協力に感謝致します。

実務実習

平成25年度 第Ⅰ期薬学生実務実習報告

～薬学生実務実習が4年目に入りました！～



薬学生実務委員会
副委員長 我喜屋 美香

今年は長期薬学生実務実習が4年目にはなります。そして2年前に県内で実習した学生が現場薬剤師として、その実習の成果を見せつつあります。喜ばしいかぎりです。

そのような中、平成25年度の1期実習が7月27日に無事終了しました。(平成25年は1期11名、2期11名の計22名が県内薬局でふるさと実習を行います)例年ですとなかなか「健康とおくすり相談会」の機会に恵まれないこの時期ですが、那覇地区薬剤師会の協力のもと、相談会に参加することができました。また、初めて高校生等を対象とした仕事紹介の薬剤師ブースに参加しました。この「しごとミュージアム」という事業は、薬剤師会としても昨年初めて参加したもので、高校生を対象に薬剤師はどんな職業なのか、薬

科大学がどんなところなのかを紹介します。高校生にとって実習生は年齢的にも一番近い存在です。実習生に積極的に参加してもらったことは我々薬剤師の中でもかなりの収穫でした。

また、病院薬剤師会との報告交流会も実現し、今回は県薬剤師会の青年部も激励にかけつけてくださいました。

積極的な実習生が多く、活気づいた11週間でした。

実習受け入れ薬局の先生、他スタッフの皆様、本当にありがとうございました。また、たくさんのご協力のおかげで、大きな問題もなく1期を終了することができましたことを、この紙面をかりてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

以下に11名の感想文を掲載します。

実習薬局(10薬局)

(以下、順不同・敬称略)

- | | | | |
|-------------|---------|-------------|-----------|
| ○あかみち薬局 | ○アシスト薬局 | ○会営薬局とよみ | ○会営薬局うえはら |
| ○がじまる薬局 | ○がねこ薬局 | ○クララ薬局ウェルビー | ○こくら虹薬局 |
| ○すこやか薬局具志川店 | | ○すこやか薬局知花店 | |

協力施設・委員会・団体

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| ○がじまる薬局 | ○こくら虹薬局 | ○ぼたん薬局 |
| ○すこやか薬局新川店 | ○ドラッグイレブン新都心店 | ○マツモトキヨシ中城店 |
| ○すこやか薬局薬歴委員会 | ○会営薬局医療センター前 | ○福寿薬局 |
| ○(株)琉薬 | ○(株)ダイコー沖縄 | ○アトル沖縄支社 |
| ○那覇地区薬剤師会 | ○沖縄県病院薬剤師会 | ○薬事情報センター |
| ○青年部会 | ○学校薬剤師部会 | ○学校薬剤師の先生方 |
| ○広報委員会 | ○薬剤師学術研修委員会 | |

平成25年度薬学生実務実習I期生からの体験記・感想

京都薬科大学5年 楠見 僚平

(アシスト薬局 実習 指導薬剤師 仲宗根 辰弥)

当初は実習に行くにも、期待より不安のほうをはるかに強くて実習の最初の2週間は緊張しっぱなしでした。また、商品名と一般名が一致せず常に治療薬マニュアルを片手に行動していました。しかし、計数調剤の数を重ねていくうちに自然と覚えていきどんどんスキルアップしていきました。11週間終わってみると本当に良かったといえます。机の上では身につかないことをたくさん学べました。

今後、どのような道へ進むかはまだ決まっておりませんが、実習で体験したことを今後の人生へ生かしていきたいです。

崇城大学5年 松島 亜紀

(すこやか薬局 知花店 指導薬剤師 比嘉 浩一)

実習が始まった当初は、一般名と商品名も一致しなくて、薬局の忙しさに戸惑ったりすることもありましたが、薬剤師の先生や補助さん、事務さんの指導のもと、調剤や服薬指導を行うことができました。また、薬局での実習の他に、外部の勉強会や学校薬剤師、卸見学、OTC販売、在宅などの体験をして、いろいろな薬剤師の方と出会い、自分が将来どのような薬剤師になりたいか考えるきっかけになりました。

また、大学では授業の内容を覚えるだけの勉強をしていましたが、この実習を通して、勉強することの意義が分かったような実習もありました。

病院実習では、薬局実習で学んだことを活かし、さらに病院でしか学べないこともたくさん吸収していきたいと思います。

崇城大学5年 上原 佳子

(がじまる薬局 実習 指導薬剤師 比嘉 はつみ)

2か月半の実習があっという間に終わりました。最初はとても不安でしたが、薬局の方々が本当に温かくて、優しくて、楽しくて、11週間がとても短く感じました。

がじまる薬局では、調剤業務から医療事務の仕事まで、あらゆる分野について丁寧に教えて頂きました。薬局にいて一番感じたことは、薬剤師は常に患者さんに親身に寄り添っているということです。どんなに忙しくても患者さんの声に耳を傾け、医師などと連絡を取り合っている姿を見て、とても感動しました。また、老人ホームへ伺って、薬の飲ませ方の見学をしたり、実際に看護師の同意の下、何人かの患者さんの投薬をさせてもらいました。そのほかにも、在宅訪問や日曜出勤、卸会社の見学、薬局の新聞づくり、インターシップ中の高校生へ説明する「タバコの有害性」についてのスライド作り、学校薬剤師の体験やマツモトキヨシでのOTC実習など、ここには書ききれない沢山の経験をさせて頂き、とても勉強になりました。

今回の実習を通して、自分の苦手な部分が発見でき、また沢山の仲間とも出会えてモチベーションアップにもなり、本当に良かったと思います。

忙しい業務の中、実習を受け入れて頂き、本当に感謝しています。指導薬剤師の比嘉先生を始め、薬剤師の先生方、薬局の方々、宜野湾健康支援センターの皆様、実習に関わって頂いた皆様、本当にありがとうございました。

実習での体験をもとに、先輩方を見習って立派な薬剤師になれるように頑張ります。

福岡大学5年 知花 理子 (すこやか薬局 具志川店 実習 指導薬剤師 佐藤 雅美)

11週間の実習はあっという間に過ぎ、机の上では学べない貴重な体験をたくさんさせていただきました。

すこやか薬局では、調剤や服薬指導だけではなく、薬剤師の先生方が受ける研修にも参加させていただけたので、臨床に即した知識

だけではなく、薬剤師には何が求められているのかがわかりました。

患者様に対するコミュニケーション能力やマナーなどを培うことができたので、これからの病院実習や社会生活で役立てていきたいと思っています。

九州保健福祉大学 5年 仲村 渠 典華

(こくら虹薬局 実習 指導薬剤師 宮城 幸枝)

私は、こくら虹薬局で11週間お世話になりました。

実習を始める前に想像していた薬局薬剤師は、処方された薬剤を調剤し、患者さんに服薬指導するだけでしたが、実習を終えてからは、調剤・服薬指導するだけでなく、在宅訪問などで患者、家族、ケアマネージャーをはじめとする他職種と関わったり、地域の人に薬の飲み方の説明をするなど、地域と密接に関わっていることを知りました。

最初の頃は調剤するだけで精一杯でしたが、皆さんに温かく見守ってもらい助けてもらうことで、多くのことを学び成長することが出来たと思います。

また、卸・学校薬剤師の職務見学、ドラッグイレブンや漢方薬局での実習や我喜屋先生から東日本大震災での話を聞くことで、将来の薬剤師について考えるきっかけにもなり、お薬手帳の必要性にも気付かされました。

2期目は病院実習なので、薬局実習の経験を生かして取り組んでいきたいと思っています。

九州保健福祉大学 5年 平敷 善彦

(会営薬局うえはら 実習 指導薬剤師 大城 久美子)

今回、私は、会営薬局うえはらで実習を行いました。実習に行く前は、すぐにできると思っていたのですが、実際に行ってみるとイメージ通りにはいかなかったです。でも、薬剤師の先輩たちや事務の人たちにいろんなことを教えてもらい、徐々にできるようになってきました。

服薬指導では、最初は何を話していいかわかりませんでしたが、何回かしていくうちに少しずつ慣れてきました。しかし、薬の知識に関してはまだまだ勉強不足だと感じたので、残りの大学生活の間で即戦力になれるようにしたいと思います。

会営薬局うえはらで実習を行って、最初は全くできなかったけれども、終わる頃には最初の頃よりも成長できたと思います。それは、指導薬剤師の大城久美子さんや薬剤師の先輩、事務の人達が指導してくれたからだと思います。会営薬局うえはらで実習できて良かったです。

徳島文理大学(香川薬学部) 5年 喜友名 尚子 (すこやか薬局具志川店 実習 指導薬剤師 佐藤 雅美)

5月13日から11週間に渡って、調剤薬局にて実務実習をさせて頂きました。初めての現場に戸惑いながらも、指導薬剤師をはじめスタッフの皆さんに助けてもらい、とても充実した実習をすることができました。

実習中、心に残った言葉は、「薬剤だけを見るのではなく、きちんと患者様も見ること」「現在の調剤薬局の現状を踏まえて、自分の未来を考えること」等で、これらのことは大

学の講義だけでは学べなかった事だと思っています。その他、投薬では、患者様から聞いておきたいことや服用上の注意点なども勉強になりました。

私に、たくさんの事を教えていただき、本当にありがとうございました。この実習を将来に活かせるように、これからも頑張ろうと思います。

福岡大学 5年 比屋根 倫子 (あかみち薬局 実習 指導薬剤師 上間 秀子)

実務実習受け入れも明日で終了となります。日々試行錯誤しながら対応していたので2か月半は思っていたより早く感じます。いろいろご指導ありがとうございました。

薬局長より、「教えるのではなく、経験させる」ということを聞かされたことで不安な

く実習が出来たと思います。

今回経験した事を振り返り、反省点ももちろん多々ありますので、次回に活かせるように行動したいと思います。

これからもご指導宜しくお願いします。

福岡大学5年 三田井 菜菜子（クララ薬局 ウェルビー店 実習 指導薬剤師 平良 博文）

薬局実習では、調剤はもちろんですが、服薬指導に重きをおいた実習をさせていただきました。

初めの頃は覚えることも多く、毎日が大変でしたが、だんだんとペースを掴めてきて、患者さんの表情や雰囲気を読みとることも慣れてきたように思います。

実習期間が長くなるにつれて、自分の癖や欠点が見えてきて、まだまだ勉強しなければいけないことが沢山あることに気付かされました。次期の病院実習では、それらを含めここで得たものを生かした実習ができればと思います。

局内での実習だけでなく、外部実習も充実していて在宅、OTC、お薬相談会など貴重

な経験をさせていただきました。一般の方と近い距離での実習が多く、そのたびに感じた医療人としての自覚や感覚の差を埋める方法を自分なりに考えることができたのは実習の中でも大きな成果だったと思います。

また、患者さん一人一人と向き合うことの難しさや大切さ、目標とする薬剤師像を感じることができました。

将来、現場に出てもこの感覚を忘れず、患者さんと近い距離で常に学ぶ姿勢を持ち続けられる薬剤師になりたいと思います。

クララ薬局の皆さんをはじめ、実習に関わって下さった方々に心から厚く御礼申し上げます。

九州保健福祉大学5年 宇根 由紀乃

（会営薬局とよみ 実習 指導薬剤師 島袋 陽子）

第一期に薬局の実習をさせていただきました。最初は緊張していたのですが、先生方の優しさで直ぐにリラックスして実習に挑むことが出来ました。

薬局の実習では調剤、服薬指導、OTC薬、診療報酬、受付、漢方製剤、薬局製剤、在宅医療、入庫等沢山学びました。

学校で勉強してきたものが実際の薬局実習でどのように繋がっていくのか楽しみでしたが、いざ実習が始まると何もかもが新しいことばかりで、なぜ自分はこんな単純なことが出来ないのかと思うこともありました。そんな時には先生方に励ましてもらったり、アドバイスをしてもらったり、忙しそうな時にも指導薬剤師の先生が講義や課題の準備をしてくださり、こんなにも気を使っていたいて本当に感謝しています。

第二期では病院実習が始まります。薬局で学んできたことを生かして、新しい気持ちで実習を頑張っていこうと思います。

徳島文理大学（香川薬学部）5年 當眞 彩

（がねこ薬局 実習 指導薬剤師 前濱 朋子）

久しぶりの沖縄で2か月半も過ごせるのか。また、うまく実習をこなせるのか不安がいっぱいでした。でも、その不安もがねこ薬局に入ってすぐに消え、自分でも驚くほど毎日が楽しくて、充実した日々が過ごせました。

実習中は、沢山の外部実習にも参加させてもらいました。調剤業務以外での薬剤師としての活躍の場が多くあることや、医療人の一人として薬剤師に何ができるのか。世の中が求めている薬剤師像とは何か。多くの事を考えさせられるきっかけになりました。

「しごとミュージアム」では、高校生に大学の話や私が思い描く薬剤師像を語ることができ、この中から薬剤師になりたいと思ってくれる人がいたら嬉しいなあと思いました。

長いようであつという間の2か月半でしたが、もっと現場にいたいと思いました。実習生を受け入れるのは本当に大変だと思うのですが、快く受け入れてくださった、がねこ薬局の皆さんと出会えたことや実習中に多くの方達とも会うことができ、たくさんの縁ができたことが私にとっての一番の宝物になりました。

平成25年度 第1期薬学生実務実習フォトショット



医薬品情報業務の実習



学校薬剤師について学ぶ



オリエンテーション



記念撮影

後列(指導者) 左より 我喜屋美香氏、島袋陽子氏、宮城幸枝氏、大城久美子氏、佐藤雅美氏、神村武之会長、上間秀子氏、平良博文氏、仲真良重氏、比嘉はつみ氏、前濱朋子氏、仲宗根辰弥氏
前列(薬学生) 左より 宇根由紀乃さん、仲村渠典華さん、平敷善彦さん、喜友名尚子さん、知花理子さん、比屋根倫子さん、三田井菜菜子さん、松島亜紀さん、上原佳子さん、當眞彩さん、楠見僚平さん

啓蒙・普及活動

薬剤師職能の啓蒙活動について

「しごとミュージアム」「グッジョブ・サマースクール」「テレビ・コマーシャル」

当会薬剤師無料職業紹介所では、随時70件余りの求人者（殆どが調剤薬局）が登録されておりますが、なかなか求職者がいないのが現状です。ネットや誌面をとおして募集広告等の広報をしておりますが、状況は改善されておられません。

そこで、前述の活動も続けながら、広報委員会と青年部会ならびに学校薬剤師部会と協働して、『薬剤師職能の啓蒙活動』を展開しています。昨年度は、去年7月に開催した主に高校生を対象に仕事紹介をする**全国専修学校各種学校総連合会主催「しごとミュージアム」**での“薬剤師ブース”における出展（本誌259号・平成24年7・8月号76～77ページ参照）をきっかけに、「Uターン・Iターン就職を希望する薬学部生との相談会」を企画し大学訪問（本誌262号・平成25年1・2月号40～41ページ参照）等を行いました。

今年も「しごとミュージアム」への参加は勿論、更に同活動を展開すべく、**沖縄県産業・雇用拡大県民運動推進本部がグッジョブ運動の一環として開催している「グッジョブ・サマースクール」**にも参加しました。「グッジョブ・サマースクール」は、小学生を対象とし、「薬剤師になろう」というテーマで薬剤師の仕事の紹介を行ってきました。参加の小学生には白衣を着てもらい、保護者も一緒に参加させる方法を取り大好評でした。

これらの“他団体等主催事業へ参加しての薬剤師職能の啓蒙活動”が、有意義なものとして展開できたのは、広報委員会と青年部会ならびに学校薬剤師部会から参加された先生方の徹底した企画・運営によるものです。お疲れ様でした。

さらに、広報委員会においては、宮城敦子広報担当理事の指揮のもと、**薬局・薬店における対面販売強化のための行動に係る県民向け広報として「テレビ・コマーシャル」の企画・**

製作も行いました。

ご周知のとおり、日本薬剤師会（以下、日薬）では、一般用医薬品の販売制度に関する規制緩和問題について、薬剤師が薬局で消費者と直接対応して医薬品供給を行うことの重要性を実証するため、「薬局等における対面販売強化のための行動」を進めています。一般用医薬品のインターネット販売等に関する規制緩和問題への対応として、日薬は独自で行った調査等で収集した事例等を用いて、対面販売の重要性を全国紙に意見広告として国民に広報、説明してきました。

当会におきましては、薬剤師職能の県民向けPRとして、10月の「薬と健康の週間」等にて地元紙2社へ広告掲載ならびに論壇投稿等を実施して参りました。内容は、「薬の正しい使い方」等を中心に、時宜に応じたテーマ選んできましたが、今般の事情を踏まえ、当会独自で県民向けに広報することになりました。

日薬が全国紙をとおして掲載した当該意見広告を地元紙に共同掲載することで一度は理事会でも承認されましたが、より一層の広報の強化を鑑み、地元放送局のテレビスポットコマーシャルを利用することになりました。この光明を見いだす提案は神村武之会長によるもので、理事会においても特に問題とすることもなく、広報委員会において「テレビ・コマーシャル」の企画・製作を琉球放送株式会社（以下、RBC）と進めることで承認されました。

撮影地には、一般用医薬品が整然と並んで綺麗な「キセ薬局」（那覇市松川）と、調剤薬局として当会の「会営薬局医療センター前」が選ばれ、6月27日（木）午前9時から午後6時にかけて、同現場とRBCにて撮影が行われました。撮影日時が通常の営業であったにもかかわらず、撮影協力にご快諾いただいたキセ薬局様ならびに出演者各位に感謝申し上げます。

企画の段階においては、当会が提案したナレー

ションでは意見広報が強いと、同放送局による厳しい査定もありましたが、アットホームで分かり易い内容に同放送局企画製作グループが仕上げていました。7月15日から7月31日の間に30本放送され、放送後には事務局にも良い反響の声があり、企画・製作に関わった者として大変感動した幸いです。

同放送が、広く社会ならびに県民に対して薬剤師の職能と責任を証明するものとなり、また、当会の重要な資財として今後の薬剤師職能PR事業に繋がるものになったと、理事会において広報委員会から報告しました。

＜しごとミュージアム＞

県内の高校生および若年者を対象に、コンピュータ・情報、美容・理容・ファッション、語学・旅行、ホテル・ブライダル、公務員・法律、保育・幼児教育、建築・土木・インテリア、自動車・航空・機械整備、調理・栄養、医療・福祉・介護など200以上の様々なジャンルの仕事を紹介するイベント。

全国専修学校各種学校総連合会は7月11日を“職業教育の日”と制定しており、沖縄県専修学校各種学校協会は、仕事に就くために必要な専門的技術や技能・知識を教授する職業教育機関として同フェスタを主催。沖縄県が全国ワーストの失業率や新規高卒者の無業者数（率）が全国平均の約3倍で就職内定率も全国ワーストとなっていることから、若年者の就業意識の啓発と各分野の職業を体験学習する機会として開催している。

昨年は高校生だけでも3,227人が参加、今年はそれを上回る来場者があり、“薬剤師ブース”においても180余名が訪れ、148名からアンケートをいただくことができた。

今年度は、平成25年7月11日（木）に沖縄コンベンションセンター展示棟で開催され、去年度の宮古島市に続き、石垣市に於いても開催される。

◆“薬剤師ブース”啓発活動員

- 宮城 敦子 ○前濱 朋子 ○笠原 大吾
- 我喜屋 美香 ○石川 恵市
- 平成25年度第1期実務実習生

会員の先生方の同放送に連動しての店舗等における広報活動ならびに対面販売の実施のご協力に感謝申し上げます。

今後の“薬剤師職能の啓蒙活動”に先生方からの良きアドバイスが頂けると幸いです。

また、このような活動を地道にされている会員の先生方がおられましたら、是非ご紹介下さい。（事務局：大城 喜仁）

＜テレビ・コマーシャル＞

- 企画・製作** ○琉球放送株式会社（RBC）
- 株式会社RBCビジョン
- 広報委員会

出 演 者

- 〔薬剤師役〕 ○喜瀬 聡 ○上間 秀子
- 田場 英治 ○城間 盛光
- 〔患者役〕 ○仲村 ヒデ ○武村 博子
- 金城 大志
- 〔ナレーター〕 ○宮城 麻里子

＜グッジョブ・サマースクール＞

地域の住民・企業人等が講師や運営スタッフとなって、地域の子供達に「様々な仕事」や「働くことの大切さ」「生き方のヒント」などを伝える地域主体のキャリア教育学校。

若年者に置かれた厳しい雇用環境を改善するため、地域の企業、学校、保護者等、全ての人々が連携し、子供達に「夢」と「希望」を与え、「職業観」や「チャレンジ精神」を育むための「場」づくり、「気運づくり」を目的としている。

昨年よりスタート、今年で2回目の開催。各種講座は100講座にもおよぶ。

今年は、平成25年7月27日（土）と28日（日）の2日間、那覇市立天久小学校にて開催され、当会としては、“薬剤師になろう”というテーマで、2日目の7月28日（日）に開講した。

◆“薬剤師になろう講座”啓発活動員

- 宮城 敦子 ○笠原 大吾 ○鈴木 一徳
- 佐川 和徳

＜しごとミュージアム＞

会期：平成25年7月11日(木) 会場：沖縄コンベンションセンター展示棟



今年も多くの高校生が訪れた“薬剤師ブース”



“薬剤師ブース”に来訪された
名城政次郎氏と政一郎氏(左から3人目と4人目)



薬剤師職能体験に興味を示す高校生



白衣着用ではしゃぐ高校生



実務実習中の薬学生がスタッフとして大活躍！



＜テレビ・コマーシャル撮影風景＞



午前中はキセ薬局で撮影



CM制作ディレクターと念入りにチェック(会営薬局医療センター前にて)

＜グッジョブ・サマースクール＞

開講日：平成25年7月28日(日) 会場：那覇市立天久小学校



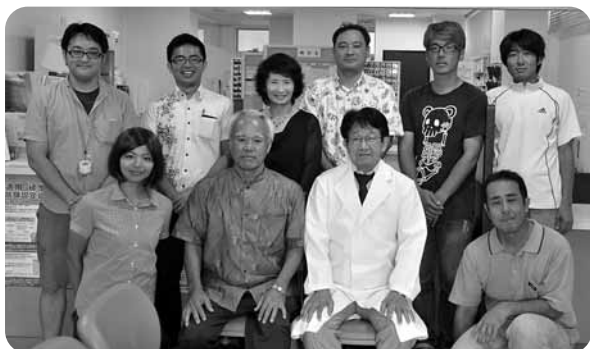
最初は紙芝居で薬剤師の仕事紹介



紙芝居による説明に聞き入る小学生



啓発活動スタッフ記念撮影
(宮城敦子氏、笠原大吾氏、佐川和徳氏、鈴木一徳氏)



撮影スタッフ関係者で撮影終了後に記念撮影

〔4つの体験コーナー〕



液剤の色の变化体験コーナー (担当：笠原大吾)



カプセル体験コーナー (担当：佐川和徳)



粉薬の混合体験コーナー (担当：鈴木一徳)



薬の種類と効き方体験コーナー (担当：宮城敦子)

啓蒙・普及活動

しごとミュージアム参加報告

福岡大学5年（クララ薬局実習生） 三田井 菜菜子

高校生を対象に様々な職種の仕事内容を説明するというイベントということで、私も薬学生のカリキュラムや薬剤師の仕事について説明させていただきました。

初めに、薬学部に入ったらどのようなことを学ぶのか、カリキュラムや実習内容などを説明しましたが、同時に大学生活やサークルといった自分の時間の使い方も説明するととても興味を持ってくれたようでした。

私は、実際にカプセル剤に粉薬を詰めてもらうという体験ブースにいましたが、高校生達は何も入っていないカプセルを見るのは初めてのようで、捻ればカプセルを開けることができるということにさえも驚いていました。また、詰める粉薬も粒の大きさの異なる粉剤とビタミンの顆粒剤とを乳鉢乳棒を用いて彼らに作ってもらいましたが、混ぜ方一つにしても楽しそうにしている姿を見てやりがいを感じることができました。



参加していた生徒さんに共通することですが、薬学はなかなか敷居が高く難しそうという印象を持たれているようです。しかし、ビタミン顆粒を見せるときに匂いを嗅いでもらい、栄養剤の匂いであることを確認してもらったり、どうして食後にたくさんの水で薬を飲まないといけないのかを身近な感覚で体験し

てもらおうと興味を持ってもらえたようで、専門的な内容であっても普段の生活を通して薬を身近に感じてもらえたような気がします。

専門用語をわかりやすい言葉で説明することは意外に難しく、一般の方が興味を持つ点を事前に説明して頂いたのですが、医療側の

常識と一般の方の常識が大きくかけ離れているように感じました。

短い時間ではありましたが、このようなイベントを経験させてもらったことで、この差に気付くことができたというのは、それ以後の患者さんへの服薬指導の際にも大変参考になりました。

京都薬科大学5年（アシスト薬局実習生） 楠見 僚平

実習中、高校生の進路就職相談会「しごとミュージアム」へ参加する機会があった。薬剤師ブースに続々来る高校生を相手に、薬剤師の仕事とは、薬学部に入るには等の質問・相談を受け、薬学生の視点から説明していった。

中でも一番多かった質問は、「物理」と「生物」はどちらを選択したほうが有利かということであった。私は「生物」選択を勧めた。確かに物理でしか受験できない大学はある

が、入ってからは生物の知識を使うことが多かったからである。もちろん一番良いのは、「化学」を含めた3科目すべて勉強することであることも付け加えておいた。



それ以外にも、大学で何をするのか、薬剤師の魅力などについても十分伝えることができた。

今回のことを機に、薬学の道へ進んでくれる人が一人でも増えてくれるとうれしい。

<テレビ・コマーシャル放映内容>

●opening テロップ

「薬が気軽に買える
便利な時代」

人々が暮らす街並みをイメージ



ナレーション

薬が
気軽に買える
便利な時代

●薬剤師が、調剤および 相談をしているイメージ

上間秀子氏
城間盛光氏

田場英治氏



ただ、
薬には病気や症状を
治すだけでなく
副作用という
リスクもあります。

●街のかかりつけ薬局および調剤薬局 における対面販売・服薬指導の映像

喜瀬 聡氏 仲村ヒデ氏(患者役)

武村博子氏
(母親役)
金城大志君
(子役)



薬の専門家
薬剤師は、
症状にあった薬を

安心して
お買い求め
頂くために

直接お会いして
お話を伺います。

●テロップ in

「安心して薬を
お買い求め頂くために」



●ナレーションを読んでいた キャスター登場

宮城麻里子氏
(フリーアナウンサー)



薬のこと、
健康のこと、
薬剤師に
ご相談ください。

●endingテロップ

「皆様の健康を願って」



沖縄県薬剤師会ホームページ
のトップページからもご覧
いただけます。

広報委員長のうらかた日記

はいたい、このたび広報委員長を拝命した宮城敦子です。

実績や貫禄のある前任の亀谷委員長とは違って、楽家、超マイペースな私が広報委員長という大役を安易に引き受けてしまいました。が、この流れはきっと意味のあることなのだと自分自身を奮い立たせ、地道にやっといこうとのんびり構えております。そんな中、広報委員長に就任した途端、仕事が一気に雪崩れ込んできました。そんなはずじゃなかった・・・とグチる相手もいないまま、青信号が灯ったままの広報委員長うらかた日記におつきあいください。

<CM制作>

広報委員長の立場として、プロジェクトに参加することになった。

6月上旬、琉球放送（RBC）との打ち合わせ数回、事務局の大城氏を中心に進める。会長の意向が最優先であるが、その折り合いがなかなか難しい。意見広告になると社内審査が必要で時間がかかるという。テレビ局側の意見と譲歩しながらなんとか形になっていく過程は、「作り手」の創造性と公共性、倫理性のバランスの妙、そのものだった。

撮影場所、CMスポット（オンエアの時間帯）、キャスティング、価格交渉、絵コンテ作成、諸々、撮影前から仕事は盛りだくさんだ。

6月下旬、いよいよ撮影。30秒CMを制作するために丸一日を要した。

9時半、キセ薬局に撮影クルーが集合。薬局はすっかり撮影現場と化していた。喜瀬聡さんの緊張感が伝わってくる。患者さん役のヒデさんはキセ薬局のお得意様。CM撮影に協力を求めたところ快諾してくれたという。本番でも臆することなく堂々としたもので、撮影現場を楽しんでいた。

音声さんのナベスな聴力、照明さんのライティングのこだわり、モニターをチェックするディレクターの目。プロフェッショナル集団の凄みを垣間見たような気がした。

午前中でキセ薬局の撮影を終える。正味10秒ほどのカットに2時間を要することに驚くばかり。

その後、琉球放送のスタジオに向かう。おや、ここは毎日夕方のニュースで見る風景だ。さて、元RBCアナウンサー宮城麻里子さん

のナレーションでメイクを済ませた後、衣装選び。どの色がいいかと意見を求められる。やはりここは「白でしょ。」

1時間ほどで収録が済んで、最後の撮影現場、県薬剤師会館へ向かう。会営薬局医療センター前ではCM出演のキャストで賑わっていた。田場英治専務理事、城間盛光会営薬局医療センター前薬局長、上間秀子氏、武村博子氏、金城大志君など、錚々たる顔ぶれでスタンバイOK。ここでは3カット撮影。撮影中のモニターを見ると「薬剤師って、かっこいい」と思うのだった。

何度も同じことを繰り返すのはやはり苦痛かな。しかし、素人目でさえ、時間をかけるほどクオリティーがアップしているのがわかる。仕上がりが楽しみだ。

薬局の撮影で気を使ったのは、医薬品の商品名が特定できないようにすること。そこは編集テクニックでうまくカバーできたようだ。

撮影終了は午後4時半。

7月上旬には編集が完了し、中旬にはオンエアされた。

2週間のスポットCMだったので（1日2本）見逃した方が多いと思われるが、県薬のホームページで閲覧できるので、是非ご覧いただきたい。

<しごとミュージアム>

去年はゲストブースとして初参加。好評により今年からレギュラーブースを設置することになった。学校薬剤師部会、青年部会の協力を得て、おおいに盛り上がった。

また、薬学生実務実習中であることも相まっ

て、薬学生にも協力してもらうことになった。高校生対象のイベントには年齢の近い薬学生がうってつけだ。自由参加だったにも関わらず、殆どの薬学生が参加してくれた。

詳しくは学生の報告記事を参照されたい。

薬剤師のブースには約100名の学生が訪れた。昨年もそうだったが、薬剤師は人気のある職業のようだ。

午後1時過ぎから午後7時までの長時間、ご協力に感謝したい。

<グッジョブ・サマースクール>

7月28日(日)、昨年開校したばかりの天久小学校で開催された。

サマースクールのテーマは「薬剤師になろう!」。白衣を着て、いっぴしの薬剤師になった気分で調剤体験してもらうという趣旨だ。

13時開始の授業と14時開始の2コマで、小学2年生から5年生まで30名が参加してくれた。

大学で教鞭をとっていた笠原大吾先生のレクチャーはさすがに慣れたもので、小学生の好奇心は一気に高まった様子。小学生は4つのグループに分け、1グループずつ、教室の角に設置した4つの体験コーナーを時計回りにまわっていくという流れにした。

体験コーナーは次のとおり。

- ① 液剤の色の変化(笠原大吾)
鉄剤シロップとお茶を混ぜ、色が変わると驚きと共に歓声があがるほど。
- ② カプセル(佐川和徳)
カプセルが少量の水で指にくっつくことをはじめて知ったようだ。
- ③ 粉薬の混合(鈴木一徳)
実際にはフレーバーを使用。乳鉢乳棒で混合する姿はいっぴしの薬剤師気取り。電子天秤で秤量するのも貴重な体験だったことだろう。
- ④ 薬の種類と薬の効き方(宮城敦子)
薬が体の中を旅するルートを説明。薬のサンプルを実際に手に取ってみる。吸入薬がお気に入りのよう。
薬剤師になりたいと目を輝かせる子供たちに接すると、オバチャン薬剤師は張り切って饒舌になってしまい、子供たちを混乱させてしまったのではないかと反省。
薬剤師会は初参加で、バタバタと手探り状態でなんとか当日を迎えたが、成功裡に終わったと自負している。
このようなサマースクールは後世の育成に寄与できる大切なイベントだと思う。

さて、広報委員長は来月開催の「熟年の集い」に向け、走り始めております。「うらかた」としてどこまでお役に立ちますことやら。表舞台よりも楽しくてちょっとディープな味を知りました。今後ともご協力よろしくお願い致します。

啓蒙・普及活動

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 6.26ヤング街頭キャンペーン



日時：平成25年6月29日(土) 16:00～17:00
場所：パレットくもじ前広場 ほか



6月26日は「国際麻薬乱用撲滅デー」です。1987年6月26日にオーストリアのウィーンで国連主催による関係閣僚会議の終了日を記念して、この日を麻薬乱用撲滅デーとその年の国連総会で制定され、1988年から全世界でキャンペーンが実施されています。

研修会

開局委員会主催 第6回スキルアップ研修会報告

日時:平成25年5月30日(木) 20:00~21:30
会場:沖縄県薬剤師会館 研修室



開局委員会 島袋 さゆり

去る5月30日に開局委員会主催の第6回スキルアップ研修会が開催されました。

開局委員会の新川重一委員の冒頭でのあいさつでは、「薬剤師が健康づくりに携わる専門家として、その職能を活かすべきであり、地域に根ざした薬局が個々の生活習慣・社会的背景・個人的な背景の中で、食事・運動・ストレス・性格・環境・遺伝的要素をチェックする必要がある。そして開局委員会では、薬剤師が健康の維持・増進のプロフェッショナルアドバイザーとして社会に寄与するための基礎学習としてスキルアップ研修会を定期的で開催している。本日は、講師である開局委員会の石川元信先生より、第6回スキルアップ研修会として、『カルシウム代謝』の講義となっており、その役割について健康の定義に沿った内容で進めて頂く。」とのお話がありました。



司会:開局委員会 新川重一氏

演題『カルシウム代謝』

講師:開局委員会 石川 元信 先生

- ◆カルシウムの位置づけ・・・生体内では、生から死に至る生命現象にかかわる細胞内情報伝達物質として位置づけられるようになった。
- ◆人体は60種類以上の元素からなる。生体においてCaは、O、C、H、Nに次いで5番目に多く存在し、無機物では一番多い。体内では作られず、生体内の調整に働く微量栄養物である。
- ◆カルシウムの生体内総量は、約1000~1200gであり、99%が骨や歯などに存在し、1%のカルシウムは血液・筋肉・神経などで、生体機能の維持および調節に不可欠な役割を担っている。
- ◆カルシウムの生体内の役割
 - 骨・歯を構成する主成分
 - 機能的な役割として、①ホルモン分泌・ホルモンの作用発現、②筋肉の収縮・弛緩(心臓のリズミカルな動き)、③血液の線溶・凝固、④消化管での消化・吸収、⑤創傷の治癒、⑥薬物作用の発現、⑦酵



講師:石川 元信 先生

素の作用発現（活性化）、⑧受容体の作動などが挙げられる。

- ◆血中Caは、骨にも細胞にも接する媒体として重要であり、10mg/dlに保たれ、10%以内の増減が正常範囲である。

○高カルシウム血症の臨床症状

- ・血清Ca値 11mg/dl前後・・・それほど臨床症状はない
- ・血清Ca値 12～13mg/dl前後・・・全身倦怠感や食欲不振、悪心、嘔吐
- ・血清Ca値 14～15mg/dl前後・・・思考力なくなり、意識障害が出てくる

○低カルシウム血症の臨床症状は、全身の強直性の痙攣（テタニー）が起こる。

- ◆細胞膜には、細胞の外側のCa濃度を感知できる受容体がある。この受容体を通じ、副甲状腺細胞は副甲状腺ホルモン（PTH）の分泌を正確に調整している。

- ◆体内の細胞は、細胞内のCaをセカンドメッセンジャーとして使用しているが、脳細胞は細胞内Caイオン濃度が高値になると、情報伝達も円滑に行えず、思考力の低下、性格の変化が生じると推測される。

- ◆Ca代謝は、①活性型ビタミンD3、②P

TH、③カルシトニン（CT）の3つのカルシウム代謝調節ホルモンによって制御されている。

- ① 活性型ビタミンD3・・・腎臓で活性型になり、1）小腸でのCa吸収促進、2）骨形成作用、3）PTHの分泌促進の生理薬理作用を持つ。
- ② PTH・・・副甲状腺で作られ、1）骨からCaの遊離、2）腎におけるカルシトリオール合成促進、3）腎からリン酸排出促進とCa排出抑制の生理薬理作用を持つ。
- ③ CT・・・甲状腺から分泌され、1）破骨細胞に作用し骨破壊を抑制、2）中枢性鎮痛作用の生理薬理作用を持つ。

以上、簡単ではありますが、ポイントをまとめさせて頂きました。

今回、本研修会に参加し、カルシウムが人体に不可欠なミネラルの一つであり、生体機能の維持および調節に重要な役割を担っていることを学ぶことができました。

石川先生、ご丁寧な講義をありがとうございました。

第8回スキルアップ研修会の開催案内

<（公財）日本薬剤師研修センター認定研修 JPALSコード 47-2013-0096-101>

会期：平成25年9月8日（日）13：00～14：30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

『骨粗鬆症診療のためのガイドライン解説－日本骨粗鬆症学会ガイドラインを中心に－』

特別講師：北陸大学薬学部長・生命薬学講座臨床解析学分野教授 ^{みうら まさかず} 三浦 雅一 先生

<三浦雅一先生プロフィール> 医学博士・MBA

【専門】骨カルシウム代謝学（特に、骨粗しょう症）、病態検査学、技術経営（MOT）

【所属学会】日本骨粗鬆症学会（評議員・利益相反倫理マネジメント委員会委員長・骨代謝マーカー検討委員会副委員長・庶務委員会委員、生活習慣病における骨折リスク評価委員会協力委員）、日本臨床化学会（評議員・法務委員会委員長・あり方検討委員会委員・栄養専門委員会委員）、日本老年医学会（代議員）、生物試料分析科学会（理事）、日本骨代謝学会、日本ビタミン学会、日本動脈硬化学会、日本糖尿病学会、日本腎臓学会、日本リウマチ学会、アメリカ骨代謝学会、アメリカ臨床化学会

薬業連合会

平成25年 第58回沖縄県薬業連合会 理事会・総会及び懇親会報告

日時：平成25年 6月26日（金） 18:00～20:00

会場：沖縄都ホテル 虹雲の間



沖縄県薬業連合会事務局 稲福 文隆

沖縄県薬業連合会とは、沖縄県薬剤師会、沖縄県医薬品卸業協会、沖縄県医薬品登録販売者協会、沖縄県医薬品配置協議会の4団体で組織し、薬業界の健全な発展、安定を計り、併せて県民の保健衛生の向上を目的としている。

沖縄県薬業連合会理事会・総会及び懇親会が去る6月26日に開催された。

今年、沖縄県薬剤師会専務理事に就任された薬業連合会の田場英治理事が司会進行をおこなった。

はじめに、薬業連合会の神村武之会長があいさつを行った後、引き続き、議長として議事進行した。

神村議長より、平成25年度事業計画案の審議の中で、麻覚せい剤薬物乱用防止「ダメ・ゼッタイ」普及運動の街頭キャンペーンを毎年開催しているが、脱法ドラッグ等の使用による犯罪が依然と増加にある。「ダメ・

ゼッタイ」普及の強化策となる企画も検討したいと提案された。

薬事功労受賞者合同祝賀会に各団体内で表彰された方も積極的に参加させていただきたいと提案された。

報告2題、議案5題が審議され、滞りなく進行され承認を得た。

最後に長浜眞球理事（沖縄県医薬品配置協議会会長）の閉会の辞で総会（兼理事会）は終了した。

懇親会に移り、平野和之副会長（沖縄県医薬品卸業協会会長）の開会の辞で始まり、神村武之会長のあいさつ次に早川正人前副会長（沖縄県医薬品卸業協会）が乾杯を行い懇談となった。各団体との情報交換の場となり有意義な懇親会となった。

最後に、米村一成理事（沖縄県医薬品登録販売者協会会長）の閉会の辞で締めとなった。



騒音測定ならびに測定器の借用について（ご連絡ならびにお願い）

学校薬剤師部会
部会長 前濱 朋子

梅雨も明け、連日猛暑の沖縄ですが、部会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。本年も、県教育委員会より、学校における騒音の実態のデータの収集を目的とした騒音測定の協力の依頼が来ております。学校薬剤師部会としては、再び先生方のご協力をお願い申し上げます。

1. 各支部の騒音計の管理等の責任者は、各支部長とします。すべては、まずご自身の所属する支部長とご相談ください。各学校薬剤師が、直接、騒音計設置の県立学校、市町村教育委員会等とやり取りすることは避けてください。
2. 昨年度の測定で、十分環境が静寂で、本年度の測定が省略できる場合でも、本年度に限っては、昨年度とは場所を変えて測定くださいますようお願い申し上げます。
3. 昨年度の測定の際に、通常の授業が実施されていない時期・時間に行われたところがありました。例としては、夏休み期間中の測定、放課後等における測定です。できる限り原則に従って測定いただきますよう、学校とよくご相談の上、測定時期、測定時間を決めてください。
4. 測定実施後は、当該学校には通常の学校環境衛生に関する測定の報告として、結果ならびに指導助言を行ってください。また、各教育委員会への報告は、学校薬剤師ではなく、学校が行いますのでその点についても学校と確認してください。

本年度も、皆様のご協力で、騒音測定が順調に進みますように、何卒よろしくお願い申し上げます。測定の方法等、ご不明の点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

各支部の担当者ならびに連絡先（但し F：fax、職：職場）

北部支部；村田 美智代：職 0980-56-1122	村上市子：職 0980-52-7587
中部支部；伊佐 常隆：職 098-956-4335	蒔 初子：090-1947-5680
那覇浦添支部；笠原 大吾：090-1947-6306	前濱 朋子：080-3960-4740
南部支部；上原 陽子：職 F 098-946-8174	大城 恭子：080-1737-8687
宮古支部；砂川 祐美子：職 F 0980-74-2727	
八重山支部；大濱 貴子：職 0980-82-4420	

※上記の担当者も、勤務時間は電話に出られない場合がありますので、その折には改めておかけ直してください。

連絡先（問い合わせ先）：沖縄県学校薬剤師会学術研修担当；笠原 大吾（携帯）090-1947-6306

部会だより

平成25年度（第41回） 沖縄県学校薬剤師部会総会・研修会報告

日時：平成25年 6 月 2 日（日） 13:00～14:15

会場：沖縄県薬剤師会館研修室

学校薬剤師部会

副部会長 村田 成夫



【会次第】

開会の辞

会長挨拶

部会長挨拶

議事 平成24年度事業報告

平成24年度会計報告

平成24年度会計監査報告

平成25年度事業計画案

平成25年度歳入歳出予算案

新役員選出

閉会の辞

講演会 14:30～16:30

「エピペンの使い方について」

特別講演 「食物アレルギーー正しく理解し、正しく実践ー」

豊見城中央病院小児科医長 奥間 稔

懇親会 16:45～17:45

司会 大城 恭子

村田 成夫

神村 武之

渡嘉敷 見

前濱 朋子

村上 市子

浜元朝孝・瑞慶山純子

前濱 朋子

村上 市子

池間 正

座長 笠原 大吾

ファイザー株式会社

平成25年度

学校薬剤師部会 新役員

部会長 前濱 朋子

副部会長 大城 恭子

笠原 大吾

久場加代子

村田 成夫

会計 村上 市子

監事 浜元 朝孝

瑞慶山純子

顧問 吉田 久子

渡嘉敷 見

池間 正

相談役 喜納 政利

去る6月2日（日）午後1時より、沖縄県薬剤師会館に於いて、第41回学校薬剤師部会通常総会と研修会が行われました。梅雨の合間の好天に恵まれ多くの会員が参加されました。

まず、執行部より委任状を含め過半数の出席者数の報告を受け、総会の成立と開会の辞の宣言がなされました。

始めに、神村武之薬剤師会会長より日頃の業務をこなしながら学校薬剤師活動を行っている会員へ激励の挨拶がありました。

会則に従い、議長の渡嘉敷見部会長のもと、平成24年度活動報告、会計、監査報告、平成25年活動計画案、予算案が報告され賛成多数で承認されました。

本年は役員改選を伴っており、長きに渡って部会長を務められた渡嘉敷部会長が勇退され、新部会長に前濱朋子氏が選出され、若干の入れ替わりに伴った新体制の下、会員の皆様のご協力でご運営して行きますので宜しくお願いしますとの挨拶がなされ、池間正副部会長の閉会の辞をもって総会を終了した。

引き続き、研修会が行われ、始めにファイザー株式会社による「エピペン（アドレナリン注射

液）の使い方について」針も薬液も含まない練習用トレーナーを用いてトレーニングを行った。

続いて、特別講演では豊見城中央病院小児科医長の奥間稔氏による「食物アレルギー～正しく理解し、正しく実践～」の演題で講演された。食物アレルギーの定義で必ずしも経口摂取でなく、侵入経路に関係なく食物によって惹き起こされるアレルギーとなった定義の変更の説明があり、又、エピペンの投薬における患者指導のポイントとして、①アナフィラキシー治療の第一選択はアドレナリンである。②アレルギー発症から30分以内に使用することが望ましい。③ショックに陥ってからではなく、アナフィラキシーの兆候（特に、呼吸器症状）が出現した場合には積極的に行う。④症状出現時に対応できるように、エピペントレーナーを用いたシュミレーションを普段から行う等の対策が必要と話され、講演の前後には理解度到達アンケートなどを行い、大変興味深く楽しく緊張した講演会であった。

終了後の茶話会では、講師の奥間氏も参加され、会員からの質問に答えながら懇親を深め、有意義な時間を過ごし散会となった。

部会だより

学校薬剤師について、知っていますか？

～ 学薬活動20年間の変遷 ～



学校薬剤師部会
前部会長 渡嘉敷 見

ここ4・5年、学校薬剤師の入れ替えが多くなり、世代交代が進み、老荘青のバランスのとれた組織になって来たと思います。長年、学校薬剤師をして頂き、辞められた皆様には本当にご苦勞様でした。

学校薬剤師も、当初は学校環境衛生の中のプール、飲料水、照度の検査でしたが、今日では、その他に空気、ダニ、ダニアレルゲン検査、騒音測定、禁煙、薬物乱用防止、アンチドーピングへの協力、くすりの正しい使い方や学校保健委員会への出席等、学校薬剤師としての職務の量が多くなってきました。

特に新任の学校薬剤師の皆様には、日常の業務と重なることが多々あると思いますが協力して頂きたいと思います。これらの活動を行うには、学校、特に養護教諭の先生と連携を密にしていかなければなりません。

また、学校を取り巻く社会環境も変わり、この20年間の主な「学校環境衛生の基準」の改訂は、①「学校環境衛生の基準」全面改訂（平成4年6月）、②「学校給食衛生管理の基準」の一部改訂（病原性大腸菌O157発生）（平成8年8月）、③「学校におけるゴミ焼却炉処理廃止」（ダイオキシン発生）（平成9年10月）、④「トリハロメタンの測定」

（発ガン物質発生）（平成13年8月）、⑤「遊離残留塩素の測定法の変更」（オルトトリジン→DPD）（平成13年8月）、⑥揮発性有機化合物（ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、Pジクロロベドゼン）検査、（平成14年2月）⑦ダニ、ダニアレルゲン検査（平成16年）があります。

学校薬剤師の皆様には、上記の改訂を理解して学校環境衛生活動を進めて頂きたいと思ひます。また、飲料水の定期検査で採水の際には各学校にある受水槽が何処に設置されているのか。受水槽の周りがきれいに整備されているのか。「簡易専用水道」の定期検査が行われているか確認して頂くことも大切であります。

終わりに、この度16年間学校薬剤師部会の部会長を続けてきましたが、去る6月2日の総会に於いて全会一致で前濱朋子さんに引き継ぐことになりました。16年間の長きに亘り私を支えて頂きました、役員、会員、事務局、試験検査センターの皆様には感謝致します。

今後は、前濱朋子部会長を中心に学校環境衛生の向上と児童生徒の健康増進のために、学校・家庭・地域の皆さんと協力して頑張っていきますので、これからもよろしくお願い致します。



16年間の長きに亘り学校薬剤師部会長を務められてきた渡嘉敷見氏（前列左から3人目）が退任され、新部会長に前濱朋子氏（左から4人目）が就任しました。

部会だより

第9回保険薬局部会総会報告

日時：平成25年6月30日(日) 10:00～12:00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



保険薬局部会
部会長 川上 善久

上記日程にて、保険薬局部会総会を開催しましたので報告致します。

活動報告では、昨年4月に九州保健医療大学の徳永仁准教授をお招きし、『薬剤師の為のフィジカルアセスメント』についての講演を実施しました。

今年度の活動案として、

- (1) 保険薬局会員向けの研修会の実施。
- (2) 外部講師を招聘した講演会の実施。
(年2回予定)
- (3) 学術大会等に参加する場合は研修補助費を支給する。(20万円の予算計上)

研修会においては、年6回の開催を予定。薬剤師の服薬指導に役立つ内容を考えて行きたいと思います。

保険薬局の抱える問題点として、下記の内容の相談がありました。

- (1) 不動態在庫について、
- (2) 研修会については、他の研修会と重ならないように調整をしてほしい。
- (3) 個別指導の具体的対策勉強会を実施してほしい。

等でした。不動態在庫については、会営薬局での買取り希望の希望がありました。上記の問題点については、今後、県薬剤師会、各委員会、各部会と連携し対策を行っていきます。

最後に今年度は役員改正の時期であり、全役員の留任が承認されました。地区委員に関しては、各地区薬剤師会より今後推薦して頂けるよう要望していきますのでご協力お願い致します。

以上にて、第9回総会が無事終了致しました。

特別講演では、株式会社メディカルグリーン代表取締役社長の大澤光司先生をお招きし、『在宅医療における薬剤師の素敵な役割』に

ついてのお話を頂きました。

大澤先生の在宅の取り組みは、楽しくて分かり易くをモットーに、他職種連携では「飲みにケーション」を大事にし、頼れるPTA会長（他職種にとって医師への薬に関しての提案は極めて困難。そこで薬剤師が他職種の方と連携し薬の問題点を探り、医師にフィードバックする）、優しいツアコンダクター（患者さんへより安全に薬を服薬して頂くために在宅訪問を行う）を心がけ、日々活動されているとのことです。在宅当初は、他職種の方より、「薬剤師が在宅に来て何ができるの?」「薬剤師の顔が見えない」「在宅へ行ってくれる薬剤師はどこにいるの?」という意見が多くあった。その中で、大澤先生は、在宅介護を支える医師、看護師、薬剤師など専門職だけでなく、地域全体の介護力を高め、幸せに生きる事が出来るコミュニティーの実現を目指し、コミュニティーケア研究会を発足。現在、76回の定例会が行われ、会員数300名以上の研究会に育っているとのことです。この活動を通じて、コミュニティー（何でも気軽に、何時でも相談できる）作りの大切さを感じ、薬剤師として「介護のことは苦手」「患者さんから何か聞かれたらどうしよう」から、現在は、「何かわからない事があれば誰に聞けば良くわかる、だから大抵の事は聞かれても大丈夫」と考え方に変化があったとのことです。

在宅のはじめ方として、①黙っていても在宅のチャンスは訪れない。②自ら動く事（在宅関連の研究会、研修会、学会に参加、懇親会には必ず出席、飲みにケーション）③在宅関連のメーリングリストに登録。④ケアマネ

さん対象の研修会の実施が必要だという事でした。そして、薬剤師としての自覚と自信そして責任感を強く持つことが大事という事で締めくくられました。

今回の講演を聞く際、大澤先生から在宅自己チェックリストが配られ、講演を聞く前はほとんどの方が200点満点中100点未満でしたが、講演後は在宅の理解が深まり半数以

上の方が100点以上でした。大澤先生が最後にお話しされた、薬剤師として自覚、自信、責任感を持ち、在宅にまず一步踏み出す事が大切だと感じました。



特別講演『在宅医療における薬剤師の素敵な役割』 大澤 光司 先生

保険薬局部会研修会報告

日時：平成25年 6月20日(木) 19:30～21:00
会場：(株)アトル沖縄営業部

保険薬局部会 部会長 川上 善久

上記日程にて保険薬局部会研修会を行いましたので報告致します。

講師は、日本イーラリリー株式会社糖尿病・成長ホルモン事業本部西日本支店の向坂亮介氏が務め、インスリン製剤の取り扱いについてリスクマネジメントの観点からお話を頂きました。

インスリン製剤には、大きく分けてインスリンアナログ製剤とインスリン製剤があります。インスリンアナログ製剤には超即効型、中間型、混合型、ヒトインシュリン製剤には即効型、中間型、混合型があり、糖尿病の症状により使い分けがされています。メーカーではリスクマネジメントの観点から間違いないよう各製剤に色分けがされています。また、誤って形が違うインスリン製剤を使用した場合には、その製剤の作用動態に注意し、例えば即効型R注に関しての血中インスリン濃度は1時間から3時間がもっと濃度が高くなるので、その間の血糖管理を行うことが重要であるとの説明がありました。そして、インスリン製剤の保管に関しては、冷蔵庫の送

風口の近くだと製剤が凍る可能性があるので、卵保管庫のような場所がベストであり、車中に置き忘れると、暑い沖縄では製剤の力価が低下するので注意が必要だそうです。

最近、HbA1cの指標が変更され、「6未満」が良、「7未満」可、「8未満」が不可と分かり易くなりました。また、糖尿病の指標としては、HbA1cと血糖値がありますが、HbA1cの値7以上の指標のみでは糖尿病と診断されず、経過観察されるということでした。薬剤師においてもHbA1c 7以上を理解する必要があります。

質疑応答では、インスリン製剤の一般名処方について質問があり、一般名処方では、インスリン製剤を特定することが難しく、商品名処方への対応が必要であるという意見があり、メーカーさんへの対応を依頼し研修会は終了致しました。

保険薬局部会では、今後も服薬指導に役立つ内容の研修会を行う予定にしています。次回は、8月22日に開催致します。多くの方のご参加お待ちしております。

部会だより

女性薬剤師部会通常総会報告

日時：平成25年7月7日(日) 10:00～10:50

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



村田美智子 部会長

平成25年7月7日(日)、沖縄県薬剤師会女性薬剤師部会通常総会が行われました。参加人数は44人でした。

定刻になり、司会の草壁瑞江氏(つる薬局)により、開会が宣言されました。

村田美智子女性薬剤師部会会長より挨拶があり、その後、議題に入りました。

まず、平成24年度活動報告が、村田部会長より行われました。県薬より割り当てられた予算は45万円。雑収入5000円。繰越金を合わせておよそ46万円。

活動の内容は以下の通り。

- ①年に1回の総会(平成24年7月22日)
- ②漢方講座：講師 清水医院 院長(清水正彦先生) 年2回(7月、1月)
- ③健康とおくすり相談会(なごみ会主催)
- ④診療ガイドライン薬剤コース・スクーリング
- ⑤役員会 年13回
- ⑥薬草園の手入れ(5月19日・12月24日・平成25年2月3日)
- ⑦「妊婦、授乳婦とくすり」の勉強会(年4回)
- ⑧その他、会議やセミナーへの参加等

この予算でよくこれだけの活動できたものだというのが正直な感想でした。役員の方々の努力とご苦労に改めて頭が下がる思いがしました。



うるま薬局
長元 恒子

続いて、会計の与儀和子氏より、平成24年度の会計報告と、渡口順子氏・比嘉千賀子氏の両監事による監査報告があり、満場一致で可決されました。

薬草園について少し触れます。これは、県薬会館と医師会館の境界のわずかな崖のような所に作られたミニ薬草園のことで、主に沖縄原産(?)の薬草が植えられています。与儀和子氏が、ボランティアで毎週土曜日の早朝に水遣りをしているそうです。また、毎日の水やりは、県薬事務局の大城さんの好意で行われているのだということです。興味のある方は是非、一度、見学してみてください。

続いて、平成25年度の活動計画案(執行部案)が提案されました。本年度の予算額は、およそ48万円。



司会：草壁瑞江氏



会計報告：与儀和子氏

- ①従来通りの漢方講座（年2回）
- ②一般社団法人日本女性薬剤師会研修講座
「平成25年度薬剤師継続学習通信教育講座（旧診療ガイドライン・薬剤コース）」の幹旋とスクーリングへの実施（女子薬が研修提供機関となったことにより名称が変更されました）
- ③沖縄の薬草への知識を広める活動
県薬会報「暮らしの中の薬草学」狩俣イソ氏執筆の継続。ミニ薬草園の充実。
- ④窓口で役立つ「妊婦・授乳婦と薬」について
- ⑤健康とおくすり相談会への参加

以上の提案がなされ、これも満場一致の上、可決されました。

また、日本女性薬剤師会が一般社団法人化したことで、新たに薬剤師生涯学習センターを設置し、2012年12月14日より、生涯研修認定制度事業が薬剤師認定機構として承認されたという嬉しいお知らせがありました。

フロアから、「薬剤師は医療機関から飛び出して、もっと他職種との交流を図ることで専門以外のことも学び、見聞を広める必要がある。そうすることがひいては薬剤師の存在感を世間へアピールすることにつながるのではないか。その一つの方法として、“女性の翼”への参加、あるいは会から派遣する事も含め考えてみてはどうか」との提案がありました。

以上、報告を致します。

“女性の翼”

本県の女性を海外へ派遣し、公的機関、女性の社会活動、教育、労働、福祉、環境、人権等の視察研修、制度の調査を通して、男女共同参画社会の実現を図り「平和で活力に満ち、潤いのある沖縄県づくり」に貢献する女性リーダーの育成及び資質の向上を図ることを目的とする。



薬剤師会と医師会の境界（斜面）にある“ミニ薬草園”。与儀和子先生がボランティアで毎週土曜日の早朝に植栽、水遣りを行っている。事務局も楽しんで管理のお手伝いをしています。是非見学にいらして下さい。

総会後開催された女性薬剤師部会主催の漢方講座



清水 正彦 先生（佐賀県 清水病院 院長）『証の捉え方と対処方法』

部会だより

女性薬剤師部会主催 第13回漢方講座報告

日 時：平成25年7月7日(日) 11:00～14:30

会 場：沖縄県薬剤師会館 ホール

講 師：清水 正彦 先生(佐賀県 清水病院 院長)

テーマ：『証の捉え方と対処方法』



女性薬剤師部会
部会長 村田 美智子

去る7月7日の女性薬剤師部会主催恒例の漢方講座には、99人(他、医師1人を含めると100人)もの会員が集って下さいました。今回も1割強(11人)の男性会員の参加があり、漢方の広がりを感じました。改めて感謝申し上げます。

当日の内容等につきましては、お二人の会員が報告されますので、私の方からは症例検討で使われました問診票について案内致します。講師の清水先生のお力添えで、第11回より始まった症例検討ですが、先生が日常お使いの問診票を提供して頂き、会員が実際に聞き取りをした症例を先生に読み取って頂いています。問診票の質問事項はどれも一つ一つ意味があり、最後には自ずと回答が見えて

くるといふ、素晴らしい内容の問診票になっています。

その問診票をこの会誌に掲載し、会員がコピーして使えるようにしたいと清水先生にお願いしましたところ、そのお人柄ですぐに快諾され、更に推敲も重ねられ、今回の運びとなりました。コピーの原本として保存し、ぜひ日常業務に役立てて頂きたいと願っています。

そして、もし日頃お困りの症例があり、今回の漢方講座(平成26年1月19日)で検討して欲しい症例がありましたら、事前に薬剤師会までFAXして下さい。清水先生にお送りして検討会でご教示頂けるようにしたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

<漢方講座報告1>

今回の漢方薬講座も盛り沢山の内容でいつも感謝の気持ちで聴講させて頂いています。

その中でも特に印象深かった内容は、まず1つ目は、薬剤師が患者さんの状態を簡便にチェックする方法である舌診とその対処法です。<舌の表面がむくんでいる(朝、顔や手足がむくむ)>

○消化管の水はけが悪く、水毒と捉える。

○処方としては茯苓(水をぬく)朮、沢瀉など。

○半夏(水利、のどの痛みなどマルチタレント的漢方)。ただし、半夏は舌の赤い時(熱のこもっている状態)は、水を飛ばし過ぎて逆に熱を上げてしまうため、禁である。

会営薬局とよみ
與儀 明美



○歯圧痕

①非生理的な水が多い(靴下の痕が残る人)

②ストレス(交感神経の過緊張)で歯ぎしりが原因

<舌の怒張(裏側)>

○左右対称の静脈がぐりぐりとはれている(側副血行路の悪化)は、骨盤内の血流悪化。例えば、静脈瘤や痔など。

○処方としては、当帰芍薬散(貧血もあればこちらを選択)、桂枝茯苓丸(顔がほてっ

て足がむくんでいる人に良い)

＜黒毛舌＞

カビが主原因で、その元に免疫異常。例えば糖尿病のコントロールが不良、ステロイドの副作用、免疫疾患など。

処方としてはアズレンのうがい（ファンギゾンシロップも良い）。口腔内のブラッシング。
＜かさかさした舌＞

急性：熱がこもり脱水に傾いた状態。

潤すものとして、朝鮮人参、麦門冬湯、五味子、天門冬湯

慢性：栄養が少ない（経腸栄養）、ストレスの強い人

点滴などで潤しながら熱を下げる。処方としては知母（軽く冷やす）

状態が悪ければ石膏を加える（強い炎症に効果がある）

＜白膩舌＞

六君子湯が主の処方。白苔が薄ければ人参湯。

当帰芍薬散、桂枝茯苓丸（肌荒れ、手足の腫れ、生理不順があれば桂枝茯苓丸にハトムギを加えた桂枝茯苓丸加薏苡仁（ヨクイニン）を14日ほど服用）

＜黄色い舌＞

がっちりタイプには大柴胡湯。細い人には小柴胡湯を1日1回。

下痢があれば中止。間質性肺炎、インターフェロン、肝硬変などの治療を受けていれば禁（柴胡、黄芩でアレルギー反応をおこしてしまうため。間質性の膀胱炎にもなりうる）

自身の健康チェックができるうえ、健康相談や服薬指導の際、症状と舌診を合わせることで、患者さんの身体の状態をより明確に把握できるかと思います。

2つ目は、「植物油に関する悩み」と題したアレルギー反応についてです。

植物油、白糖、インスタントラーメン、マーガリン等が原因となって起こるアレルギー疾患の一つにアトピー性皮膚炎がありますが、

その捉え方として、摂り過ぎたたんぱく質、脂質が湿疹（ヘドロ）となって排泄されているとのこと。

主因は三大食品（植物油、鶏卵、牛乳）、さらに『米』、小麦の被害も出現して五大食品となり問題となっている。臨床的なかゆみの強度は、牛乳を1とすると植物油は10倍、鶏卵20倍、米50倍、小麦5倍になるという。

今まで私たちが主食としてきた『米』がアトピー性皮膚炎の原因の一つになっているということには非常に驚きました。

さらに、伝統的な和食から西洋的な食事への変化により、アトピー性皮膚炎及び併発した多彩な悩みも出てきているという衝撃的な内容でした。ただし、食物アレルギー＝アトピー性皮膚炎ではないと。

三大食品の中でも反応が強い揚げ物、生の牛乳、マーガリン、ドレッシング、スナック菓子、ケーキ類、生卵、半熟卵、チーズ、ヨーグルトなどは除去し、使ってもいいものは、炒め物油、オリーブ油、ごま油、とり肉、牛肉、カマボコ、ちくわ、クッキー、ビスケット、食パンなど（これは大まかなもので、実際には細かい制限があるようです）。

アトピー性皮膚炎ではない私が、毎日好んで食べている食品が三大食品に多く含まれていて、このままいけば発症する可能性もあるとショックを受けてしまいました（過剰反応?!）。

また、米を安全と考え咀嚼しないで食べ過ぎる傾向があり、これも問題になっているそうです。

アトピー性皮膚炎などの症状が三大食品を抜いても改善しないなら、『米』の除去を試みる必要があると、非常に勉強になりました。

この研究について、名著があると清水先生お勧めの書籍も記しておきます。

『油を断てばアトピーはここまで治る』

三笠書院

下関市立中央病院 医師：永田良隆 著作
興味のある方は、ぜひ参考になさってください。

＜漢方講座報告2＞

清水先生は、毎年1月と7月の年2回、女性薬剤師会主催の漢方講座に講師として来沖され、私は、1月の前回講座に参加することができました。先生の身近な話題と明快な分かり易い講義内容、また、私達が直ぐ取り入れることもできる生活上の養生もお話されますので、とても楽しみに今回も伺いました。ちなみに前回は、寒い時でしたので、冷えの防止に腹巻とレッグウォーマーが良いとのことでしたので、早速、私、やってみました。心地良かったので周りにも勧めました。

今回は、食養生について話されました。

○ 米は痒みの原因になる

○ 油は1回使用したら捨てる

○ マーガリンは使わない

などでした。これらも早速取り入れたいと思っています。

応用講座（症例検討・解説）について報告致します。

午後からは具体的な症例検討で、午前の基礎とは違い、患者さんの問診票が出てきて、先生の分かり易い説明があり、漢方に詳しくない私も引き込まれていきます。今回、薬剤師は診断のためには脈などがとれないので、舌を見るのが良いのではとアドバイスされていました。

＜私が興味深かった症例＞

① 33歳、女性 体重49kg、身長158cm
・・・基礎の身体データ

② 既往歴・・・小学生の時から頭痛に悩まされていて、イブが手放せない状態。

左目奥が痛く、夜中も起きる。

刺すような夜間の痛みは瘀血

鎮痛解熱剤使用で深部体温が下がり冷える可能性

③ 治療経過・・・最近薬を飲むと胃にくることがある。⇒ 胃の表層障害があり。脾虚の状態では。



レモン薬局 高尾 勝子

★問診表から、

体力はない。⇒ 虚

汗かきである。⇒ 代謝は亢進している。

肌はカサカサでない。⇒ 血虚ではないか。

あっても少し。

冷えは、無い。⇒ 表面（シエル）には無い。

のぼせは無い。⇒ 気逆は無い。

めまいは、ある。

食欲は、ある。

胃は、丈夫でない。⇒ 脾虚

食の嗜好は、冷たいものが好き。

⇒ 中が冷えている。（裏寒）

お通じは、良い。

便臭は、強い。⇒ 裏熱は少し。

尿の色は、濃い。

夜間尿は、無い。

ほてりは、無い。

むくみは、無い。

排尿の状況は、近くも遠くもない。

不眠は、無い。

イライラ感は、無い。

★結果：陽虚で、寒熱どちらもある。

⇒ 寒熱錯雑。

処方 ⇒ シャッフルするのに ⇒

桂枝茯苓丸分1の2.5g それに目の痛み

があるので +釣藤散分3の7.5g

とのことでした。

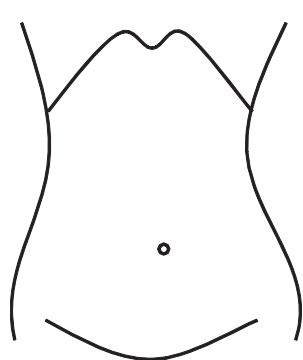
★症例については、合計5例について詳細な説明がありました。具体的なイメージができますので、とても分かり易い内容でした。

是非、次回も参加したいと思っています。

症例に関する質問票

(お困りの症例等ご記入下さい)

①	歳	男性・女性	体重	kg	身長	cm
	血圧	mmHg	脈拍	/分		
②現病歴（主な検査項目）						
③既往歴						
④治療経過						



【舌診所見】

1. 舌の表面の状態（舌苔の色）；
（苔なし、薄い白苔、白苔、黄白色、黄色、黒色）
2. 舌質の色（紅色、薄紅色、淡泊色、紫色、暗赤色）
3. 舌辺縁の齒圧痕の有無（あり、なし）
4. 舌背静脈の怒張の有無（あり、なし）
5. 舌の先端の赤み（あり、なし）
6. 舌の辺縁に赤み（あり、なし）
7. 舌の表面の乾燥（あり、なし）

佐賀県 清水医院 院長 清水正彦先生 作

問診票

体	力	ある方	ない方
汗		汗かき	汗かきでない
肌		カサカサ	カサカサでない
冷	え	ある（部位は： ）	ない
の	ぼ	せ	ある ない
め	ま	い	ある（雨の日におきやすい はい・いいえ） ない
口	渴	ある	ない
食	欲	ある	ない
胃		丈夫なほう	丈夫でない
食	の	嗜	好
		熱いものが好き	冷たい物が好き
お	通	じ	よい わるい（ 日に一度） 下痢傾向
便	臭	強い	弱い
尿	の	色	濃い 薄い
夜	間	尿	ある ない
ほ	て	り	ある ない
む	く	み	ある（ ） ない
排	尿	の	状
		況	尿が近い 尿が遠い 近くも遠くもない
不	眠	ある	ない
イ	ラ	イ	ラ
		感	ある ない

佐賀県清水医院 院長 清水正彦先生 作

部会だより

日本女性薬剤師会学術講演会報告

日時：平成25年 6月16日(日) 9:30～16:00

会場：星薬科大学 メインホール



沖縄県女性薬剤師部会
副会長 狩俣 イソ

日本女性薬剤師会は設立以来一貫して生涯教育に力を注いでおります。薬剤師としての自己研鑽への支援として継続的に提供してきた薬剤師継続学習通信教育講座、移動セミナーなどが評価され、平成24年12月、薬剤師認定制度認証機構より、認定研修機関（CPC認証プロバイダー：G16）として認証されました。

その一環である学術講演会が6月16日(日)星薬科大学に於いて「くすり・クスリ・Drug 未来世代への警鐘と新たな薬への期待」のテーマで、以下四題の講演が行われました。

『新しい医療行政の展開』

厚生労働省大臣官房審議官 平山 佳伸

「チーム医療の推進について」の報告書(平成22年3月19日とりまとめ)で、現行制度の下、薬剤師が実施できるにもかかわらず、薬剤師が十分に活用されていない業務例があげられている。

- 医師・薬剤師等で事前に作成・合意されたプロトコールに基づき、医師・看護師と協働して薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間の変更や検査のオーダーを実施
- 薬剤選択、投与量、投与方法、投与期間等について積極的な処方提案
- 薬物療法を受けている患者に対する薬学的管理(患者の副作用の状況の把握、服薬指導等)
- 薬物の血中濃度や副作用のモニタリング等に基づき、副作用の発現状況や有効性の

確認を行うと共に、薬剤の変更等を医師に提案

- 薬物療法の経過等を確認した上で、前回処方と同一内容の処方を医師に提案
- 外来化学療法を受けている患者に対するインフォームドコンセントへの参画及び薬学的管理
- 入院患者の持参薬の確認・管理
- 定期的に副作用の発現の確認等を行うため、処方内容を分割して調剤
- 抗がん剤等の適切な無菌調整

『若者の薬物乱用を防ぐために薬剤師にできること』

独立行政法人国立精神・神経医療
研究センター 精神保健研究所

薬物依存研究部 松本 俊彦

2010年の全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態に関する調査で、乱用薬物別の分類：覚醒剤53.8%、睡眠薬・抗不安薬17.7%、多剤8.5%、有機溶剤8.3%、鎮咳薬3.0%、大麻2.7%、鎮痛薬1.8%という結果がでた。前回まで第2位であった有機溶剤がついにその地位を降り代わりに睡眠薬・抗不安薬がわが国第2位の乱用薬物になり、精神科医療は薬物依存の問題を避けることができなくなった。

薬剤師は、患者とのコミュニケーションを介して薬物乱用・依存に気づき、主治医にフィードバックしたり、疑義照会を介して睡眠薬・抗不安薬乱用防止に関与してもらいたい。

『薬物依存症からの回復と援助』

日本ダルク本部ディレクター 三浦 陽二

中学の頃よりシンナー、覚せい剤、大麻等に依存し、現在はダルクで「薬物依存症の経験を生かし、医師や薬剤師には出来ない、困っている薬物依存者の手助けをする」ことに従事している。そしてそれは薬を使用しながらでは出来ない為、自然と薬が止まるのだ。

『ヒトiPS細胞の創薬応用』

(株)リプロセル代表取締役社長 横山 周史

ヒトiPS細胞は多分化能と高い増殖性を兼ね備えているため、様々な種類の体細胞を安定的に供給することが可能になる。ヒト細胞を安定的に創薬プロセスで利用することにより、種間差（ヒトと動物の反応性の違い）の問題や安定供給の課題の克服が可能になる。ヒト細胞を用いた薬効試験及び毒性試験が実現可能になる。

部会だより

平成25年度 日本医薬品卸勤務薬剤師会 沖縄県支部会報告



日本医薬品卸勤務薬剤師会
沖縄県支部事務局 森下 彰久

2013年6月19日（水）に、平成25年度日本医薬品卸勤務薬剤師会（以下、本会）沖縄県支部の理事会・総会・研修会・懇親会を開催しましたので、ご報告します。

本会は、「医薬品卸勤務薬剤師の一般知識と倫理及び学術の水準をより高め、薬事法等法規の遵守、卸の実践規範であるJGSPの実践、DI活動、教育研修の実施、安全管理業務の推進等主たる業務においてその職能を発揮することにより、医薬品など薬事法に規定する品目を取り扱う卸業の使命の達成に努め、もって国民医療の向上に寄与する」ことを目的とした組織で、都道府県ごとに支部が設置されています。現在、本会沖縄県支部は、6社12名で活動を行っております。主な活動内容としましては、年1回の理事会・総会、日本薬剤師会学術大会・九州山口薬学大会・沖縄県薬剤師会学術大会・本会主催の研修会等に参加し、日々研鑽に励んでいます。

6月19日の開催内容は、次の通りです。

【理事会・総会】

- 平成24年度支部活動状況報告
- 平成24年度支部収支報告

- 平成25年度本部理事会報告
- 支部会員の入会・退会報告
- 薬学生卸見学実習等の受入報告
- 平成25年度支部活動計画
- 平成25年度支部予算

などに関する報告・検討を行い、理事会・総会とも滞りなく終了しました。

【研修会】

協和発酵キリン株式会社に講師をお願いしまして、パーキンソン病の病態・治療等に関する説明を受けました。また、薬剤の説明では、5月30日に新発売されました世界初のアデノシンA_{2A}受容体拮抗薬「ノウリアスト錠20mg」の紹介がありました。増加しているパーキンソン病患者の症状緩和が期待されます。

【懇親会】

卸勤務薬剤師が一同に集まる機会がなかなかないため、このような機会を有効に活用して様々な内容の情報交換を行っております。患者と直接話をする事は少ないのですが、医療関係者の一人という自覚を持ち、これからも様々な活動を行っていききたいと思います。

部会だより

第42回沖縄県病院薬剤師会通常総会報告

日時：平成25年6月1日(土) 17:00～18:30
会場：ホテルロイヤルオリオン

沖縄県病院薬剤師会常任理事
外間 惟夫



平成25年6月1日(土)午後5時より、ホテルロイヤルオリオンで、第42回沖縄県病院薬剤師会通常総会が開催されましたので報告します。

<式次第>

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議 事

1) 報告事項

- 第一号 平成24年度会務・事業報告
- 第二号 " 決算報告
- 第三号 " 監査報告
- 第四号 分科会活動報告
- 第五号 第46回日病薬臨時総会報告

2) 議案事項

- 第一号 平成25年度事業計画(案)
- 第二号 平成25年一般会計予算(案)
- 第三号 会則一部改定の件
- 第四号 役員改選の件
- 第五号 その他

5. 閉会の辞

司 会 石 井 岳 夫
副 会 長 金 城 清 二
会長代行 田 場 英 治

副 会 長 姫 野 耕 一
会 計 外 間 惟 夫
監 事 比 嘉 佳穂子
各分科会責任者
代 議 員 田 場 英 治

副 会 長 姫 野 耕 一
会 計 外 間 惟 夫
事 務 局 外 間 惟 夫
役員選考実行委員長

常任理事 外 間 惟 夫

○平成25年度の事業項目

- I. 組織と役員会の強化拡大
- II. 学術・教育研修活動の推進
- III. 認定・専門薬剤師育成
- IV. 薬薬連携の強化・拡大
- V. 学会、学術大会に対する協力
- VI. 病薬会誌発行とホームページの活用と充実
- VII. 新規事業への取り組み

I. 組織と役員会の強化拡大

1. 沖縄県病院薬剤師会の会員数について

昨年4月から6年制薬剤師が卒業し、既に県内各施設で活躍している。さらに病棟薬剤師業務実施加算の新設、ふるさと実習の拡大などを受け、今後も積極的に病院薬剤師会の会員増大に努め、正会員400名を目標とする。

※ 会員数の年度別推移

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年4月	25年3月現在
正会員	326	351	362	377	383	391
特別会員	19	10	10	10	6	6
賛助会員	28	39	42	40	48	41
名誉会長	2	2	2	2	2	2
計	375	402	416	429	439	440

1) 年会費 10,000円(半期会員 5,000円)

内 訳 日本病院薬剤師会費 8,000円

沖縄県病院薬剤師会会費 2,000円

*任意加入として 日本病院薬剤師連盟会費 3,000円

2) 会員のメリット

- ① 日本病院薬剤師会雑誌(JJSHP)が毎月送付
- ② 病院薬剤師賠償責任保険への加入資格
- ③ 病院薬剤師会主催の研修会への参加、日本病院薬剤師会の生涯教育認定取得が申請できる。
- ④ 日本病院薬剤師会認定 実務実習指導薬剤師が取得可能
- ⑤ 日本病院薬剤師会 認定・専門薬剤師が取得可能
- ⑥ 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師が取得可能

2. 沖縄県薬剤師会への入会促進 病院診療部会(病薬会員:38名)

1) 年会費 ① A会員(薬局等の開設者及び管理薬剤師)

54,000円 但し、一括納入の場合 49,500円

② B会員(上記以外の勤務薬剤師、病院薬剤師)

39,600円 但し、一括納入の場合 36,300円

2) 会員のメリット

- ① 日本薬剤師会雑誌(JJPA)が毎月送付
- ② 薬剤師賠償責任保険への加入資格
- ③ 薬剤師会主催の研修会への参加
- ④ 薬剤師年金に加入できる
- ⑤ 日本薬剤師研修センター認定薬剤師の申請のサポート
- ⑥ 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師が取得可能

3. 日本病院薬剤師連盟への入会促進(年会費:3,000円)

薬剤師の社会的(制度的)地位向上を促進するために、日本病院薬剤師連盟への入会を促進し体制を強化する。

4. 役員会活動の活性化

昨年度は、役員会の強化拡大を図るため常任理事2名を新設、理事1名を増員し、役員16名体制とした。今後も会員数の増加に伴い、県病薬活動への若手薬剤師の積極的登用や理事枠の増員など、役員会の体制強化と活性化に努めたい。

Ⅱ. 学術・教育研修活動の推進

1. 学術講演会活動の推進

昨年度は、病薬あるいは分科会主催、各種専門認定、さらに病薬が後援し日病薬生涯研修認定単位が発行された学術講演会・研修会が103件（平成25年1月現在）開催、または予定されている。平成25年度も引き続き教育研修推進のために学術講演会等を積極的に開催したい。

2. 新任薬剤師研修会の開催（県薬と共催）

病院勤務3年未満の薬剤師を対象に薬剤師としての倫理・役割、病院薬局業務についての基礎的知識・技術の修得を目的として年1回程度開催する。

3. その他

次の委員会の県内担当者がいるので、関連活動については会員全員で協力する。

名 称	責任者	責任者所在施設名	連 絡 先
広報委員会	喜屋武 典	琉大附属病院	098-895-3331
中小病院担当者	姫野 耕一	大浜第一病院	098-866-5171
精神病院担当者	比嘉 佳穂子	新垣病院	098-933-2756
介護保険対策担当者	伊藤 昌徳	ハートライフ病院	098-895-3255
プレアボイド担当者	鈴木 毅	琉大附属病院	098-895-3331
療養病床担当者	高田 憲一	平安病院	098-877-7320

Ⅲ. 認定・専門薬剤師育成に努める

1. 認定・専門薬剤師講演会の開催（県薬と共催）

2. 分科会等活動の促進

以下の分科会を設置し、認定・専門薬剤師の育成を目的として活動する。また各分科会は学会発表や論文投稿を目標として、研修会、研究発表会の開催を目指す。

委員会・分科会名	責任者	責任者所在施設名	連 絡 先
がん化学療法分科会	金城 雄一	那覇市立病院	098-886-4553
感染制御分科会	川平 浩子	県立中部病院	098-973-4111
緩和ケア分科会	伊藤 昌徳	ハートライフ病院	098-895-3255
糖尿病分科会	山田 智史	琉大附属病院	098-895-3331
妊婦・授乳婦分科会	橋本 孝夫	豊見城中央病院	098-850-3811
NST分科会	仲村 弘子	南部医療センター	098-888-0123
精神科分科会	比嘉 佳穂子	新垣病院	098-933-2756
HIV分科会	諸見 牧子	琉大附属病院	098-895-3331

Ⅳ. 薬薬連携の強化・拡大

薬剤師相互の交流を図り、医療安全に貢献することを目的として薬薬連携の強化・拡大に努める。具体的には、新人薬剤師研修会や学術大会、フィジカルアセスメントWGなどの協同事業の継続、さらに今後は無菌製剤処理加算委員会（仮称）への参加や、在宅関連の無菌製剤、TPNなどの研修施設としての協力などを検討したい。

V. 学会、学術大会に対する協力

九州山口薬学大会、日本薬学会年会、日本医療薬学会年会、その他薬学関連学会への発表を促進し、県薬剤師会と協力しながら学術活動に力を入れていく。

1. 主な県外学会・学術大会

- 1) 第30回日本TDM学会学術大会（平成25年5月25～26日：熊本市）
- 2) 医療薬学フォーラム2013 第21回クリニカルファーマシー・シンポジウム
（平成25年7月20～21日：金沢市）
- 3) 第75回九州山口薬学大会（平成25年9月15・16日：佐賀市）
- 4) 第7回日本緩和医療薬学会年会（平成25年9月15～16日：千葉幕張メッセ）
- 5) 第46回日本薬剤師会学術大会（平成25年9月22～23日：大阪市）
- 6) 第23回日本医療薬学会年会（平成25年9月21～22日：仙台市）
- 7) 第28回日本薬物動態学会年会（平成25年10月9日～11日：タワーホール船堀）
- 8) 第34回日本臨床薬理学会年会（平成25年12月4～6日：東京国際フォーラム）
- 9) 第9回九州山口薬学会ファーマシューティカルケアシンポジウム（平成26年予定）
- 10) 日本薬学会 第134年会（平成26年3月27～30日：熊本）

VI. 会誌の発行、ホームページの充実と活用

広報委員会が中心となって病薬会誌「おきなわ」を発行する。また県病薬ホームページの充実に関しては、活動の広報強化の一環として、以下を実施した。①病薬会誌を2010年よりPDF掲載した。②分科会活動を充実させるべく、8分科会の活動報告を年度別に掲載した。

さらに今後は認定・専門取得薬剤師の掲示など、県病薬の活動をアピールできるよう会誌やホームページのさらなる充実を図りたい。

VII. 新規事業への取り組み予定

1. フィジカルアセスメントWG

県病薬会員のフィジカルアセスメントのスキル向上と普及を図るため、ワーキンググループ（WG）を結成し、既に昨年5月から活動を開始している。WGメンバーの構成は各病院施設から1～2名の若手薬剤師に開局薬剤師も加え、研修施設は琉球大学クリニカルシミュレーションセンター、また講師に琉球大学地域医療教育開発講座教授の阿部幸恵先生を依頼、今度には3回の特別講義を含めて合計11回のWGを実施する予定である。

2. 実務実習生交流会

長期実務実が3年目を迎えたことから、昨年7月に「実務実習生交流会」を開催した。これは薬学生や受け入れ施設の情報交換や懇親の場として企画したもので、参加は県薬剤師会（調剤薬局）にも呼びかけ、7月8日（日）に沖縄県薬剤師会館とホテル日航那覇グランドキャッスルを会場として実施された。参加者は県病薬から学生10名、薬剤師9名、県薬から学生6名、薬剤師10名の総計35名で、充実した意見交換が行われ、学生からも好評であった。今後も「ふるさと実習」を推進し、調剤薬局薬剤師との連携をはかりつつ、長期実務実習の充実に努めたい。

3. 病棟薬剤師業務実施加算WGの結成

平成24年度診療報酬改定で病棟薬剤師業務実施加算が新設されたことを受け、病棟薬剤師業務実施ワーキンググループ（WG）を結成し、既に第1回目のWGが開催された。今後

本加算における問題点の抽出や効率的な実施方法など情報の共有化を図り、病棟薬剤師業務実施加算の積極的展開を目指していきたい。

4. 新規事業の検討、その他

県外開催の学会における既発表演題を集めて「沖縄県臨床薬学研究報告会（仮称）」を新規事業として検討する。さらに各専門・認定講演会において当該分科会が会員発表等を行うことも今後検討したい。

VIII. その他

生涯教育を促進する。主な認定制度は以下の通りである。

- ① 日本医療薬学会 認定薬剤師、指導薬剤師
- ② 日本臨床薬理学会 認定薬剤師
- ③ 日本病院薬剤師会 生涯研修認定（単年度）、生涯研修履修認定（5年連続）
- ④ 日本病院薬剤師会 認定・専門薬剤師*
がん、感染制御、精神科、妊婦・授乳婦、H I V感染症
*糖尿病療養指導士、N S Tも含む
- ⑤ 日本病院薬剤師会 認定指導薬剤師
- ⑥ 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師
- ⑦ 日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師

＜平成25年度沖縄県病院薬剤師会役員＞

会 長	田場 英治	
副 会 長	金城 清二（那覇市立病院）	
	橋本 孝夫（豊見城中央病院）	
	姫野 耕一（大浜第一病院）	
常任理事	村田美智子（天久台病院）	
	外間 惟夫（琉球大学医学部附属病院）	
理 事	伊藤 昌徳（ハートライフ病院）	長浜 照美（中頭病院）
	大城 寿子（沖縄県立北部病院）	玉那覇秀之（南部徳洲会病院）
	渡真利国浩（沖縄県立宮古病院）	長田 茂（沖縄県立南部・こども医療センター）
	川平 浩子（沖縄県立中部病院）	石井 岳夫（琉球大学医学部附属病院）
	翁長真一郎（浦添総合病院）	
監 事	比嘉佳穂子（新垣病院）	
	入月 健（沖縄協同病院）	
日病薬代議員	川平 浩子（沖縄県立中部病院）	
日病薬予備代議員	姫野 耕一（大浜第一病院）	

その他会務報告

沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊

平成25年6月22日(土) 慰霊の日前日〔ひめゆりの塔構内〕



左より、笠原大吾理事、田場英治専務理事、神村武之会長、長田紀与志氏とご子息。
右側前列が、久場トヨ氏と長田紀昭氏。

今年の慰霊の日は日曜日にあたり、ひめゆりの塔への多数の参拝者で混雑が予想されることから、ひめゆりの塔を管理するひめゆり平和記念資料館より、前日までのご参拝の協力依頼がありました。当会におきましては、沖縄県医師会と調整し、慰霊の日前日の6月22日に参拝することになりました。

参拝当日の沖縄戦殉職医療人之碑には、本会の供花に加え、今年も沖縄県医師会の供花が添えられていました。

本会名誉会員の久場トヨ先生、長田紀昭先生におかれましては、御尊父の長田紀助氏(当会第2代会長)が合祀されていること

から毎年ご参拝されており、今年もご子息であられる長田紀与志先生とお孫さんにご参拝されました。そして、先生方と共に、神村武之会長、田場英治専務理事、笠原大吾理事が、沖縄県薬剤師会としてご参拝、慰霊されたことをご報告致します。

田場専務理事と笠原理事は初めての参加とあり、終始緊張した面持ちでいられていました。当日の参拝の印象記が笠原理事より寄せられておりますので、ご閲覧ください。

会員の先生方におかれましても、機会があれば、沖縄戦殉職医療人への慰霊、追悼には是非ご参拝下さい。(報告：事務局 大城喜仁)

＜沖縄戦殉職医療人之碑＞

昭和26年10月に沖縄医療団により建立。去る平成21年の慰霊の日には、ひめゆり平和記念資料館が開館20周年を迎えたことにより、その記念事業の一環として、ひめゆりの塔および周辺の環境整備が取り組まれ、隣接の沖縄戦殉職医療人之碑の周囲においても植栽、新しい敷石が整備された。

沖縄戦の戦死者として合祀されている薬剤師は、県内・県外あわせて10人近くになると思われる。その内の1人、県薬第2代会長の長田紀助氏(久場トヨ先生、長田紀昭先生の御尊父)は、厚生大臣任命で、佐官待遇の軍属として南部戦線に向かわれ、玉城村(現南城市)字糸数付近で戦没された。喜瀬乗垣氏(キセ薬局・喜瀬乗惟先生の御令兄)は中国大陸の山野で没された。

寄稿

沖縄戦殉職医療人之碑に参拝しておもう



理事 笠原 大吾

その碑は、あの有名な“ひめゆりの塔”の隣りにひっそり…というのには語弊がある大きなものであるが、静かに鎮座していた。沖縄に来て12年経つ自分が何度も訪れた場所であるにもかかわらず、今まで目に入らなかったのは、碑の表面の文字が、鮮明ではないことに加え、周りの木々が抱くようにその碑を包んでいたからかもしれない。平成25年6月22日（土）の正午前、私はかねてから訪れたいと思っていた碑の前にいた。

今回、神村会長をはじめ田場専務理事、事務局大城氏とともに、参拝させていただくことになった。

その沖縄戦殉職医療人之碑は、沖縄戦で軍に協力し、住民の衛生、保健、治療に活動し、各地で戦死した医師、歯科医師、薬剤師、看護婦等、50余名を合祀している。戦時体制となった時、住民の生命を預かる医師の大半は日本本土へ疎開したが、自分たちの郷土は自分たちの手で守り抜こう、と覚悟を決めた医療人達は、郷土に踏み止まって住民の治療、衛生に努力したが、戦局は不利となり、日を追って増加する傷病者の治療、看護に疲れて倒れる者、さらに、敵陣に斬り込み、自決する者等、実に仁術を天命として尽くし、最後まで闘って戦没した。そして、昭和26年（1951年）医療団が主体となって5万余円（B円）の浄財を集め、同年10月28日建立された、と記録にはある。

毎年、お身内が合祀されていることから、お参りをされている薬剤師の久場トヨ先生、長田紀昭先生ならびに先生のご子息が到着したところで一緒にお参りさせていただいた。慰霊の日の1日前であったが、碑の前には、薬剤師会会長と医師会会長名で両側に献花がされており、沖縄戦で倒れた我々の先輩のご

冥福を祈り、皆で静かに頭を垂れた。

この日、梅雨も例年になく早々に明けた沖縄では、朝から大変に暑く、私は68年前のことをいろいろと考えながらお線香を手向けた。日本の敗戦といえ、本土では8月15日正午の玉音放送というのが、私が習った“終戦”である。一方、沖縄の場合は、日本軍の組織的な抵抗が終わったとされる6月23日を、後日、慰霊の日としたのであり、沖縄戦の公式の終了はその年の9月7日まで待たねばならなかったように、終戦の日というものがはっきりしないということが現実にある。さらに、私は記録でしか知ることにはできないが、想像を絶する、地上戦という環境下で生きられた医療職の方々を想うとき、現在、このような歴史を持つ場所で薬剤師として働いている自分は、このことを忘れないでいようと常に意識しており、その意味で今回、参拝の機会を得られたことに深く感謝するものである。

日本で唯一地上戦を体験した沖縄では、この碑以外にも、県内にいくつもの“慰霊の塔”がある。その多くは、沖縄戦の最期の地である糸満に建つ。ひめゆりの塔をはじめとする沖縄県の男女学徒隊の碑の他に全国の都道府県の碑もあれば、県内市町村の碑もある。有名な碑だけでなく、無名の守備軍の将兵、無名戦士を祀った碑もある。

先の大戦からまもなく70年が経とうとして、戦争の教訓も目立って薄れてきていると言われて久しいが、沖縄には戦後何年経ってもそのことを忘れない、忘れてはならないと感じさせる何かがあると、戦争を経験していない自分も日々意識させられている。本土から沖縄にこられている（特に若い）先生方には、慰霊の日を機会に戦争（沖縄戦）について一度考えて見られることを是非おすすめしたい。

会議レポート

平成25年度医薬分業対策担当者全国会議報告

日時：平成25年7月7日(日) 10:30～16:40

会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター（東京都）



医薬分業対策委員会 川上 善久

『薬剤師、医薬分業のあるべき姿に向けてのロードマップ』～主体性と責任を持って

薬剤師業務の“見える化”へ～

表題タイトルにて医薬分業対策担当者全国会議が行われましたので報告致します。

開会の挨拶で日本薬剤師会小田副会長より、最近の医薬分業に対するマスコミ批判の中、もう一度、医薬分業の原点に戻り、医薬分業のあるべき姿の実現に向けてのディスカッションを深め、ロードマップを考えてほしいとの説明がありました。

基調講演では、日本労働組合総連合会「患者本位の医療を確立する連絡会」委員、中央社会保険医療協議会委員の花井十伍氏より、『患者から見た薬剤師に対する意見』と題して講話がありました。花井氏は血友病患者で、昔は売血による血液製剤で治療を受けたとのこと。その後、HIVに感染し、今日まで薬害被害者として活動される中、薬剤師のお世話になった印象がなかったとのこと。活動を通して、薬剤師には薬害を一番良く知る専門家であってほしいと考えるようになったとのこと。昔は血漿分画製剤を血液製剤と知らない医師もいた経緯の中で、薬剤師にはチーム医療の担い手であるとともに、医薬品安全対策の要であってほしい。患者に向き合い、患者を知った上でこそ、専門知識が生かされるのではないかと、との問いかけがありました。1996年3月に、HIV薬害訴訟が和解。HIV治療薬の緊急導入により、HIV死亡者が半減した。初期のHIV治療薬は服用しにくく、副作用も大変だった。現在、HIV感染者の平均余命は一般人と変わらなくなっ

てきた。患者の服薬率が95%を切ると治療成功率が半減し、服用続けないといけない薬である。何十年も安心安全に服用を続けるには、薬剤師のサポートが不可欠であり、薬剤師が薬のセカンドオピニオンになってほしい。医薬品副作用被害救済制度については、実際10%前後しか利用されていない。現在、制度を知らない、また知っていても医療者の理解が得られず申請出来ていない中、薬剤師のサポートが必要である。

一般用医薬品のインターネット販売については、薬剤師の顔が患者に見えていない。薬剤師の仕事が理解されていない。薬物療法の高度化、人口高齢化の中、国民が安心、安全に薬を服用するためには、薬剤師の役割は重要であると話された。

続いて、日本薬剤師会の永田泰造常務理事より、医薬分業のあるべき姿の実現に向けてという内容でお話があり、薬剤師に対する苦言として、医師からは大手薬局チェーンの高額年収、病院前の建設用地の高額買い取りについての紹介があり、患者団体等の苦言では、チーム医療に参加している病棟薬剤師は評価されているが、薬局薬剤師の役割が見えにくいという説明があり、薬局薬剤師として考えさせられる内容でした。

健康日本21では、全国53,000の薬局が身近で気軽に専門的な支援・相談が受けられる拠点として位置付けられている。また、日本再興戦略において、薬局を地域に密着した健康情報拠点として活用を推進していくと説明がありました。保険薬局においては、処方箋による調剤に的確に対応する中で、医療

提供施設として社会に認知されるかの真価がこれまで以上に問われるという説明がありました。

その後、各班に分かれ、『医薬分業のあるべき姿に向けてのロードマップについて』の意見交換が行われました。その中で、サロン化薬局（相談出来る薬局）、お薬手帳の充実（一言言葉を添える・副作用のシールを貼る・疑義紹介も記入する）等の意見が出され、また患者への疑義紹介の説明、残薬の確認等より薬剤師の業務が患者に見える対応を心がけていくという意見もあがりました。今後、薬と健康週間を目処に全国でアクションを起こして行く予定とのことです。

また、対応が出来ていない薬局については、県薬剤師会、地区薬剤師会にて適切な対応を行っていく事が確認されました。

最後に、児玉日薬会長より総括があり、医薬分業はいらなとの論調があるが、歴史が

必要だと証明している。一部の大手調剤薬局の社長の報酬が批判されているが、医薬分業と報酬は別の問題である。今後の薬局のあり方として、インターネット問題も含め、患者さんに対して対面販売の強化をしていかなければならない。そのために、今年の秋を目処に、処方箋がなくても国民が気軽に利用できる調剤薬局への転換と地域の人のための薬局作りを目指して取り組んでいくと説明がありました。

今回の会議に参加させて頂き、改めて薬剤師として国民に何が出来るのか、また、保険薬局の今後の在り方について色々考える機会を得ることができました。これからも地域の人のための薬局とは？を常に問いかけていきたいと考えます。

このような機会を頂いた、県薬剤師会、医薬分業対策委員会に感謝致します。

お知らせ

第2回日本くすりと糖尿病学会学術集会 「糖尿病薬物療法のさらなる進歩へ －ALL(オール)薬剤師からの発信」

日 時：平成25年11月23日(土・祝)・24日(日)

場 所：星薬科大学（東京都品川区）

演題登録期間：2013年5月20日(月)～ 7月25日(木)

参加登録期間：2013年5月20日(月)～10月15日(火) 正午

詳細及び登録 <http://conet-cap.jp/jpds2013/>

特別講演・シンポジウム・教育講演6題・口頭発表・ポスター発表・ミニレクチャー
3☆（スリースター）ファーマシスト研修「体験版」・参加型セミナー(事前申込制)
研修単位：日本薬剤師研修センター・CDE J（1群・2群）申請中

問合せ先：運営事務局 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 1-8-29 8F (株)コネット内
TEL：06-6398-5745 Fax：06-6398-5746 Email：jpds2013@conet-cap.jp

地区だより

第11回 北部地区薬剤師会定時総会報告

〔式次第〕

1. 出席人数確認・宣言	報告 第1号	平成24年度会務並びに事業経過報告
2. 開会の辞	第2号	平成24年度会計監査報告
3. 会長あいさつ	第3号	理事会における決議事項の報告
4. 議長選出	議案 第1号	平成24年度決算承認の件
5. 議題	第2号	平成25年度事業計画案の件
6. 閉会の辞	第3号	平成25年度予算案の件
	第4号	役員選任の件
	第5号	顧問承認の件
	第6号	役員退職慰労金規定の件
	第7号	平成25年度借入金最高限度額の件

平成25年6月16日（日）午後1時より、ホテルゆがふいんおきなわに於いて、第11回北部地区薬剤師会定時総会が行われた。

総会では、平成24年度の事業経過報告・決算報告がなされ、更なる地域医療への貢献と会員への支援の実現を目指し、平成25年度事業計画等の報告議案が審議された。

冒頭に、大橋会長より、「当会は法人化から10年、一般社団法人となり4年が過ぎようとしています。この期間は組織体制を整え、地域の信頼に応える薬剤師会の建設のための時代であり、常に高みをめざし一步一步前進してまいりました。医薬品備蓄センター、会営薬局、会館建設、サポート薬局制度、そして24年度、全国で選ばれた17の薬剤師会の一つとして共同利用のための無菌調剤室の建設をもって、新生北部地区薬剤師会の第1章が完結したと考えます。平成25年度は、第2章の幕開けとなり、これまで以上に事業の質を上げ会員支援を強力に行っていかなければならない。会員の皆様方のこれまで以上のご支援、ご協力をお願い致します。」と挨拶された。

平成24年度事業経過報告では、今後の公益法人化に向けて、非営利型一般社団法人と

して運営に留意し各事業を行った。在宅医療基幹薬局の整備と薬局在宅業務支援センター事業は、引き続き本年度も沖縄県の地域医療再生基金事業の指定を受け、薬局・薬剤師の在宅医療への参加支援事業を行った。その中で、無菌製剤供給の問題解決のため国の補助事業として在宅医療提供拠点薬局整備事業に応募し、これまでの会事業の実績と事業案が評価され、国の指定事業に採用され県内初の共同利用を行える無菌調剤室を会営薬局に設置した。平成21年度より取り組んできた一連の在宅業務推進事業は、これでハード面の一応の完成を見たこととなる。「在宅基幹薬局とサポート薬局制度」をはじめ、北部地区における会事業は、名実ともに全国に誇るものとして着実に進展した。」と報告された。

平成25年度事業計画では、平成21年度より取り組んできた在宅業務推進事業が新たな国の在宅医療の枠組みとして『在宅基幹薬局とサポート薬局制度』として認められ制度化されたことを受け、そのモデル地区となった責務を果たし、この制度が真に薬局の在宅業務の参加促進の有効な手立てとなるような在宅関連事業を継続することが承認された。これらの事業を通し薬剤師の倫理的及び学術

的水準の向上のため研修会等を行っていくこととした。また、議案第4号役員選任の件については、成川新会長と新執行部が承認された。

総会終了後には、大橋先生より「サポート薬局制度を活用した在宅医療への参加」についての報告が行われた。続いて、無菌調剤室の共同利用について先進的取り組みをされて

いる青森県薬剤師会より同事業の担当理事の先生方をお招きして在宅医療公開講座を開催し、多くの会員・薬局事務職員が参加された。

講演会終了後の懇親会では、会員の先生方や事務職員の方々との懇談がなされ、和やかな雰囲気ですべてを終了した。

(報告・写真提供：北部地区薬剤師会事務局)



お知らせ

地区・支部・部会からの原稿をお寄せ下さい！

年々、地区（支部）、部会の活動が活発化しております。

是非“おきなわ薬剤師会報”へ活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します！

お知らせ

＜県薬が会員に販売している印刷物等＞

○国保総括票	25枚	1冊	100円	○お薬手帳カバー	1枚	22円
○市町村別請求書（その1）	50枚	1冊	160円	○薬歴カード	各1枚	5円
○市町村別請求書（その2）	1枚		10円			
○調剤報酬明細書	50枚	1冊	160円			
○管理薬剤師業務日報	1年分	1冊	600円			
○処方せん	100枚	1冊	160円			

（国保（本人・家族）青色）
（社保（本人）白色）
（社保（家族）桃色）

【改訂版薄手お薬手帳】表紙色（薄青色）14ページ 価格 税抜き12円

【現行リニューアル版】表紙色（薄黄色）34ページ 価格 税抜き22円

地区だより

一般社団法人那覇地区薬剤師会総会

日時：平成25年 5月19日(日) 14:00～16:40

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

式次第

司会：平良 仔己子

1. 出席人員確認・宣言
2. 開会の辞
3. 会長挨拶
4. 議長選出
5. 議事録署名人の選出
6. 議題

<那覇地区薬剤師会>

報告第1号 平成24年度会務・事業経過報告

第2号 平成24年度会計監査報告

議案第1号 平成24年度決算報告について

<一般社団法人那覇地区薬剤師会>

報告第1号 平成25年度事業計画について

第2号 平成25年度収支予算について

7. 閉会の辞



亀谷浩昌 新会長 挨拶

一般社団法人設立後、初めてとなる総会が平成25年5月19日に沖縄県薬剤師会館において開催されました。昨年度の設立総会で役員を選任し、4月1日より新体制となり、今回の総会を迎えることとなりました。今回は、旧那覇地区薬剤師会の最後の事業経過報告及び決算承認を兼ねた総会となりました。

司会の平良 仔己子氏の開会宣言で始まり、会長挨拶では亀谷浩昌新会長より、県下最も多くの会員を抱える那覇地区薬剤師会の会長を拝命し、身の引き締まる思いと話され、副会長4氏や理事、歴代会長のお知恵も拝借し、会員の皆様と力を合わせて那覇地区薬剤師会の発展を図るべく職責を果たしていきたいと意欲を述べました。また、那覇地区薬剤師会の法人化のため、ご支援いただいた方々に対し感謝の意を表しました。

議事は塚本隆之理事を議長として進行され、初めに旧那覇地区薬剤師会の事業経過報告及び監査報告がそれぞれ行われました。引続き平成24年度決算についての説明が行われ、

審議・承認されました。次に、一般社団法人那覇地区薬剤師会の平成25年度事業計画及び予算の報告が行われました。これまで事業計画案及び予算案については、総会の承認事項となっていました。新定款では理事会の承認事項となっており、第1回理事会において承認された旨の報告がありました。

予算の内容については、FAX送信料収入の減少に伴い、全体的に支出を抑えているが、エニファーマシー（処方箋FAX送信システム）を1台入替する予定のため、赤字予算となっている旨の説明がありました。会員より「今後、薬局の運営等その他事業で、収入を得られるような事業計画はあるか」との質問に対し、伊是名副会長より、現段階では薬局運営の計画はなく、事業内容を精査し支出部分を抑えていきたいとの説明がありました。

最後に、具志堅興信前会長へこれまでのご尽力に感謝し花束贈呈が行われました。2期4年間を振り返り、退任のお言葉をいただき、会場からの盛大なる拍手をもって総会を終了しました。

総会終了後は、Dr.久高のマンマ家クリニックの久高学先生による特別講演会が行われました。先生のご講演は興味深く、また、ユーモアあふれる語りは会員を一気に引き込み、今回のテーマである「コミュニケーション」について、相手の立場に立って考えることの大切さを改めて認識させられた貴重な講演会となりました。

講演会終了後には、懇親会が行われました。那覇市特定健診課長西原浩也様より来賓のご挨拶をいただき、沖縄県薬剤師会神村武之会長の乾杯の音頭で開会し、多くの先生方が参加され、終始和やかな雰囲気の中で意見交換や懇談がなされ、全日程を無事終了しました。
(報告・写真提供：那覇地区薬剤師会事務局)

【特別講演会】 演題：「コミュニケーションは人間力」

講師：Dr.久高のマンマ家クリニック 大家 久高 学 先生



地区だより

南部地区薬剤師会総会報告

日時：平成25年 6月16日(日) 14:00～16:30

会場：(株)アトル沖縄営業部 会議室



南部地区薬剤師会
会長 新垣 秀幸

去る6月16日に、株式会社アトル沖縄営業部の会議室において、南部地区薬剤師会の平成25年度総会が開催されました。

委任状、出席者で会員数の半数を満たし総会は成立しました。総会において、平成24年度の事業報告並びに決算、平成25年度の事業計画並びに予算等々、全ての議案が承認されました。

総会終了後、(株)ニプロファーマさんによる「在宅等で使用される経管について」の研修会が催されました。例年通り、今年も会員の出席者が少なく、寂しい総会となりました。研修会には、県薬会長、那覇地区会長の出席

もあり、総会に華を添えていただきました。御礼申し上げます。

また、株式会社アトル沖縄営業部さんにおいては、日曜日にもかかわらず、会場の貸し出し、終了後の会社案内をしていただきありがとうございました。

県薬の総会も代議員制に代わりました。会員が直接意見の言える地区総会の出席者が少ないのは、県薬へ会員の意見を反映出来なくなり、会の運営にも支障が生じます。年1回だけの総会ですが、会員皆さんの協力が必要です。共にご協力の程よろしくお願いします。

地区だより

平成24年度 中部地区薬剤師会総会報告

日時：平成25年 6 月 9 日(日) 15:00～17:30

会場：沖縄市福祉文化プラザ

<式次第>		司会	福地 健治
1. 開	会		
2. 会長挨拶	前原 信照		
3. 来賓挨拶	神村 武之		
4. 議長選出			
5. 議	題		
第一号	平成24年度活動経過報告	仲座 方利	
第二号	平成24年度会計報告		
	一般会計・特別会計	蒔 初子	
第三号	会計監査報告	新城 光枝	
第四号	平成25年度事業計画(案)	普久原 隆	
第五号	平成25年度予算(案)		
	一般会計・特別会計	蒔 初子	
6. 閉	会	福地 健治	

平成25年度 中部地区薬剤師会新役員

会 長	前原 信照		
副会長	仲座 方利	普久原 隆	
理 事	学術担当	普久原 隆(兼任)	
	学校薬剤師担当	伊佐 常隆	
	開局担当	新川 信一	
	薬・薬連携担当	福地 健治	
	保険・福祉担当	久場加代子	
書記・会計	蒔 初子		
監 査	新城 光枝	石垣 満子	
県薬剤師会理事(中部地区選出)	江夏 京子		

平成25年6月9日(日)午後3時より、沖縄市福祉プラザ2Fホールにて、平成24年度中部地区薬剤師会総会が開催されましたので報告します。

会を始める前に株式会社アトルによる「分割販売」についての説明会を行いました。数多くの方に利用していただきたいと思います。

前原信照中部地区薬剤師会会長の挨拶の後、来賓の挨拶に神村武之沖縄県薬剤師会会長となっておりましたが、出張のため出席できず、田場英治沖縄県薬剤師会専務理事が代読されました。

議題に入ると、平成24年度の活動経過報告・会計報告・会計監査報告が行われ、参加者に承認されました。

次に、役員改正を行い、平成25年度の新役員が選出されました。

新役員により、平成25年度の事業計画と予算案が提案され、承認されました。特別会計については厳しい状況にあり、来年度にはFAX料金値上げの可能性もあるとの報告でした。



中部地区薬剤師会
副会長 普久原 隆

総会終了後は笠原大吾先生による「在宅医療における問題点について考える」という演題で研修会を行いました。浦添市の取り組みを参考に、在宅医療に関する薬剤師を取り巻く状況についての話を伺った後、3つのグループに分かれて、「在宅医療がなぜうまく進まないのか」という演題でスモールグループディスカッションを行いました。

会場は5時まででしたが、5時半過ぎまで延長して、大変有意義な研修会でした。講師を務めていただいた笠原先生ありがとうございました。

その後、近くの居酒屋で懇親会が開かれ、20数名の方々に参加していただき、和やかな雰囲気の中、意見交換や懇談が進み、無事に終了致しました。

地区だより

在宅医療ネットワーク作りについての
アンケート結果報告那覇地区薬剤師会
会長 亀谷 浩昌

那覇地区薬剤師会では、去る、6月20日付の一斉FAXにて「在宅医療ネットワーク作りについてのアンケート」を実施いたしました。下記のとおり、アンケートの集計結果をお知らせいたします。

この調査結果を踏まえ、今後の在宅医療の取り組みに活かしていきたいと思います。

回答数 45 / 185

- ① 在宅患者訪問を 行っている 15
行っていない 30
- ② 在宅患者訪問薬剤管理指導の届け出を 提出している 24
提出していない 17
無回答 4
- ③ ②で「提出している」と回答した方へおたずねします。
在宅患者訪問薬剤管理指導料を 算定している 11
算定していない 9
無回答 4
- ④ ③で「算定していない（サービス配達）」と回答した方へおたずねします。
算定していない理由について（複数回答）
・請求手続きが面倒 1 ・その他 5
・請求経験がない 2 （居宅療養管理指導と算定している）
・無回答 2 （Dr.からの求めでないため）
（要件満たしてない（同意））
（算定するだけのサービスができない）
- ⑤ ①で「行っていない」と回答した方へおたずねします。
今後、在宅患者訪問をおこないたいと 思う 20
思わない 8
無回答 2
- ⑥ ご意見があればご記入ください。
・要望があればいつでも行いたいのが、経験がない為、積極的なアプローチができずにいる。
改めて薬剤師会でいちから指導していただくと大いに助かります。
・在宅患者訪問は必要だと思うが、絶対的な人手不足で出来ないのが現状。
・日常の業務で手一杯。在宅医療の必要性を感じながらも現状では難しい状態。
・今後在宅訪問を行おうと思うが、請求等の勉強会を実施してほしい。
患者との契約、薬歴等（請求方法）

月例相談会

第108回健康とおくすり相談会報告

日時：平成25年6月23日(日) 13:00～16:00

場所：イオン那覇店

担当：那覇地区薬剤師会



東医堂薬局 眞榮城 紀美子

慰霊の日の6月23日、イオン那覇店にて健康とおくすり相談会が開催されました。

薬学部5年生の実務実習生5名、薬剤師7名を含むスタッフで対応。体脂肪計や血圧計が設置され、出てきたデータの評価をしたり、健康相談や薬に関する相談に応じました。

新しい機械の操作や設置に手間取り、開催が予定より遅れましたが、横断幕も張って、親しみやすい雰囲気を心がけながら相談者を待ちました。

この頃は、町のお医者さんや薬局が懇切に説明するようになったり、インターネットですぐ情報を得られたりするせいか、お困りの方はそう多くはおられないようでした。それ

でも、体脂肪や血圧を気にして、立ち寄ってくださいました。その中であって、腎機能に問題があり検査を勧めたケース、HDLが低く甲状腺オペ後チラーゼンを飲んでいるが昆布を食してもよいか、手の湿疹が治らないが内服薬はあるか等、相談して良かったと喜んでもらいました。

実務実習生の皆さんが参考になる程の件数ではないので、店内アナウンスの案内やもう少し間口を広げるなどのアピールがもっと望まれると感じました。また、前もって情報を知りたい、もっと時間や回数を増やして欲しいとの要望も聞かれました。



健康とおくすり相談員

○我喜屋 美 香

○黒 島 裕 菜

○島 袋 陽 子

○渡具知 一 枝

○外 間 安 次

○眞榮城 紀美子

(五十音順・敬称略)

薬事情報おきなわ No.223

2013年7・8月号 : Vol.28 No.4

薬事情報センター TEL : 098-963-8931

おくすり相談室 TEL : 098-963-8935



Medical News

●向精神薬依存：8割、投薬治療中に発症 「医師の処方、不適切」（毎日新聞 6月19日）

2011年12月、国立精神・神経医療研究センター等首都圏の薬物依存症専門医療機関4カ所が、ベンゾジアゼピン系向精神薬等を乱用するなどしていた男女20～60代の87人を調査。患者の8割以上が、アルコール依存など別の疾患の治療中に発症していた。診察せずに処方されたのは4割。BZ系は用量内でも乱用・依存に陥る可能性が指摘され、欧米では処方避ける傾向にある。調査した専門家は、医師の不適切な処方が発症につながったと指摘している。

●鎮痛剤過剰投与で死者急増 米女性、米疾病対策センター報告（共同通信 7月5日）

米疾病対策センターによると、医者が処方した鎮痛剤の過剰投与による死亡が米女性の間で急増しており、2010年の死者数は計約1万5300人と、1999年の5倍になっていることが明らかになった。特に、45～54歳と55～64歳の女性の死者は約7400人と、全体のほぼ半数近くを占めており、中年女性の鎮痛剤過剰投与の死亡が著しく増加しているという。一方、男性の死者数は約2万3000人で、依然女性を上回っている。ただ、女性の場合、慢性の痛み悩まされる傾向にあり、男性よりも長期にわたり鎮痛剤を服用することになるという。

●誘発剤で多胎妊娠、年1000件。4割が飲み薬（読売新聞 7月8日）

排卵誘発剤を用いた一般的な不妊治療での双子や三つ子の多胎妊娠が、2011年1年間に少なくとも約1000件あり、うち約4割が、飲み薬の排卵誘発剤によるものだったことが、日本産科婦人科学会による初の実態調査でわかった。飲み薬は、注射薬よりも多胎妊娠の可能性が低い、簡単で多くの患者に使われていることが件数の多い理由とみられる。調査は、昨年1月、全国産婦人科（5783施設）にアンケートし、3571施設が回答した。

●ジェネリック医薬品の差額通知4年間で医療費163億円削減（薬事日報 7月12日）

全国健康保険協会は、2012年度の決算見込みで、ジェネリック医薬品の使用促進により、2009～12年度までの4年間で医療費削減額が推計で約163億円に上ったことを明らかにした。協会けんぽでは、糖尿病や高血圧などの慢性疾患患者で先発品を服用し続けている被保険者を対象に、GE薬に切り替えた場合の自己負担額の差額を知らせる「差額通知」を送付する取り組みを行っている。

●後発品の約4割に「有用な製剤的工夫」（薬局新聞 7月12日）

東京都薬剤師会が都の委託事業としてまとめた「後発医薬品の『質の向上』推進事業報告書」について、都薬は調査結果を今後の製剤技術開発に繋げて欲しいと展望している。調査は後発医薬品の質の向上

を図るために実施、平成23、24年の2年間にわたり866品目の情報が収集された。そのうち「剤形の鑑別が容易」、「表示の見易さ」などの有用と判断できる件数は334件、「シートデザインが他社と類似」、「鑑別がし難い」など要改良は532件となっている。有用な事例では特にドライシロップやシロップ剤に対する意見が多く、「後発品の方が味が良い」といった意見が見られた。

●12年度の私立薬大・実務実習費用-病院と薬局、ブロックで格差（薬事日報 7月17日）

2012年度の実務実習実態調査結果（私立薬科大学）で、病院実習費用は「35～40万円未満」、薬局実習では「27万5000円超～30万円未満」が多かった。また、北海道・東北～九州・山口までの6ブロック別でも実習費に開きがあることが分かった。12年度の実務実習実施施設数・受入学生数は、病院5470施設に対し9666人、薬局8838施設に対し9670人を受け入れた。これを調整機構経由と大学独自の契約とで分けると、病院実習は機構が3899施設に対し5810人と、施設数では71%、学生数では60%が機構となっていた。薬局実習については、機構が8529施設に対し9292人と、施設数は97%、学生数でも96%が機構での実習だった。

●厚労相「大衆薬のネット販売で検討会設置」（薬事日報 7月29日）

厚生労働省は、一般薬の販売制度の定着状況を把握するために、今年1月～2月全国の薬局・薬店6538店舗を対象に行った覆面調査の結果を公表した。第1類販売時に「文書による説明」を行っていた店舗は、60.7%にとどまり、ネット販売に関する調査では、第2類を取り扱っていたWebサイト141件のうち、84.4%で購入できた。「相談時および緊急時の連絡先」に電子メールアドレス宛に問い合わせたところ、返信は58.7%（65.7%）にとどまった。

●【PMDA】院外処方箋に病名・検査値、全国34病院が記載（薬事日報 8月1日）

院外処方箋に病名や検査値を記載している病院は全国に34施設以上存在することが、医薬品医療機器総合機構（PMDA）の調査で明らかになった。このほど金沢市で開かれた医療薬学フォーラムで調査結果の要点が発表された。病院における医薬品の安全性情報の管理状況を把握することを目的に今年1～2月、全国の8536病院を対象に調査を実施。4556施設から回答があった（回収率53.4%）。

●副作用報告数が増加傾向-報告制度浸透が要因～厚生労働省（薬事日報 8月6日）

2008年度から12年度までの過去5年間の医薬品・医療機器の副作用報告数の推移によると、いずれの報告件数も増加傾向にあることが分かった。12年度は前年度より4000件以上増加し、4万1254件となった。厚生労働省医薬食品局安全対策課は、医薬品・医療機器の副作用報告制度が浸透してきているためではと分析している。

薬事情報センターに寄せられた質問から

はい、薬事情報センターです。



薬事情報センターでは、会員の方を対象に、医薬品に関するお問い合わせや、文献入手サービスなどに応じております。どうぞお気軽に御利用ください。

Q：デパケン錠・細粒・シロップからデパケンR錠にはどのように切り替えたらよいか？（薬局）

A：剤型を切り替える際は、血中濃度モニタリングをしながら慎重に投与方法を決める。血中濃度をシミュレーションした資料では

1. 1日投与量を変えずに、投与回数を1回減らしてデパケンR錠を服用することで変更前の血中濃度推移（Cmax、Cmin値）に近い状態になる。

例えば、デパケン錠1200mg分3（1回量400mg）の場合はデパケンR錠1200mg分2（1回量600mg）に切り替える。

2. 用法・用量を変更せずに切り替えた場合は、変更前に比較して変更後のCmaxは低下し、Cminは上昇することが知られている（血中濃度の安定化）。

参考：協和発酵キリンホームページ

Q：腎機能低下の患者が歯科で抜歯をする。クリノリル以外は使用しないようにという事だが、歯科に適応がない。歯科に適応のある薬剤で利用できる鎮痛薬はないか。（歯科）

A：歯科で使用可能な薬剤としてはアセトアミノフェンがあげられる。通常NSAIDs等の消炎鎮痛薬は、腎臓の血管拡張物質の産生を抑制するため、腎血流が悪化、腎機能が低下しやすい。例えば、国内のがん緩和医療では、腎機能の低下した症例には、NSAIDsではなくアセトアミノフェンの使用が推奨されており、欧米でも汎用されている。アセトアミノフェンについては、主に脳に作用して解熱鎮痛作用を示すが、末梢での作用が弱い為に腎機能が悪化しにくいと言われ、慢性腎臓病患者の鎮痛療法にも優先して用いられている。

参考：日本腎臓学会ホームページ等

Q：イオンサリチル酸チアントール軟膏に薬価はあるのに、保険請求できないのか。（薬局）

A：イオンサリチル酸チアントール軟膏は、一般用医薬品として認可されているため、保険請求はできない。（薬価収載されているが、医療用医薬品としては認可されていない。）

Q：抗悪性腫瘍剤ジェムザール（一般名：ゲムシタピン塩酸塩）使用中に、流涙が起きて困っている。対処法は？（薬局）

A：抗がん剤を投与されている患者で眼症状を訴える患者は多い。ジェムザールの添付文書に記載はないが、IFには眼障害の項目に記載されている。通常、流涙や角膜障害等の副作用は薬剤投与直後に認めるが、症状は可逆性で中止すれば障害は1～2週で治まる。処置としては、まず通水試験を行い、涙道の狭窄や閉塞の程度を調べる。軽症の場合は、抗癌剤を洗い流す目的で、人工涙液による涙道通水処置をする。症状が進行していれば、涙道内視鏡を使う。症状が強い場合には抗癌剤の減量や休薬を考える。

Q：ルトラール6錠／日を3週間分米国に持って行きたい。大丈夫か。（薬局）

A：本剤を必要量持つて行く事については問題ありません。

＊フルニトラゼパム（商品名：ロヒプノール他）は、日本では古くから不眠症治療薬として使用されている薬だが、米国では麻薬として違法薬物に指定されているため持ち出せない。その他、常習性のある薬物や麻薬（例：咳止め薬、精神安定剤、鎮静剤、睡眠薬、抗鬱剤、興奮剤）を持ち込む場合には、英文の診断書、処方箋等が必要となる。

参考：米国大使館HP

Q：定期処方で一包化をお願いした患者に、低血糖が出たため、糖尿病薬を抜くように医師から指示があった。例えば2ヶ月分等調剤された薬が残っているとすれば、調剤薬局で一包化の袋からそれだけを抜いてもらう事ができるのか。（病院）

A：薬局は患者の求めには応じなければならない。しかしながら、このような作業は時間のかかる事が想定される。医療機関から調剤を行った薬局へ、FAXや電話等であらかじめ連絡する事で、トラブルなく再調剤してもらえるでしょう。

Q：光脱毛をする患者が、飲んではいけない薬があるのか。（薬局）

A：光脱毛施術の禁忌事項の中で、光感受性を高める薬を使用中の患者は脱毛できないとされている。サロンに確認した所、具体的な薬の名前については不明で、薬服用中の方は医師に確認することになっているという。光感受性を高める薬とは、薬の添付文書の副作用に「光線過敏症」と記載がある薬が該当するものと思われる。例えば抗がん剤、抗うつ剤、抗生物質等が該当する。各々添付文書を確認すべきである。ただし、光脱毛も体質的に合わない人がおり、薬に関係なくトラブルも報告されているため、注意が必要である。

Q：相互作用について、調べるのには何がよいか。（薬局）

A：基本的には、添付文書。併用薬剤が多い場合にはSAFE-DIの「相互作用マトリックス」も利用できる。調剤薬局では、レセコンでチェックしているようだが、最終的には添付文書で確認するように伝えている。

Q：生理食塩液は薬局で購入できなのか。（病院）

A：平成17年の薬事法改正があり、要処方せん薬に指定された。

Q：塩と砂糖で作る経口補水液の割合。（薬局）

A：砂糖20g、塩1.5g、水500mLで調製するのが一般的。



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口

「おくすり相談室」の受付事例から

消費者専用電話：098-963-8935

●医薬品一般●

【質問】息子がアクセプタという後発品をインターネットで個人輸入している。日本では病院でしか処方されない薬のようだが、大丈夫か。（女性）

【回答】この薬はADHD（注意欠如・多動性障害）の治療薬として使われていますが、日本で認可されている薬はストラテラ（一般名：アトモキセチン）のみです。新薬なので、日本では後発医薬品はありません。仮に、個人輸入した外国薬の副作用等で何かあった場合には、補償はありません。お母様も容認しているようですが、きちんと医師の診断を受けるべきです。お子さんを説得して、病院に行くよう勧めて下さい。

【質問】娘が外国に行くので、薬の説明書の英文が欲しい。数カ所の薬局で依頼したが、できないと言われた。英文の説明書をもらえる薬局を紹介してほしい。（女性）

【回答】RAD-ARくすりの適正使用協議会のホームページ（<http://www.rad-ar.or.jp/>）より、各薬の日本語と英文の情報が入手できます。スマートフォンからのアクセスも可能です。もよりの薬局に相談してみてください。当方でも入手可能です。（「お役立ちホームページ紹介」参照）

【質問】苛性ソーダを入手したい。薬剤師がいればどの薬局でも売っているのか。（男性）

【回答】苛性ソーダは劇物に指定されていますが、現在劇物、毒物を入手するのは難しくなっています。苛性ソーダは皮膚につくとやけど様症状となることがあり、また水に対し発熱する等大変危険です。薬剤師がいれば入手可能ですが、薬局によっては、扱っていない所もあります。また、購入には印鑑と身分証明書が必要です。あらかじめ問い合わせておくとういでしょう。

【質問】医者の方せんがないと薬は買えないのか。前にももらった説明書はあるが、それではだめなのか。（男性）

【回答】患者さんの症状は、同じように感じられてもその時の体調等によって変化する場合がありますので、その症状にあった薬を服用しなければなりません。そのため、病院で医師の診察を受けた後、新たに処方せんを出してもらう事になっています。

●苦情・相談●

【相談】ジェネリック品を希望していたのに、先発品をもらい、薬の説明書には「この薬には後発品が存在しますが、当薬局には在庫がありません」と書いてあった。いつ在庫を置くのか聞いた所、「沢山の薬を扱っているのとらない」との返答。TVでも国はジェネリック品を推奨していると言っているが、どうなっているのか。自分もイライラしていたが、ジェネリック品に交換してもらえれば、言う事はない。（男性）

*薬局は出来るだけ患者の要望に応じなければならない。今回は在庫がそろえられないが、次回ま

では在庫をとっておく、等の事をしなければなりません。これが難しいのであれば、別の薬局を紹介してあげる等の配慮が必要かと思われます。

【苦情】抗生剤の副作用（顔や全身にかゆみ、赤み、下痢）が出たため、皮膚科から処方箋をもらって薬局に行った。必要な希望の量の軟膏を処方してもらったが、薬局で「薬がない」と言って、分量が減らされていた。（在庫がないのが判ってこそ病院に電話していたが、一言患者に言ってから連絡すべきではないか。薬局は冷たいし、対応が悪い。また、1ヶ月に1回内科にも通っているのに、いつも「薬がない」という。1ヶ月後に行くのが判っているのになぜ薬を置いていないのか。引換券もなく不安。薬局からは、時間帯も気にせず電話がかかってくるし、何度も行き難儀している。もっと誠意のある言葉や態度を取ってもらえないのか。

*どんなに後から対応しても最初に患者を怒らせてしまつては、その時点でこじれてしまいます。初期対応が重要です。「すみません。責任をもって私（名前を名乗る）が届けます。」という声かけが必要。

【苦情】薬局は、患者の病気の事を聞かなければならないのか？それを答えるのは義務ですか？具合も悪く、子供を車に残しているので早く帰ったかったが、強い口調で、周りに沢山人がいるのに「言いなさい」と言われた上に、薬を投げられた。「今投げましたよね」「投げていません」といったやり取りもあった。病院が良くても薬局が悪かったら、気分も悪くなる。

●その他●

○薬物反応について薬は一日で抜けますよね？麻薬とかヒ素とかは髪の毛から出てくるといいますが、薬も髪の毛には残っているのですか？

○ACE阻害薬は沖縄ではジェネリック品は販売中止になったと聞いた。レノペント（エナラプリルマレイン酸塩）が欲しいが、同じ薬価で入手可能なジェネリック品はないか

○次の生理が来る時期に頭痛がしたのでイブAを1回飲んだ。後で、子供が出来ている事が判った。

○シミが気になり、皮膚科でハイドロキノンという軟膏をもらった。1回使ったら、赤くなりやめた。シミが濃くなった気がしたので、相談したが、ビタミンCを塗るか飲むかして治療には半年～1年かかるという。院内でハイドロキノンを出す自体信用ならない。

○離島の薬局でもらった薬（ヒルドイドローションとジフェンヒドラミン）が効かない。前に本島の総合病院から出たピーソフテンローションとアンテベートクリームはよく効いた。処方元の医師に言っても一向に変えてくれない。一方的で話にならない。

医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

認知症の緩和医療・終末期医療

治療 7月号

我が国の認知症終末期医療の現状は、本人が希望する医療と実際に行われている医療「人工的水分・栄養補給法（AHN）」の間には大きな乖離がある。

原因として1. 本人の意思が不明2. 延命至上主義3. 国民の死生感が曖昧4. AHNを行わない利点が広く理解されていない5. 法的責任追及の怖れ6. 社会制度の問題（診療報酬、年金）等があげられる。

終末期医療に患者の意思を反映させるには、事前に自分が希望する医療を文書で残すことが挙げられるが、実施している人は5%と少ない。多くの国民はAHNでいたずらに延命するよりも、尊厳ある終末期を迎えたいと思っているため、「認知症末期には食事がとれなくなる事は自然であり、経管や輸液で延命を図ることは倫理的ではない」との社会通念が形成されることが必要である。

桜台江仁会病院認知症総合支援センター
宮本 礼子

夏のインフルエンザ流行の原因と特徴

日本医事新報 4652号

亜熱帯地域に位置する沖縄県は、ほぼ毎年のように夏インフルエンザが流行するなど、本州とは異なる流行状況を示している。ただし、その要因は年毎に異なっている。2009年～2012年の疫学データを基に流行と気温／湿度との関連を解析した結果、2009年の新型以外の季節型シーズンにおいては、気温および湿度と逆相関し、気温や湿度が低下すれば陽性率が有意に上昇した。沖縄県において、夏のインフルエンザ流行を認める原因として、迅速診断キットが普及したことに加え、県や医療機関におけるデータ収集のインフラが確立していることが挙げられる。他県から夏のインフルエンザ発症の報告はあり、日本全体に夏のインフルエンザ患者が存在する可能性がある。年2回流行があることを念頭に置き小児を対象に秋と春にワクチンを接種することで夏の流行を抑えられる可能性が示唆される。

琉球大学感染症・呼吸器・消化器内科学
藤田次郎

脂質異常症の時間治療

日本医事新報 4647号

脂質異常症治療薬の投与時間が治療効果に影響を与える可能性は古くより指摘されており、現在少なくとも一部のスタチン系薬剤は夕に投与する事が一般的になっている。

シンバスタチン単独投与において、TC、LDL-C低下作用は朝よりも夕投与群の方が大きい。アトルバスタチン単独投与に関しては、投与時刻間で差が認めれておらず、夕投与は朝投与よりも低い血中薬物濃度で同等の脂質低下作用が得られることが判明した。スタチンの有害反応である筋障害への影響も検証すべきである。

エゼチミブとシンバスタチンの合剤を6週間投与した研究では、投与時間では脂質低下作用に有意差は認められなかった。この要因としては、エゼチミブは朝投与の方が効果大、あるいはエゼチミブ投与時にはコレステロール合成の日内リズムが変化し、シンバスタチンの投与時刻への影響を消失させる可能性が考えられる。

以上より、スタチンの投与時刻は夕を第一選択としつつ、現時点では患者のコンプライアンスを考慮して決定するのがよいと思われる。

自治医科大学臨床薬理学部門
安藤 仁 藤村 昭夫

小規模病院：退院後につなげる持参薬確認と退院後指導書の作成

月刊薬事 6月号

洛和会丸太町病院では、他院の持参薬確認が不十分であったことによる医療事故の発生を受け、持参薬確認の対象を一部から全入院患者へ拡大した。また、電子カルテにより持参薬情報は、医師や看護師など他の医療スタッフとの間で共有している。入院後の多い心臓外科等では薬剤師が代行入力を依頼される事が多く、これにより医師は煩雑な持参薬管理から解放され、薬剤師は疑義照会の機会が少なくなり、スムーズな調剤業務が行えるようになった。退院指導書の作成については、指導サマリの例文を入れた定型を作成、日々の薬剤記録は退院指導書を意識した内容とし、質を高めるため薬剤部内で勉強会を行った。それにより、退院指導書の作成も短時間作成が可能となり、件数も増加している。

「お薬手帳と退院指導書」は患者を中心とした病薬連携、病診連携などすべての「連携」において、適切な薬物治療の継続に有効であると考える。

洛和会音羽病院 薬剤部
鈴鹿 修平

*ひろいよみコーナーでは、今号より平成25年度I期の薬学実習生の皆さん(宇根由紀乃さん、仲村渠典華さん、平敷善彦さん、知花理子さん、比屋根倫子さん、三田井菜菜子さん、松島亜紀さん、上原佳子さん、喜友名尚子さん、當眞彩さん、楠見僚平さん)が実習の際に作成したものを順次掲載していきます。(一部担当者が校正してあります)

Medical Magazines titles

今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

○医薬ジャーナル 49巻 6号

- *特集：病棟薬剤業務実施加算の意義と今後への期待
- ・連載・患者のQOL向上と薬剤師の関わり
PART I. 院内製剤（62）院内製剤0.5%ガンシクロビル点眼液への薬剤師の関わり（p.149）
- ・連載：副作用・薬物相互作用トレンドチェック
注目論文を読み解く（15）（p.162）
 1. SSRI服用により脳内出血リスクが上昇
 2. カフェイン含有飲料の多量摂取によりクロザピンの血清中濃度が上昇
 3. 亜鉛サプリメント併用によりセファレキシンの血漿中濃度が低下
 4. SSRI併用によりオンダンセトロン[®]の制吐作用が減弱
 5. リファンピシン併用によりダビガトラン[®]の血漿中濃度が低下
 6. オメプラゾールまたはエソメプラゾールの併用によりタクロリムスの血液中濃度が上昇

○医薬ジャーナル 49巻 7号

- *特集：実践・感染症の治療と制御
- *小特集：実践！治療抵抗性統合失調症患者に対するクロザピン治療における薬剤師の役割
- ・〈薬学教育6年制とこれからの展望〉（p.59）
薬学実習の室向上と均一化への取組み
- ・連載・リスクマネジメント～院内での薬剤師の活動（84）小児薬用量チェックシステムの構築（p.175）
- ・連載：副作用・薬物相互作用トレンドチェック
注目論文を読み解く（16）（p.180）
 1. カペシタビンによる冠動脈攣縮
 2. モンテルカストの血漿中濃度がクラリスロマイシン併用で上昇、フルコナゾール併用で低下
 3. クロピドグレル併用でロスバスタチンの血漿中濃度が上昇
 4. ファモチジンや制酸薬は時間差投与によりニロチニブの薬物動態に影響を与えない
 5. テルビナフィンによる聴覚障害
 6. レベチラセタム併用によりメトトレキサートの血清中濃度が上昇

○エキスパートナース 29巻 9号

- *特集：この症状！絶対コール！
- *特集2：4大“皮膚障害”への対応
- きょうの健康 7月号
- *特集：コレステロール対策
- *特集2：歯周病～歯イキキ健康術

○月刊薬事 55巻 6号

- *特集：これから始める病棟薬剤業務－先行事例からヒントを探る
- ・適応外使用の処方せんの読み方（37）化学療法による吃逆（しゃっくり）（p.159）
- ・シチュエーションに応じた消毒薬の選び方と使い方（17）器材の消毒（2）「リネン・ベッド」および「処置」関連器材（p.147）
- ・臨床の“困った”に応える病院薬局製剤（18）術前殺菌に用いるヨウ素・ポリビニルアルコール点眼液（p.159）

○月刊薬事 55巻 7号

- *特集：どう使う？生活習慣病の配合剤
- ・適応外使用の処方せんの読み方（38）石灰沈着性腱板炎（p.97）
- ・シチュエーションに応じた消毒薬の選び方と使い方（18）器材の消毒（3）－「入浴」および「排泄物」関連器材（p.155）
- ・臨床の“困った”に応える病院薬局製剤（19）色素沈着症に用いられるハイドロキノンクリーム（p.164）

○新薬と臨床 62巻 6号

- ・〈症例報告〉複雑性PTSDおよび他の精神疾患のFlash Backの軽減に中枢性抗コリン剤トリヘキシフェニジル（アーテン）が奏効した7例の臨床報告（p.1135）

○正しい治療と薬の情報 28巻 1号

- ・三環系抗うつ剤と痙攣・心停止（p.8）

○正しい治療と薬の情報 28巻 2号

- ・HPVワクチンの効果と害（p.17）

○調剤と情報 19巻 6号

- *特集：薬剤師が解消する排尿の悩み

今月の特集・論文

- ・新薬くろーずあっぷ：ロトリガ粒状カプセル (p.39)
- ・処方せんから考える癌患者 服薬指導スタートアップ講座(6)：ポラプレジンを含む支持療法の処方せん (p.98)

○調剤と情報 19巻 7号

＊特集：皮膚トラブルー予防とケア

- ・新薬くろーずあっぷ：シーブリ吸入用カプセル50 μ g (p.86)
- ・薬局ヒヤリ・ハットなくし隊がゆく(34)：孫に服薬させる祖父母に要注意！(p.59)
- ・薬局トラブル こんなときどうする？(16)：薬剤師の疑義照会義務とは？(p.74)

○治療 95巻 6号

＊特集：知っておきたい 結核のコト～エキスパートが伝授するプライマリ・ケア医に必要な知識

○治療 95巻 7号

＊特集：がんだけじゃない！緩和医療～近年話題となっている非がん領域の緩和医療を中心に

○日経ドラッグインフォメーション 188号

＊特集：薬局の将来、薬剤師の未来

- ・DIクイズ：ピーソフテンローションが処方された理由 (p.PE001)
- ・DIクイズ：貼付薬が処方されたパーキンソン病患者 (p.PE003)
- ・適応外処方のエビデンス：ラロキシフェンで閉経後女性の乳癌の発症を予防 (p.PE017)

○日経ドラッグインフォメーション 189号

＊特集：在宅ケースリポート2013

- ・DIクイズ：インスリンがトレシーバに変更された理由 (p.PE003)
- ・DIクイズ：高血圧の妊婦が心配する下痢 (p.PE005)

○日経メディカル 547号

＊特集：ダニ、蚊、トコジラミ、毛虫・・・節足動物による感染症・皮膚炎

- ・医薬情報室：経口抗凝固薬を選ぶときの考え方 (P.107)
- ・論文ピックアップ：早産児のRSウイルス予防 生後1年間の喘鳴日数を減らす (p.101)

○日経メディカル 548号

＊特集：臨床を離れるという選択

- ・論文ピックアップ：20歳未満でのCT検査 癌リスクが有意に上昇 (p.105)

○日本医事新報 4651号

- ・質疑応答Q&A～内科：緑内障患者の狭心症発作時・非発作時の治療法 (P.64)

○日本医事新報 4654号

- ・質疑応答Q&A～産婦人科：妊娠後期のアセトアミノフェン投与の判断 (P.82)

○薬局 64巻 7号

＊第1特集：臨床現場で実践する！薬学研究のススメ

＊第2特集：情報リテラシー エビデンスを「使う」技術

- ・知っておきたい！情報の収集・取捨選択のポイント (2) エビデンスの取捨選択：何を読んで何を読まないか (P.89)

○臨床薬理 44巻 3号

・第19回臨床薬理学講習会(2012年度)主題：臨床薬理学的知識の確認

- 1.薬物動態学 (P.268)
- 2.ゲノム薬理学 (P.273)
- 3.時間薬理学 (P.277)
- 4.小児および妊産婦の薬物治療の注意点 (P.281)
- 5.薬物相互作用－向精神薬を中心に－より (P.286)

○JIM 23巻 6号

＊特集：不明熱診療 最前線－基本アプローチから「横綱級」困難症例まで

○JIM 23巻 7号

＊特集：症例別”見逃してはならない”疾患の除外ポイント

○The Medical Letter (日本語版) 29巻 2号

- ・FDAがソルピデムの減量を要求 (p.5)
- ・ざ瘡治療薬アブソリカ (p.8)

○The Medical Letter (日本語版) 29巻 4号

- ・新しいエピネフリン自己注射器 (p.13)

○The Medical Letter (日本語版) 29巻 1号

- ・プロバイオティクスについての再考 (p.3)



話題のビタミン・サプリメント(41)

β-カロチン(ビタミンA)



Key Word: 脂溶性、カロテノイド、夜盲症、プロビタミンA

「目のビタミン」と言われるほど、目との関係が深いビタミンA。前回に引き続きビタミン！今回は油に溶けやすいビタミンA。そのなかのβ-カロチンを取り上げてみました！

ビタミンには水に溶けやすい水溶性のものと、油に溶けやすい脂溶性のものとがあります。ビタミンAは油に溶ける脂溶性ビタミンの一つで、肉や魚など動物の脂から抽出されるレチノール(ビタミンA)と、緑黄色野菜や果物などの植物から抽出されるβ-カロチンなどのカロテノイド(プロビタミンA)の2つがあります。レチノールは油に溶けやすく、光や空気、熱、酸によって壊れやすい性質がありますが、β-カロチンは熱や酸には比較的強い性質があります。

橙色や黄色の色素をカロテノイドと呼び、その代表がニンジンなどに含まれるβ-カロチンです。ニンジン、かぼちゃ、ホウレンソウなど色の濃い野菜、緑黄色野菜に多く含まれます。体内に摂取されると、ビタミンAが不足した場合に必要な量だけビタミンAに変換されることから、『プロビタミンA』とも呼ばれています。

【働き】

- ・視覚を調節する
 - 視覚の暗順応にも関係しているのです、不足すると夜の暗がりではものが見えにくくなる『夜盲症』や、急に暗い場所に入った時に、なかなか目が慣れない暗順応遅延といった症状が出る場合があります。
- ・皮膚や粘膜を正常に保つ
 - β-カロチンは皮膚や口・鼻・喉・肺・腸などの粘膜の健康維持には欠かせません。皮膚や粘膜は上皮細胞といい、傷や感染症から身体を守ってくれる働きがあります。
- ・抗酸化作用がある
 - β-カロチンはカロテノイドの一種であるため、抗酸化作用を持っています。

【安全性】

経口摂取で適切に使用する場合、おそらく安全と思われる。

β-カロチンは一日最大300mg以上の濃度では、疳皮症などの原因になる可能性がある。また、小児や妊婦の経口で過剰摂取した場合は危険性が示唆されている。

【効率よく摂るには】

β-カロチンは油脂に溶ける性質があるので、油脂と一緒に摂取すると吸収率が高まります。揚げ物、炒め物、マヨネーズやドレッシングをかけた料理にします。

【β-カロチンを多く含む食材】 ※含有量は可食部100g当たりの数値

食 材	μg
しそ	11000μg
モロヘイヤ	10000μg
にんじん	8200μg
パセリ	7400μg
バジル	6300μg
あしたば	5300μg

……参考文献……

1. 国立健康・栄養研究所「健康食品」の安全性・有効性情報
2. 大塚製薬HP, 「健康と病氣」-「ビタミンQ&A集」
: http://www.otsuka.co.jp/health_illness/vitamin_qa/
3. グリコHP, 「栄養成分ナビゲーター」
: <http://www.glico.co.jp/navi/dic/index.htm>

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

【日薬幹旋図書】保険薬事典 Plus+ 平成25年8月版

【編著】薬業研究会 【発行】じほう 【発行日】2013年8月

【版型/頁】A5判/950頁 【定価】4,830円(税込) 【会員価格】4,350円(税込)

同成分の中で、剤形・薬価別に製品をまとめられ、薬価の違いがひと目でわかります。適応・用法が異なる場合は、それぞれの違いを分かりやすく解説し、ジェネリック医薬品使用の際にも便利。

【日薬幹旋図書】妊娠・授乳とくすり Q&A 第2版

【監修】林 昌洋 【発行】じほう 【発行日】2013年7月

【版型/頁】A5判/200頁 【定価】2,310円(税込) 【会員価格】2,100円(税込)

妊婦・授乳婦への薬物治療を行ううえで医療従事者が知っておきたい臨床知識や経験などをQ&A形式でわかりやすく解説。妊婦によく処方される薬剤の選択基準や、合併症における治療による胎児への影響のほか、薬についての情報収集・患者さんへの情報提供の方法、医薬品の授乳への影響などを簡潔にまとめられている。

【日薬幹旋図書】薬剤師のための臨床検査の知識 改訂5版

【編著】池田 千穂子 【発行】じほう 【発行日】2013年7月

【版型/頁】ホケット判/400頁 【定価】1,890円(税込) 【会員価格】1,700円(税込)

臨床に携わる薬剤師にとって、薬物治療の効果や安全性の検証のための検査データを読む力は必須の知識。最新の改訂5版では、ガイドラインなどを含む最新の知見にアップデートするとともに、各検査項目の先頭に「標準値」と「異常値を示したときに疑われる症状・疾病」を記載し、確認したい検査値がよりわかりやすくなった。

処方 Q&A100 呼吸器疾患

【編著】井端 英憲/坂野 昌志 【発行】南山堂 【発行日】2013年8月

【版型/頁】B5判/278頁 【定価】3,360円(税込)

呼吸器疾患の薬物治療について生じる疑問100題を、日々診療にあたる第一線の医師らが簡潔に解説。薬の選び方と処方意図について重点を置き、「医師はなぜこの薬を他の類似薬ではなく/何の必要があって出したのか」が明確にわかる一冊。

母乳とくすり 第2版 ～あなたの疑問解決します～

【著者】水野 克己 【発行】南山堂 【発行日】2013年8月

【版型/頁】B5判/364頁 【定価】4,200円(税込)

母乳とくすりについて最新情報にアップデート。とくに各論の代表的な薬剤は国内外の論文・書籍の情報を加えて更新し、さらに掲載薬剤の数を大幅に追加。

薬事情報センターの利用のしかた

○業務内容

(1) 医薬品情報の提供 (2) 「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3) 医薬品に関するお問い合わせ (4) 県薬ホームページの制作・管理 (5) 消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6) 医薬品 PL センター窓口業務 (7) ドーピング防止ホットライン業務

○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室の電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。

○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL : 098-963-8931 FAX : 098-963-8937

(社) 沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

* * 海外文献から * *

●向精神薬と交通事故リスクの増加:集団ベースのケースコントロール研究 (Br. J. Clin. Pharmacol. 75(4)1125- (2013.4))

患児には共通して、痙攣性四肢不全麻痺、最小限の意識、嚥下困難などがあったが、いずれも胃流出路閉塞は認められなかった。胃内容排出を助けるため、ドンペリドンが1日4回、食事の15-20分前に投与されると、その日のうちに嘔吐、軽度の吐き戻しから持続性の食事性嘔吐に進行した。6例は経腸栄養の持続性貯留(投与量の50-80%)を示し、食事後は毎回胃吸引を必要とした。投薬中止により嘔吐の重症度は急激に低下、2-3日で嘔吐回数も減少した。1例で投与中に幽門部逆流を観察した。これらは、ドンペリドンの薬効からすると正反対の作用である。本病態に関連する2つの問題(嚥下障害と迷走神経緊張の低下)がドンペリドンによる逆説的な作用の一因となっている。脳損傷のある小児患者には、投与後早期に胃通過試験を行い直後の幽門狭窄を検知することで、嘔吐リスクを最小限にできると思われる。

●賦形剤がアセトアミノフェン代謝に及ぼす影響とその肝臓傷予防に関する影響:クロスオーバー試験 (J. Clin. Pharmacol. 53(4)413- (2013.4))

CYP2E1の代謝物と抱合体の代謝物について、アセトアミノフェン液剤と錠剤(経口用量15mg/kg)を比較するため、健康志願者15例(18歳-40歳)を対象に薬物動態学的単盲検クロスオーバー試験を行った。その結果、抱合体の代謝物には差がみられなかったにも関わらず、液剤群ではCYP2E1代謝物の測定AUC値は16-17%低く、外挿AUC値は25-28%低かった。代謝の生成率定数は液剤群と錠剤群で同等であったことから、酵素の阻害が競合型であったことが示唆された。CYP2E1の競合型アンタゴニストであると知られているプロピレングリコール(アセトアミノフェンの液剤に賦形剤として一般的に用いられている)は、液剤群では検出されたが、錠剤群ではみられなかった。液剤は、プロピレングリコールの予防的効果によりアセトアミノフェン毒性への陥りやすさの低下が説明される。

●受胎前の父親の医薬品暴露が出生転帰に及ぼす影響:ノルウェーの集団におけるデータベースを使用した妊婦340000例に関するコホート研究 (Br. J. Clin. Pharmacol. 75(4)1134- (2013.4))

二つのpopulation-based registry, Medical Birth Registry of Norway(MBRN)とNorwegian Prescription Database(NorPD)を統合して使用した。研究コホートには2004年-2010年までの期間の妊娠340000例が含まれていた。受胎前3ヵ月間の父親への特定薬剤の投与と妊娠転帰(早産、周産期死亡率、胎児発育遅延、出生異常)との関連の検討には多変量ロジスティック回帰分析を行い、オッズ比を推定した。その結果、調査期間中の周産期死亡は約1500例、早産は17000例。父親の39%は受胎6ヵ月前に、また26%は受胎前3ヵ月間に何らかの薬剤を投与されており、さらに1.3%には特別な注意の必要な薬剤(プレドニゾロン、ジアゼパム、バルプロ酸、アザチオプリン、ツリチウム、男性ホルモンなど)が投与されていた。全般的にみて、父親に薬剤が投与された場合でも、妊娠有害転帰のオッズが上昇することはなく、何らかの出生異常を認めるオッズ比は0.99(95%CI 0.94-1.0)であった。しかし、diazepamが投与された場合には、周産期死亡率および成長遅延のリスク上昇を認め、オッズ比は各々2.2(1.2-3.9)および1.4(1.2-1.6)であった。本研究では父系の薬物暴露が妊娠の有害転帰の重大な危険因子であるとは示唆されなかった。

県民の皆様へ

薬剤師会をご利用ください！

やくたっ
薬達ちゃーより

あまくま^{やくだ}薬立つ情報

健康とおくすり相談会

健康とおくすり相談会は、県内各地（離島も含む）の公共の施設や広場、デパート、ショッピングセンターにおいて、毎月開催！薬剤師がアドバイザーとして、直接、お薬や健康について無料で相談に応じています。また、相談会場では体成分測定機や動脈硬化度チェックなどの機器も備え、皆様の健康維持に役立つように取り組んでいます。（会場によっては、測定機器の内容が変わることがあります。）

開催日時や会場、相談会内容などについて、お気軽にお問い合わせください。

電 話 098-963-8930

おくすり相談室

県民の皆様からのお薬に関する疑問、質問にお答えしています。お気軽にご相談ください。（薬局・薬店で販売されているお薬や調剤されたお薬についてのご相談など）

電 話 098-963-8935

試験検査センター

試験検査センターでは、薬事法施行規則第12条第1項に関する試験検査機関の登録機関として、医薬品等の検査を行っています。

薬局で調剤されたお薬について検査を行いたい時にご相談をお受けします。（検査の際は、調剤した薬局やその他の機関への協力を仰ぐことがあります。）

なお、当センター施設設備では対応が難しい場合がありますのでご了承下さい。

電 話 098-963-8934

e-mail siken@okiyaku.or.jp

薬局情報・その他

沖縄県薬剤師会から県内の「薬局マップ」が得られます。禁煙サポート薬局や訪問服薬指導実施（在宅支援）薬局などの薬局情報もお知らせします。ぜひ、あなたの“かかりつけ薬局”をおもちになってください。（沖縄県薬剤師会ホームページからも閲覧できます。）

沖縄県薬剤師会ホームページでは、「沖縄の薬草」や「サプリメント」などの情報も随時アップ
＜ホームページアドレス <http://www.okiyaku.or.jp>＞



GREAT MOMENTS IN PHARMACY

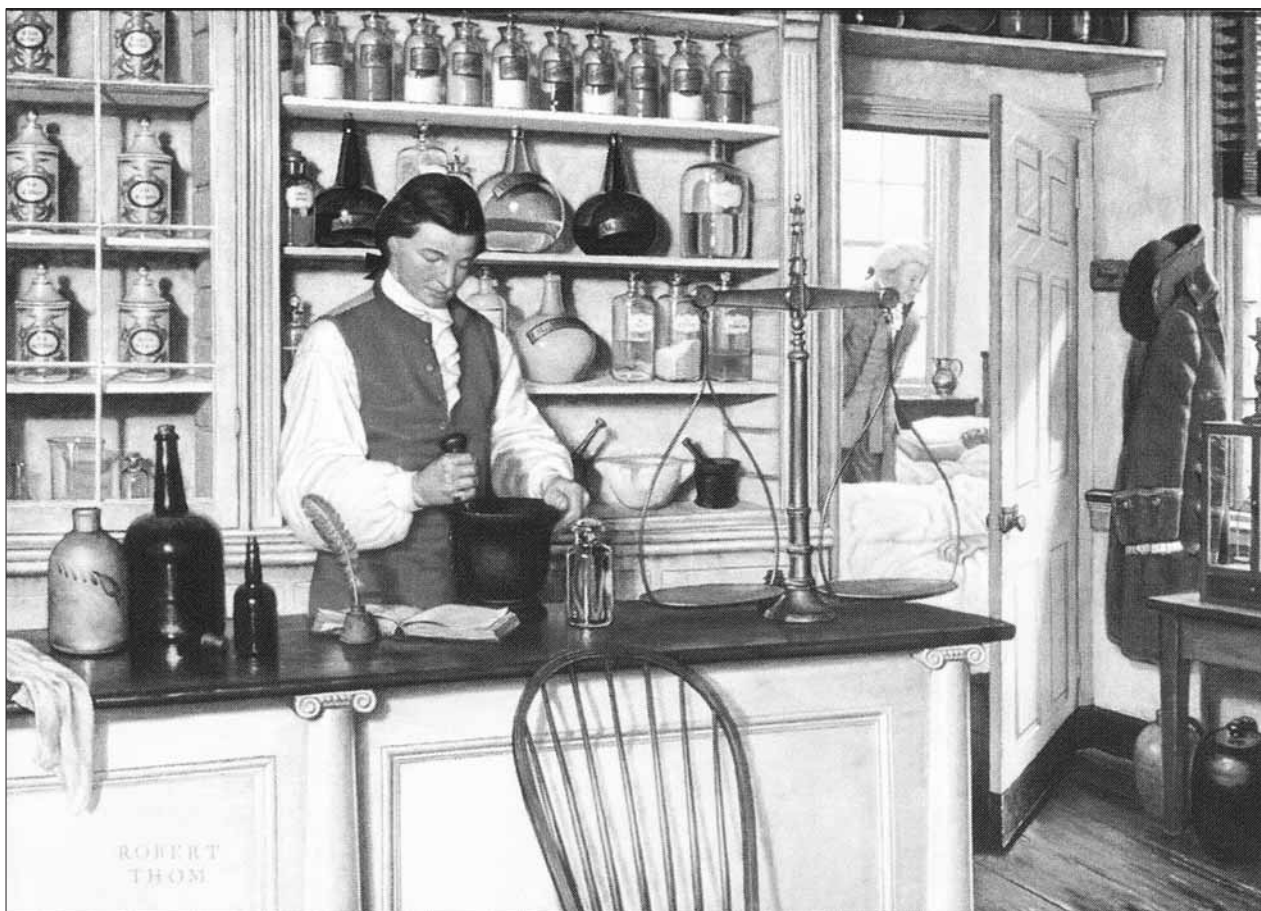
薬学の歴史

19. 薬剤師、マーシャル

アイルランド移民のクリストファー・マーシャルは、1729年にフィラデルフィアに薬剤店を創業しました。彼が始めたこの先駆的な店は、96年の歳月の中で大手小売店、中核をなす大規模化学品製造業、薬剤師の職業訓練学校、そして独立革命の時には重要な供給拠点となり、最終的には、アメリカ初の女性薬剤師となる孫娘のエリザベスにより営まれました。独立革命では、クリストファーは「戦うクエーカー教徒」と呼ばれました。この絵には、クリストファーと少年時代（1754年頃）の彼の息子、チャールズとクリストファージュニアが描かれています。彼の息子たちはクリストファーの優れた伝統を受け継いだだけでなく、名声も獲得しました。

19. THE MARSHALLAPOTHECARY

Christopher Marshall, an Irish immigrant, established his apothecary shop in Philadelphia in 1729. During 96 years, this pioneer pharmaceutical enterprise became a leading retail store, nucleus of large-scale chemical manufacturing; a "practical" training school for pharmacists; an important supply depot during the Revolution; and finally, it was managed by granddaughter Elizabeth, America's first woman pharmacist. Christopher earned the title of "The fighting Quaker" during the Revolution; his sons, Charles and Christopher, Jr., (shown as youths with their father, about 1754) earned individual fame and carried on his fine traditions.



GREAT MOMENTS IN PHARMACY

薬学の歴史

20. アメリカ植民地時代の最初の病院

アメリカ植民地時代の最初の病院だった「ペンシルベニア」は、1751年にフィラデルフィアに設立され、初の病院内薬局が1752年に創業されました。病棟が完成するまでは一時的にキンゼー家で診療が行われていました。ベンジャミン・フランクリンの考案は双方に有益なものとなりました。最初の病院薬剤師はジョナサン・ロバーツでしたが、病院薬剤師としての職務（1755年～1756年）と、薬学や医学への影響により北米の専門調剤の発展で重要となる変化に貢献したのは彼の後継者のジョン・モーガンでした。モーガンは、始めは薬剤師として、後に医師として処方箋業務を提唱し、これらの専門領域の分業を支持しました。

20. FIRST HOSPITAL IN COLONIAL AMERICA

Colonial America's first hospital (Pennsylvania) was established in Philadelphia in 1751; the first Hospital Pharmacy began operations there in 1752, temporarily set up in the Kinsey house, which served until the first hospital building was completed. The ingenuity of Benjamin Franklin was helpful in both. First Hospital Pharmacist was Jonathan Roberts; but it was his successor, John Morgan, whose practice as a hospital pharmacist (1755-56), and whose impact upon Pharmacy and Medicine influenced changes that were to become of importance to the development of professional pharmacy in North America. First as pharmacist, later as physician, he advocated prescription writing and championed independent practice of two professions.

第9回 暮らしの中の薬草学

身近な薬草を知ろう



女性薬剤師部会 狩俣 イソ

トウガン 冬瓜

学 名 Benincasa hispida
科 名 ウリ科
属 名 トウガン属
使用部位 果実・種子・果皮
有効成分 ビタミンC、ミネラル
モリブデン、タルトロン酸
ウロン酸（中性糖）



トウガンの特徴

トウガン（冬瓜、中国語読みトングワ dōngguā、英：wax gourd, winter melon）は、ウリ科のつる性一年草。またその果実のこと。別名トウガ、カモウリ、シブイなど。7・8月に収穫される夏の野菜で、実を食用とする。実は大きいもので短径30cm、長径80cm程度にもなる。果肉は白く淡泊で果実の96%が水分なので重い。

「冬瓜」の表記は、果実を丸のまま冷暗所に置けば、他のウリ類がなくなる冬まで保存できるからともいう。未熟なうちは全体にうぶ毛が生えていて、熟するにつれてうぶ毛が

落ち、完熟すると全体が白い粉（ブルーム）で白っぽくなる。江戸時代に著された『和歌食物本草』では、「冬瓜は、霜ふりて後食すべし…」とあり、この「霜」というのはブルームのこと。おいしさの印なのだが、近年では「農薬が残っているのでは？」と消費者に敬遠され、白い粉が出ない琉球種が主流になっているともいわれる。小型のミニトウガンや白い大丸トウガン、琉球種、台湾種、中国からの節瓜などの種類がある。漢方では、体を冷し、熱をさます効果があるとされる。種子は冬瓜子、白瓜子、冬瓜仁などと呼ばれ、利尿剤として用いられる。

トウガンの歴史

冬瓜はインド、東南アジアの熱帯地域が原産といわれ、3世紀頃に中国に伝わり、5世紀頃には日本にも伝来したと考えられている。奈良時代の「正倉院文書」などでは「冬瓜」や「鴨瓜（冬瓜の和名）」の記載があり、平安時代の「本草和名」では「白冬瓜」の項目で、「和名：加毛宇利」と記載されるなど、昔から日本に存在していたようである。

『神農本草経』の上品に収載されている。

『本草綱目』の中で他の書物からの引用として主治の項に「小腹水脹。小便を利し、渴を止める」（別録）と記載されている。

参考 沖縄食の大百科 薬膳・薬草と薬草料理

Wikipedia

栄養成分（100g 当たり） 五訂 日本食品標準成分表より

エネルギー	蛋白質	炭水化物	脂質	食物繊維	マグネシウム	リ ン	カリウム
16 kcal	0.6 g	3.8 g	0.1 g	1.3 g	7 mg	18 mg	200 mg
鉄	ナトリウム	カルシウム	ビタミンE	葉酸	ナイアシン	パントテン酸	ビタミンC
0.2 mg	1 mg	19 mg	0.1 mg	26 μg	0.4 mg	0.21 mg	39 mg

血糖降下、降圧作用

ビタミンC、カリウムを豊富に含むので、ナトリウムの排出を促進する。高血圧、腎臓病、浮腫、また喉の渇きも止めるので糖尿病にも理想的な野菜である。

腎臓の保護・強化

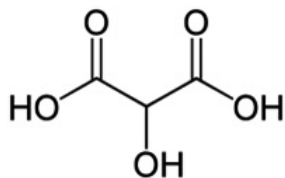
冬瓜は尿量を増加させ、腎臓の炎症を抑える。尿の出が悪いときには、冬瓜の絞り汁にはちみつを少々加えて飲むと効果がある。水分の代謝が原因で起こるめまいには、冬瓜の種子を煎じたものが有効である。

暑気払い

冬瓜は体の熱を取り去り、暑さで昂進した新陳代謝の働きを正常に戻す。

ダイエット

冬瓜に含まれるタルトロン酸は、炭水化物が体内で脂肪に変わるのを抑える効果がある。



タルトロン酸

美容効果

冬瓜のワタは、天然の化粧水である。シミ・そばかすに効果があり、肌に潤いを与える。

免疫力アップ

冬瓜から抽出された中性糖であるウロン酸は免疫力を高める働きがある。

ウロン酸

アルデヒド基とカルボキシル基とをもつ糖の誘導体の総称。D-グルクロン酸はD-グルコースのウロン酸に相当するもので、コンドロイチン硫酸などのグリコサミノグリカン（ムコ多糖）の構成成分として広くみられる。

ウロン酸は、長時間熱することでDHCP（ジヒドロキシシクロペンテン）という、強力な抗がん作用、さらに強い抗菌作用も併せ持つ物質に変化する。1994年スウェーデンの研究者が発見。生理活性物質「プロスタグランジン」と構造が似ており、強力な抗がん作用と抗生物質なみの抗菌性を確認。

DHCPの抗がん作用：作用は強力で、マウスに与えると生存日数は、乳ガン（2倍）、白血病（2.3倍）になった。

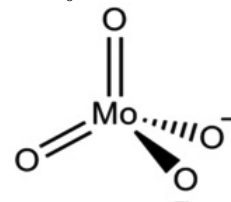
DHCPの殺菌作用：サルモネラ菌、O-157。糖鎖工学研究所（加藤郁之所長）は、「漢方薬の効能はDHCPですべて説明できる」とする。

グルコースのウロン酸である「グルクロン酸」は体内の毒物と結合しグルクロニドとして尿中に排泄させる働きがある。

モリブデン

冬瓜100gにモリブデン4μg含まれている。

現在、植物と動物をあわせて約20種類ほどの



モリブデン酸イオンの構造式

モリブデン含有酵素が知られている。

モリブデンの欠乏症はまれであるが、欠乏すると亜硫酸毒性がみられ、頻脈、頻呼吸、頭痛、悪心、嘔吐、昏睡の症状が見られたとの記録がある。過剰摂取による中毒は「モリブデノーシス」（molybdenosis）といい、コロラド州のモリブデンを多く含む土地の草を食べた牛が中毒した例がある。症状は、体重の低下・食欲減退・貧血・授乳不良・不妊・骨粗鬆症などである。

食用としての冬瓜

煮物、あんかけ、酢の物、スープ、蒸し物などとして他の味を含ませる料理に用いられる。広東料理では大きいまま、中をくりぬいて刻んだ魚介類、中国ハム、シイタケなどの具とスープを入れ、全体を蒸した「冬瓜盅（トンクワチョン dōngguāzhōng）」という宴会料理がある。

若葉や柔らかい蔓も葉野菜として、炒め物などに用いることができる。

実を、砂糖を加えた水で煮込んだものが、台湾で茶の一種として飲まれている。缶入り飲料もある。

また、シロップで煮てから砂糖をからめた菓子としたり、刻んで焼き菓子の具にまぜたり、パイナップルケーキの餡の増量に用いる場合もある。

参考 Wikipedia、世界大百科事典、日本大百科全書
漢方薬剤師荒川充洋の健康みみフクロ
薬剤師てるちゃんのサプリメント日記



私の沖縄ライフ



すこやか薬局 新都心店
金城 奈々美

「沖縄店の店長にならないか？」

「店長はちょっと・・・（少し悩んで）でも、沖縄なら行きます！！」

平成17年8月のある日、異動辞令の夢を見た。その当時、私は首都圏にある調剤併設型のチェーンドラッグストアで働いていた。学生時代から憧れ、いつか住んでみたいと思っていた沖縄。いつの間にかその気持ちは薄れていたが、この夢を見た時、沖縄に行きたいんだという想いが再燃焼。ダメ元で、沖縄出店を上司に提案したが、流通が難しいからと断られた。一度思ったら引けない性格。そこからすぐに行動を起こした。

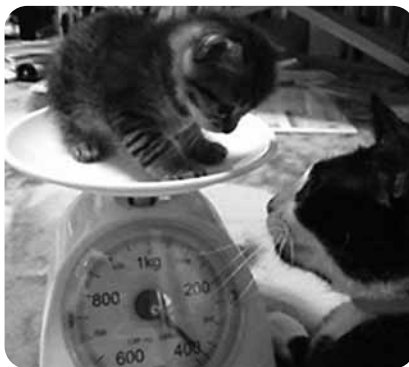
幼い頃から泳ぐことが好きで、社会人になってからは休みのたびにマスターズ大会やオープンウォーター（遠泳）の大会に参加していた。毎日泳ぐことのできる環境に住みたいと思い、まずは沖縄のスポーツクラブを検索。その年の11月に、入ると決めたスポーツクラブの見学、住まい・職場探しの為有給休暇

を取って来沖。年末には退職し、翌年1月から本格的に沖縄ライフをスタートした。

当初は、短期間の沖縄生活の予定だったが、あつという間に7年半が経った。その間に、トライアスロンやフルマラソンに出場、結婚、異動。

一昨年8月初めの台風の日、マンションの通路で産まれたばかりの子猫を2匹抱えた母猫を保護。一時的に保護するつもりが、情が湧いて3匹共飼うことに。ペット不可のマンションだったため、急いでペット可のマンションを探して転居。全長10cmくらいだった子猫たちは、今では母猫と同じ大きさになり、毎日親子で大運動会。壁で爪砥ぎされ、保護シートを貼る、の繰り返しでうんざりすることもあるが、マイペースで可愛い猫達に癒されている。

自分中心だった生活が、今は猫中心の生活になっている。



次号には喜久山有沙先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！

燃える！青年団

もっと若い薬剤師の声を・交流の場をもっと増やそう！と「燃える青年団」のページを再立ち上げしました！今回の団員は、今年から県薬で学校薬剤師としての活動の幅を広げ始めた鈴木毅さんです♪



団員紹介 21



すずき たけし 鈴木 毅 プロフィール

出身校：第一薬大 → 長崎大院（修士）→ 琉球大院精神科（博士）
誕生日：6月11日
出身地：大阪府
勤務先：琉球大学医学部附属病院（以下、琉大）
趣味：武道、トライアスロン、バイクいじり

これまでの経歴

大学院卒業後、人の温かさに惹かれて沖縄へ。民間病院で3年間勤めた後、琉大で勤務し始め、現在8年目となる。琉大に勤めながら、精神科で医学博士を修め、様々な職能を身につけ、2010年にがん専門薬剤師の認定を受ける。現在の仕事の内容はDⅠ業務、化学療法、服薬指導などと多岐に渡る。

仕事の傍ら、沖縄県立看護大学非常勤講師（2009年、2010年、2013年）を務める他、今年度からは浦添市内の高等学校の学校薬剤師としても活動するなど、教育的な立場でも大きな役割を果たしている。

お仕事をしながらも勉強する姿勢を忘れず、博士や認定を取得する等、スキルアップする姿がかっこいいです！（by 伊差川）

目標とする先生は？

第一薬大の工藤忠宏先生、蒲地保子先生。長崎大の故村田育夫先生、塚元和弘先生。琉大精神科の近藤毅先生、三原一雄先生です。

追いかける背中がたくさんあるというのは、志が高く持っていていいですね。素敵です。（by 伊差川）

鈴木さんへの一問一答

- ・好きな飲み物・食べ物→ジンジャーエール、ハンバーグ
- ・あなたのヒーロー→エルネスト・チェ・ゲバラ
- ・朝起きて最初に思うことは？→休みの日にヤバイ！今日仕事じゃなかったっけ！？とよく思います。

紹介したいお店とお勧めメニュー

MATAHARI（浦添）：ランチタイムのカレー
朝日レストラン（名護）：おいしいお肉が食べなくなったらちゅるげーそば（北中城）：古民家と旨いそばに相性バッチリ

仕事の流儀

シンプル・迅速・わかりやすさをモットーとしていますが、生命に関わることなので、何事も憶測で判断するのではなく、きちんと理論的に物事を考えていくようにしています。

みんなへのメッセージ

沖縄に来てから、はや11年目となり、色々な方々と知り合うことができました。今後もたくさんの方々と情報交換をさせて頂きたいです。よろしくお願いします。

お薬に関して分からないことを聞いたら、ネットで

ちょっと調べようなことはせず、詳細な文献を用いて内容を噛み砕いて教えてくださる鈴木さん。頼りにしております☆



（文：広報委員会 伊差川サヤカ）

卒煙物語 その41

未成年者喫煙禁止法 と治療

文：卒煙へようこそ担当
えんこ

時代はどんどん進んでいます。
どうしてこんな時代になったのか、
それなりの理由があります。
「卒煙」を知らないではすみません。
さあ、一緒に取り組みましょう！



学校現場は、治療者がどこにいるのかわからないという。

日本には、明治33年に制定され現在まで改正追加されながら継続されている未成年者喫煙禁止法がある。第2条には「違反した者あるときは行政の処分を以って喫煙のために所持する煙草及び器具を没収す」とある。依存に至っていなければそれだけでいいのだが、依存に進行していたのであれば、タバコによるニコチン依存症という病気であり治療が必要な段階にある。そのことまで法は定めていない。国が未成年者喫煙を禁止しているのだから通常治療などありえないと考えてしまうのだろう。大人の薬物依存の治療が、大体的に宣伝されていないのだからそう考えるのも無理はない。また多少の後ろめたさで治療者を積極的に探す勇気に似た感情が抑えられてしまうのだろう。そんな環境からみても未成年者の喫煙は、本人にとって、家族にとって、学校現場でさえも改善の見込めない厄介な問題になっている。それでも勇気を振り絞って、治療の必要を感じて、医療機関・病院を探す、ほとんどが一投目の病院に振られる。そして近くには、ないのだなと諦めてしまう。薬剤師会や医師会ホームページでの禁煙サポート薬局、禁煙外来のページにたどりついたとしても、未成年者の治療をホームページで紹介しているところはない。通常現場の禁煙治療の専門科を知らない人にとっては、個別に当たるし

かないはずで、未成年者の治療するところは、雲をも掴むに等しい。

そんな中、未成年の喫煙者のことで、今年は2例、私のところに相談が来た。沖縄県警察本部からスクールサポーターとして派遣されている方からだ。処罰するところと考えがちな警察が学校に入り法律の規制枠を超えて必要と思われる対応をされている。学校薬剤師として私の担当校にも派遣されていた際に一緒に子供の禁煙について取り組んだ経緯がある。今回は、その方の担当校が変わったところでの相談だ。私以外に医療者が未成年の禁煙に関わっている人を知らないという。実は、私以外に多くの医療者が禁煙・未成年者と関わっている。担当校が変わって、近くで探せないでいた。この現実を私たち医療者は受け止めなければいけない。そして何が足りないか工夫しなければいけない。一例は、私の知っている医療機関に紹介した。もう一例は他より私の方に近く、私で対応できそうなので、私が引き受けることにした。各専門分野が連携して行くことが必要。将来ある子供が、法にさわる喫煙をしてしまって、依存になってしまう。そういう社会が未だにある。あらためて私たち医療者が、子供たちにふりかかっている問題に医療の専門分野に関しては、真面目に対応しなければいけない。

卒煙証書が渡せる日がありますように。

卒煙者の経験談を募集しています。皆様の声が大きな励みとなることでしょう。
下記までお寄せ下さい。

e-mail kouhou@okiyaku.or.jp

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10

TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932

薬事情報センター内 卒煙へようこそ担当 えんこ 行き

薬連だより

国会レポート

～一般用医薬品のインターネット販売と参議院選挙～

参議院議員・薬学博士 藤井 もとゆき



6月14日、政府はアベノミクスの3本目の矢に当たる「日本再興戦略」等を閣議決定しました。この中で、「一般用医薬品については、インターネット販売を認める。その際、消費者の安全性を確保しつつ、適切なルールの下で行うこととする。ただし、「スイッチ直後品目」及び「劇薬指定品目」については、(中略)医学・薬学等それぞれの専門家による所要の検討を行う。秋頃までに結論を得て、所要の制度的な措置を講じる。」とされました。今後、薬事法改正も視野に入れて、適切なルールに関する検討と専門家による検討という二つの流れが生じることとなりますので、注視していかなければなりません。

本件については、1月11日の最高裁判決により、第一類・第二類医薬品のインターネット販売を一律に禁止した省令が、薬事法の委任の範囲を超えているとしたことから、厚労省は新たな検討会を設置し、2月より検討を開始しました。一方、政府の「規制改革会議」、「産業競争力会議」等でも議論がなされてきました。

このような政府の動きの中で、自民党の医薬品のネット販売に関する議員連盟は、1月から7回にわたって議論を行い、3月18日の会合では、対面販売を堅持する旨の議論の整理を行い公表しました。4月4日には児玉会長らとともに安倍総理を訪問し、安易な規制緩和を行わないよう要望しました。また、「薬事に関する小委員会」では、4月12日に薬害被害者団体等から意見をお聞きすると

ともに、5月13日には、薬害被害者団体の方々とともに、稲田規制改革担当大臣に陳情を行いました。更に、薬剤師問題議員懇談会においては、4月の会合で日本薬剤師会の要望をお聞きし、6月13日の会合では決議を行い、松本純議員とともに官邸を訪れ、決議文を菅官房長官にお渡しし、慎重な検討を要望しました。

このような活動にもかかわらず、閣議決定となってしまったことは誠に残念ですが、検討はこれからも継続されますので、消費者の安全が守られるよう引き続き努力していく所存です。

ところで、6月26日、通常国会が閉会となりました。「ねじれ国会」のため、当然成立すると考えられた「生活保護法改正法案」等の重要法案が参議院で採決されず廃案となってしまいました。国民生活に必要な法律を成立させることができない状態は、国民にとっても不幸であると考えます。7月4日に公示された参議院選挙においては「ねじれの解消」を第一の目的としており、なんとしても自公で過半数を勝ち取り、安定政権のもとで選挙公約を実践してまいりたいと思います。Jファイル2013では、薬局・医療機関の薬剤師の機能、役割の拡充と積極的活用について述べており、国民医療の向上とセルフメディケーション普及のため、医薬分業の一層の推進と地域の薬局・薬剤師の積極的活用を図るなどとしております。この文書がお目にとまる頃には結果が出ていることでしょう。

藤井もとゆきホームページ <http://mfujii.gr.jp/>

平成25年度 第2回定例理事会 議事概要

日時：平成25年 5月11日(土) 19:00～22:00

場所：沖縄県薬剤師会館 研修室

＜出席者＞

会 長：神村武之

副 会 長：吉田洋史

理 事：江夏京子、亀谷浩昌、山里勇、池宮恵美子、姫野耕一、新垣秀幸、下地仁、
荒谷敏巳、村田美智子、糸嶺達、山城志津、笠原大吾、宮里直、前濱朋子、
宮城敦子、我喜屋美香

監 事：大城桂子

事 務 局：山城英人、金城みどり、宮城麻希

会議次第に記述した事項について糸嶺理事から順次説明。項目によっては、事業担当理事から追加説明がなされた。

報告（会）

- (1) 会営薬局の調剤保険料等（4月分）及び病院別院外処方せん発行状況 <資料配布>
- (2) 会報取材 伊敷幸太郎先生にインタビュー 4月13日（土）伊敷幸太郎先生宅
- (3) 保険薬局部会講習会 4月14日（日）県薬
宮里理事より、メディカルスタッフ教育研究所の西村より子氏に「個別指導について」というタイトルで講演いただいたと報告された。
- (4) 学校薬剤師部会役員会 4月14日（日）県薬 <資料配布>
前濱理事より、今後予定されている研修会・講習会等、県内の小・中学校に全国学校保健調査表を送付しているとの報告がなされた。
- (5) 賃金委員会 4月16日（火）県薬 <資料配布>
山里常任理事より、課長職手当、給与表及び諸手当の見直しの必要性、パート職員の賃金等について協議されたと報告された。
- (6) 会計監査 4月17・18日（水・木）県薬
- (7) なごみ会実行委員会 4月18日（木）沖縄県医師会 <資料配布>
笠原理事より、今年の県民健康フェアは、8月18日（日）にコンベンションセンターで開催する。実行委員会の議題は、各団体負担額（当会は幹事団体として14万円）の件、各ブースの団体名看板の件、司会（ゆうりきやー）の対応等であったと報告された。
- (8) 八重山地区薬剤師会総会 4月22日（月）石垣市
荒谷理事より、神村会長に出席していただいたと報告された。
- (9) 第2回「薬と健康の週間」調整会議 4月23日（火）県庁
沖縄県、那覇市、そして県薬事務局が参加し、「薬と健康の週間」中の県民公開講演会の講師について打合せがされた。
- (10) 災害対策委員会 4月24日（水）県薬 <資料配布>
吉田副会長より、沖縄県版の災害対策マニュアルを作成する。完成までの流れとして、10月頃までに原案を作成し、2月頃の完成、次年度に製本すると報告された。

- (11) 無菌調剤室設置検討会 4月25日(木) 県薬 <資料配布>
吉田副会長より、地域医療再生臨時特例基金事業補助金より会営薬局うえはらに無菌調剤室を設置する。無菌調剤室設置検討会議メンバーの仲真氏、琉大病院の石井氏が先進県の福岡県に5月下旬に視察に行き、今年度中に完成させ、使用開始すると報告された。
- (12) 沖縄労働局より来訪 4月26日(金) 県薬
- (13) 沖縄県地域糖尿病療養指導士会説明会 4月26日(金) 沖縄県医師会 <資料配布>
糸嶺理事より、吉田副会長が参加し、沖縄県独自の地域糖尿病療養指導士を育成していくことの説明会が開催されたと報告された。
- (14) 第1回九州山口各県薬代表者会議 4月30日(火) 福岡県薬 <資料配布>
神村会長より、吉田副会長と出席した。一般用医薬品のインターネットによる販売の規制緩和に反対する活動について、日薬賞・功労賞の推薦について、第75回九州山口薬学大会(佐賀県)の宣言・決議文等について協議されたと報告された。
- (15) 九州山口地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関評議員会 4月30日(火) 福岡県薬
吉田副会長より、昨年の受け入れ実務実習生16名、今年の受け入れは22名予定されていると報告された。
- (16) 沖縄県保健医療福祉事業団より来訪 5月1日(水) 県薬 <資料配布>
笠原理事より、沖縄県保健医療福祉事業団から移植医療啓発活動として、薬局でのポスター掲示、意思表示カード等の設置について協力をお願いがあった。保健福祉委員会で取り組むことになり、各薬局にアンケートを取ってポスター等を送付していくことが報告された。
- (17) タイムス「ほーむぷらざ」取材 5月2日(木) 県薬 <資料配布>
宮城理事より、標記タウン誌記者より紙面内で「薬服用の基本のキ」(仮題)という記事を作成したいと取材依頼があり、薬剤師職能PRを兼ねて取材対応した。取材記事は、平成25年5月16日(木)発行号に見開き記事として大きく掲載されることが報告された。
- (18) 下期監事監査 5月7日(火) 県薬
大城監事より、平成24年度分の監査をした。法人会計制度が変わり一般社団法人へ移行したことで複雑化しているが、適切に執行されていることを確認したと報告された。
- (19) 平成25年度第1回地区調整機構会議 5月10日(金) 博多都ホテル <資料配布>
薬学生実務実習受入委員長の仲真良重氏が出席した。
- (20) 平成25年度第1回沖縄県がん診療連携協議会 5月10日(金) 琉球大学
神村会長の代理として宮城理事が出席した。県立病院長、がん患者会、がん患者遺族会等が出席して活発な意見が出されていたと報告された。
- (21) 会営薬局医療センター前 管理薬剤師の件 <資料配布>
神村会長より、会営薬局医療センター前の薬局長兼管理薬剤師の新城光枝氏が退職した。新城氏は、薬局長として沖縄初の休日夜間薬局の立ち上げから4年余に亘り貢献したことを評価して、就業規則第47条に基づいて功労金を授与したいと説明され、了承された。後任として城間盛光氏が就任する。
- (22) 平成25年度助成事業応募について(沖縄県保健医療福祉事業団より) <資料配布>
糸嶺理事より、今年も沖縄県保健医療福祉事業団より健康づくり運動実践活動団体助成事業の募集がある。昨年は、その助成金を活用してお薬手帳啓蒙ポスター・チラシを作成した。各地区、委員会、部会等へ募集に応じることを案内した。(応募期間:平成25年4月10日~平成25年8月12日)
- (23) 各部会担当事務職員について <資料配布>
糸嶺理事より、資料のとおり各種部会の担当窓口職員を配置することが説明された。

報告（薬連）

- (1) 安里政晃氏（参議院議員選挙立候補予定者）来訪 4月16日（火）県薬
- (2) 沖縄県薬剤師連盟総務会 4月26日（金）県薬
神村会長より、平成24年度決算報告、平成25年度事業計画案について協議されたこと、7月の参議院議員選挙沖縄選挙区に自民党公認新人の安里政晃氏を推薦することが決定したこと等が報告された。
- (3) 島尻あい子氏へのインターネット販売規制緩和反対の陳情 4月27日（土）島尻あい子後援会事務所
神村会長より、標記問題について大詰めを向かえていることを受けて、日薬連盟より地元出身国会議員等へ陳情の依頼があり、島尻あい子氏への陳情を行った。後日に国場幸之助氏、比嘉奈津美氏、西銘恒三郎氏に陳情していくことが報告された。

議題

- (1) 第68回通常総会に提出する関係資料について <資料配布>
第68回通常総会での次第と進行予定表について確認され、山里常任理事より、平成24年度決算について当期指定正味財産増減額1,511,379円、正味財産期末残高595,256,088円、基本財産及び特定資産について、法人税全体で11,958,900円の支払いが発生すること等が説明され、了承された。
- (2) 予備代議員の選出について <資料配布>
全代議員選挙区から選出されてきた予備代議員について、代議員選挙規程第20条により当理事会にて選任することが求められ、了承された。予備代議員は、総会承認事項となっており議案として提出される。
- (3) 総会での代表質問の順番について
日薬総会で採用されている代表質問制を、県薬総会でも採用してはどうかと去る3月の臨時代議員会で意見が出され、4月定例理事会で地区代表質問制を採用することが決まった。各地区代表理事によるクジ引きにより総会当日の代表質問の順番が次の通りとなった。
1. 南部地区薬剤師会 2. 八重山地区薬剤師会 3. 北部地区薬剤師会
4. 宮古地区薬剤師会 5. 那覇地区薬剤師会 6. 中部地区薬剤師会
- (4) 相談役の選任について <資料配布>
一般社団法人沖縄県薬剤師会定款に則り、以下の者が相談役に推薦され承認された。
金城保景氏、新垣正次氏、我喜屋宏氏
- (5) 一般社団法人沖縄県薬剤師会理事候補者について <資料配布>
一般社団法人沖縄県薬剤師会理事候補選出要綱により、六地区薬剤師会及び各部会から以下の理事候補が推薦された。
また、神村会長候補より、推薦された理事候補のほか、会長候補が理事の定数の範囲で理事候補を指名する分については、総会までに検討すると述べられた。
北部地区（玉城純）、中部地区（江夏京子）、那覇地区（姫野耕一）、南部地区（新垣秀幸）
宮古地区（下地仁）、八重山地区（幸地良信）
保険薬局部会（川上善久）、病院薬剤師部会（外間惟夫）、学校薬剤師部会（前濱朋子）
卸薬剤師部会（山里勇）、女性薬剤師部会（村田美智子）、青年薬剤師部会（石川恵市）
- (6) 県薬支部名称変更について
具志川支部→うるま支部 （該当市町村：うるま市、金武町、宜野座村）

江夏常任理事より、これまでの具志川支部の名称についてうるま支部へと名称変更したい旨が説明され了承された。

(7) **日本薬剤師会創立120周年記念式典について** <資料配布>

神村会長より、歴代会長・副会長、日薬代議員、連盟幹事長等に招待状が届いており、交通費、参加費等は自己負担である。各県薬の状況をみて一部県薬負担とするか検討したいと述べられた。

(8) **「うちなあ がん薬一薬連携の会」世話人選出のお願い** <資料配布>

神村会長より、「特定非営利活動法人よりよい地域医療を応援する会」のバックアップを受け県薬と県病薬の共催で「うちなあ がん薬一薬連携の会」が発足した。世話人会名簿として配布資料のとおり県薬側、病薬側で挙っている、県薬側としてもう一人推薦したい。適任者がいれば推薦願いたいと述べられた。

(9) **くすりと健康フェアの特別講師について** <資料配布>

「薬と健康の週間」調整会議にて、週間中の県民公開講演会の講師7名が、配布資料のとおり提案されている。その中で①の笠原友子氏と②の海原純子氏を県薬推薦とすることが決まった。

(10) **フィジカルアセスメント委員会（仮）について** <資料配布>

笠原理事より、保険福祉委員会では、平成24年度に病薬のご厚意によりおきなわクリニカルシュミレーションセンターでの、「薬剤師のためのフィジカルアセスメント」プログラムに県薬として5名が参加する機会を得た。平成25年度は、これらを広く会員に普及する講習会を計画するとともに、新たなメンバーでプログラムに参加していきたい。そこで協議事項として以下のことについて諮った。

- ① 本年度保健福祉委員会が開催するフィジカルアセスメント講習会に開局委員会、保険薬局部会が協働で企画実施していきたい。フィジカルアセスメントワーキングチームという名称で活動していきたい。
 - ② 昨年度、クリニカルシュミレーションセンターを利用した場合の費用は病薬で負担していただいた。今年度からは按分して支払うことをお願いしたい。
 - ③ 本年度のプログラムに参加する会員の推薦を各地区薬に推薦したい。
- 以上のことについて全て了承された。

(11) **賃金について** <資料配布>

山里常任理事より、課長職員への賃金について賃金委員会、幹事会と協議してきた内容等が説明され、基本給31号給、課長職手当5万円とすることが承認された。

(12) **薬局等における対面販売強化のための行動計画及び地方紙等での広告の共同掲載について** <資料配布>

日薬より、「薬局等における対面販売強化のための行動計画」が示された。各都道府県薬剤師会実施事項として、①当行動計画の支部長・会員への周知徹底、②カード・ポスターの会員薬局等への配布、③都道府県薬剤師会ホームページでの啓発、④意見広告の地方紙への掲載、が示された。①②については、日薬から届いたカード・ポスターを近日中に会員へ発送する。③はホームページ掲載済。④については、地方紙への1日掲載料が1紙100万円を超えてくる為、テレビCMを利用することが安価で効果的とのことで、了承された。

(13) **6月理事会の日程について（第2土曜日が日薬会長会議のため）**

理事会6月15日（土）、幹事会6月12日（水）時間は通常通り
上記日程で了承された。

平成25年度 第3回臨時理事会 議事概要

日時：平成25年5月26日(土) 17:15～17:30

場所：沖縄県薬剤師会館 会議室

＜出席者＞

理事：神村武之、松山朝雄、吉田洋史、田場英治、江夏京子、山里 勇、亀谷浩昌
宮城敦子、前濱朋子、玉城純、姫野耕一、新垣秀幸、下地仁、幸地良信
外間惟夫、村田美智子、川上善久、石川恵市、我喜屋美香、笠原大吾
事務局：山城英人

議題

(1) 会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定について

＜資料配布＞

沖縄県薬剤師会定款第23，24条に基づき、会長、副会長、専務理事、常務理事の互選が行われ、次のとおり決定した。

会 長	神村 武之
副 会 長	松山 朝雄、吉田 洋史
専務理事	田場 英治
常務理事	江夏 京子、山里 勇、亀谷 浩昌、宮城 敦子、前濱 朋子

平成25年度 第4回定例理事会 議事概要

日時：平成25年6月15日(土) 19:00～22:00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

＜出席者＞

会 長：神村武之
副 会 長：松山朝雄、吉田洋史
理 事：田場英治、江夏京子、山里 勇、亀谷浩昌、宮城敦子、前濱朋子、玉城純
姫野耕一、下地仁、幸地良信、川上善久、石川恵市、我喜屋美香、笠原大吾
事 務 局：山城英人、宮城麻希

新理事による最初の定例理事会とあって会長から挨拶が行われ、会議次第に記述した事項について事業担当理事から順次説明がなされた。

報告（会）

- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| (1) 会営薬局の調剤保険料等（5月分）及び病院別院外処方せん発行状況 | ＜資料配布＞ |
| (2) 実務実習指導薬剤師養成講習会 | 5月12日（日）県薬 ＜資料配布＞ |
| (3) 実務実習オリエンテーション | 5月13日（月）県薬 |
| (4) 平成25年度 第1回開局委員会 | 5月13日（月）県薬 ＜資料配布＞ |

- (5) **フィジカルアセスメントに関する打合せ会** 5月15日（水）県薬 <資料配布>
- (6) **沖縄県産業・雇用拡大県民運動推進本部会議** 5月17日（金）自治会館 <資料配布>
 神村会長より、「みんなでグッジョブ運動」の取り組み状況と実施計画について沖縄県の失業率は少しずつ改善しているが、まだ全国的に比べて高く、仕事の定着率が低く、働く意欲が必要であることが報告された。
- (7) **第3回「薬と健康の週間」調整会議** 5月17日（金）県庁
 くすりと健康フェア（県民公開講演会）の特別講師が後藤直良先生に決定したことが報告された。
- (8) **青年部会総会** 5月17日（金）県薬
 石川理事より、平成25年度の事業計画として東日本大震災で薬剤師として活躍した石巻市の岩淵氏を招いて10月頃に講演会を検討していると報告された。
- (9) **新県立宮古病院内覧会** 5月18日（土）新宮古病院敷地内
- (10) **新県立宮古病院祝賀会** 5月18日（土）ホテルアトールエメラルド宮古島
- (11) **宮古地区薬剤師会総会** 5月18日（土）宮古
 下地理事より、県薬会長、副会長に御出席いただき、インターネット問題、離島とのテレビ会議等について活発な意見交換が行われたと報告された。
 吉田副会長より、7月か8月の幹事会の時に福岡、県薬を結びテレビ会議のデモンストレーションを予定していると報告された。
- (12) **那覇地区薬剤師会総会、講演会、懇談会** 5月19日（日）県薬
 姫野理事より、予算、決算が承認され、講演会では、Dr.久高のマンマ家クリニックの久高先生による「コミュニケーションは人間力」をテーマに講演頂き、大変好評であったと報告された。
- (13) **沖縄県体育協会スポーツ医科学委員会役員来訪** 5月20日（月）県薬
- (14) **社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 審査委員会**
 5月20・22・31日（月・水・金）社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会室
- (15) **保険薬局部会役員会** 5月21日（火）県薬
 川上理事より、6月30日（日）の総会について打合せした。特別講演でメディカルグリーン代表取締役社長大澤光司先生の「在宅医療における薬剤師のすてきな役割」を予定していると報告された。
- (16) **臨時幹事会** 5月22日（水）県薬
- (17) **第1回薬剤師のためのフィジカルアセスメント講習会**
 5月22日（水）沖縄クリニカルシミュレーションセンター
 笠原理事より、開局薬剤師のフィジカルアセスメントワーキングのチームリーダーは笠原理事、2ヶ月に1回開催する。各地区からの受講者は、中部地区は、調整中、那覇地区2名（中尾滋久先生、備瀬愛実先生）、南部地区1名（松本圭五）であと1枠は、中部地区と南部地区で調整すると報告された。
- (18) **個別指導（2薬局）** 5月23日・6月13日（木）県庁
- (19) **社会保険診療報酬支払基金沖縄支部第二次審査委員会**
 5月23日（木）社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会室
- (20) **沖縄県薬剤師会第68回通常総会・懇親会** 5月26日（日）県薬 <資料配布>
- (21) **沖縄県薬剤師会臨時理事会** 5月26日（日）県薬

- (22) 八重山地区への医薬品卸会社の出店要請について 5月27日(月)(株)ダイコー沖縄
神村会長より、八重山地区薬剤師会総会に出席した際に、山城八重山地区会長と共に中山石垣市長に相談した。その後、早速市長からの呼びかけで市長、県薬会長、八重山地区会長で医薬品卸業協会会長を訪問し要請した。医薬品卸業協会会長より前向きに検討するとの回答があったことが報告された。
- (23) 無菌調剤室の視察 5月27日(月)福岡県
- (24) 薬学生実務実習 5月28日(火)県薬
我喜屋理事より、第1回平成25年5月12日、第2回平成25年6月16日に開催、参加人数は20名から30名の予定である。薬学実務実習は、10施設で11名の薬学生が実習していると報告があった。
- (25) 管理者会議 5月28日(火)県薬
- (26) 薬業連合会監査 5月29日(水)県薬
- (27) 平成25年度 第1回広報委員会 5月29日(水)県薬 <資料配布>
宮城常務理事より、「熟年の集い」が9月1日に開催する件、「グッジョブサマースクール」に7月27・28日天久小学校にて参加する件。また広報委員会委員の構成については宮城担当理事が委員長に就任、亀谷現委員長も委員として残ってもらい、石川恵市先生、伊差川サヤカ先生、伊敷松太郎先生が新たに加入すると報告された。
- (28) 第6回スキルアップ研修会 5月30日(木)県薬 <資料配布>
- (29) 平成25年度 沖縄県「ダメ。ゼッタイ」普及運動実行委員会
5月31日(金)沖縄レインボーホテル <資料配布>
- (30) 薬物乱用防止協会理事会 5月31日(金)沖縄レインボーホテル <資料配布>
前濱常務理事より、県からの補助金、3師会からの寄付金と会員からの会費で運営していることが報告された。
- (31) 沖縄県病院薬剤師会総会 6月1日(土)ホテルロイヤルオリオン
- (32) 学校薬剤師部会総会 6月2日(日)県薬 <資料配布>
前濱常務理事より、部会役員の改選があったこと等が報告された。
- (33) 九州ブロック日薬代議員予備会議 6月3日(月)福岡県薬 <資料配布>
吉田副会長より、日薬総会に向けて代表質問は福岡県が行う。内容は薬局法人制度の創設、会員間システムの構築、調剤システム電子版「おくすり手帳」等についてだったと報告された。
神村会長より、ある調剤薬局経営者の個人所得6億円、税金申告漏れ20億円等で儲けすぎでないかと医薬分業に対するバッシングが出ている。法人化に向けて真剣に議論する必要があるのではないかと述べられた。
- (34) 薬業連合会代表者会議 6月4日(火)沖縄都ホテル <資料配布>
神村会長より、6月26日(水)沖縄都ホテルで理事会・総会及び懇親会が開催予定。
理事会・総会には、神村会長、松山副会長、吉田副会長、田場専務理事の参加、懇親会からは、常任理事まで参加のお願いがされた。
- (35) 沖縄県福祉保健部健康増進課より来訪 6月4日(火)県薬 <資料配布>
吉田副会長より、こども医療助成費の自動償還が来年1月より開始予定。秋頃に各薬局に連絡される予定である。
- (36) 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部幹事会
6月5日(水)社会保険診療報酬支払基金沖縄支部

- (37) 平成25年度第1回スポーツファーマシスト委員会 6月5日(水) 県薬 <資料配布>
 笠原理事より、沖縄県体育協会スポーツ医・科学委員会のスポーツファーマシスト部会として参加する件、当委員会の委員構成について、D I 担当理事の松山副会長に加入依頼する件、活動する上で、当委員会をこれまでの開局委員会の小委員会からD I 運営委員会の小委員会への移動を提案する件、また医・科学委員会の活動において、県薬非会員の取扱いについて再考する件が報告された。

開局委員会の小委員会からD I 運営委員会の小委員会への移動の件は、了承された。

- (38) 那覇市保護管理課より来訪 6月6日(木) 県薬 <資料配布>
 神村会長より、生活保護法の指定を受けている薬局に、生活保護受給者に対する後発医薬品の使用促進協力の依頼がきている。「生活保護受給者への先発医薬品の調剤状況の提出」は手間がかかると思われる。案内資料は、那覇市内は配布済み、浦添市、その他の地区は後日配布されると報告された。

- (39) 日本スポーツ振興センターより来訪 6月6日(木) 県薬
 議題4にて説明

- (40) 琉球放送局員とのテレビスポットCM製作についての打ち合わせ

6月6・7日(木・金) 県薬

宮城常務理事より、医薬品のインターネット販売に反対する意見広告事業について地方紙2社に広告掲載を検討したが、広告掲載料が高額であるため、テレビスポットCMで当該事業を進めることにし、RBC営業局(提案)とRBCビジョン(制作)の各担当者と打合せに入ったことが報告された。

- (41) 沖縄県社会保険診療報酬請求審査委員会 委員改選に伴う審査委員懇談会

6月6日(木) ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー

神村会長より、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会の会長も招待された。審査員は52名で、薬剤師は仲真先生、宮城先生、照屋先生が再任されたと報告された。

- (42) 平成25年度第1回薬剤師学術研修委員会 6月7日(金) 県薬 <資料配布>
 亀谷常務理事より、本年度の事業計画の「新任・新人薬剤師研修会」を7月21日(日) 県薬にて開催する。従来のプログラムに新しく「フィジカルアセスメントについて」を追加する。

県薬学術大会については11月24日(日)に決定。演題申込ご協力をお願いが述べられた。

- (43) 無菌調剤室検討会議 6月7日(金) 県薬
 (44) 平成25年度第2回都道府県会長協議会 6月8日(土) 日薬 <資料配布>
 (45) 日本薬剤師会創立120周年記念式典、祝賀会 6月9日(日) 帝国ホテル

神村会長より、感謝状が日薬創立100周年以降の歴代都道府県薬会長と日薬代議員の新垣正次氏、大城桂子氏、喜納政利氏、神村武之氏、友利弘一氏、江夏京子氏、比嘉真三氏、吉田洋史氏に贈られたと報告された。

- (46) 中部地区薬剤師会総会 6月9日(日) 沖縄市福祉文化プラザ
 田場専務理事が会長代理にて出席したことが報告された。

- (47) 保健福祉委員会 6月11日(火) 県薬 <資料配布>
 笠原理事より、禁煙サポート薬局(新規・更新)の認定、薬剤師のためのフィジカルアセスメント講習会、健康おきなわ21、県民健康フェア8月18日(日)開催について協議されたことが報告された。

- (48) 沖縄県福祉保健部 健康増進課より来訪 6月12日(水) 県薬
議題5にて説明
- (49) しごとミュージアム準備会議 6月13日(木) 県薬
宮城常務理事より、7月11日の「しごとミュージアム」参加するための準備会議を開催したことが報告された。
- (50) 医薬分業対策委員会 6月13日(木) 県薬 <資料配布>
江夏常務理事より、医薬分業対策会議が8月25日(日)に開催する件、医薬分業対策担当全国会議が7月7日(日)で池間委員長と川上委員が参加する件、医薬分業対策委員会研修会(SGD)が12月15日(日)に開催する件が報告された
- (51) 平成25年度厚生労働省予算事業「在宅医療提供拠点薬局整備事業」について(情報) <資料配布>
吉田副会長より、クリーンベンチ、安全キャビネットの両方設置の予定で湯山、高園、TOSHIOの3社に再見積もり依頼、6月27日にプレゼンテーション予定と報告された。
- (52) 公益法人改革 都道府県薬剤師会、地域薬剤師会 移行状況一覧 <資料配布>
- (53) 第19回医療経済実態調査(医療機関等調査)の実施について(協力依頼) <資料配布>
神村会長より、全国約5万件の薬局から9,519件の薬局が抽出されて調査対象となっていると報告された。
- (54) 平成25年度沖縄県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の
6.26ヤング街頭キャンペーンにおける動員方について <資料配布>
理事の皆様の積極的なご参加よろしくお願い致します。
- (55) 沖縄戦殉職医療人の碑へ慰霊(6月22日予定)について <資料配布>
理事の積極的な参加がお願いされた。
- (56) 一般用医薬品インターネット販売に関するご意見 <資料配布>
神村会長より、一般の方からのインターネット販売について苦情があり、長崎県からも似たような苦情があったと報告された。
- (57) 「薬と健康の週間」くすりと健康フェア(県民公開講演会)特別講師について <資料配布>
- (58) 薬局開設における事例について
あるクリニックが院外処方発行にむけて相談を持ちかけて話を進めていき、直前にキャンセルとするという事例を何度も繰り返していることについて注意喚起された。

報告(薬連)

- (1) 比嘉奈津美氏へのインターネット医薬品販売規制緩和反対の陳情
5月12日(日) リーガロイヤルグラン沖縄
- (2) 國場幸之助氏へのインターネット医薬品販売規制緩和反対の陳情
5月13日(月) 國場幸之助後援会事務所
- (3) 参議院議員選挙立候補予定 安里政晃氏への推薦状交付
5月23日(木) 沖縄明るい未来を創る県民の会
- (4) 沖縄明るい未来を創る県民の会設立総会、事務所開き
5月23日(木) 沖縄明るい未来を創る県民の会
- (5) 沖縄県薬剤師連盟総会 5月26日(日) 県薬

(6) 宮崎政久氏訪問（インターネット販売問題についてのお礼）

6月13日（木）宮崎政久後援会事務所

(7) 九州・山口薬剤師連盟会議

6月14日（金）大分県薬

(8) その他

議題

(1) 理事の担当職務について

＜資料配布＞

理事担当職務（案）について担当役員職に付け加えることがあれば6月末日までに事務局連絡し、理事会で検討することになった。

(2) 各種委員会の委嘱について

＜資料配布＞

各地区、部会より選出される委員（空白枠口）について、担当理事は再度各地区及び部会より、6月末日までに委員を推薦して事務局に連絡すること。7月の理事会で検討する。今回提案された委員については、了承された。

(3) 第75回九州山口地区薬学大会について

＜資料配布＞

本年の九州山口薬学大会（佐賀県）に、例年どおり、参加者に研修激励のため、補助金を交付することが承認された。内容は、一人2万円、但し予算上限額が40万円で、20人を超えると40万円を頭数で割った額になる。

(4) 独立行政法人日本スポーツ振興センター業務運営会議委員の選定について

＜資料配布＞

独立行政法人日本スポーツ振興センター 学校安全部が関係団体からのニーズ・意見を踏まえ作成した事業改善案に対し、有識者の意見及び助言の聴取を行い、学校安全事業の改善を図ることを目的として「独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議」に学校薬剤師部会から一人委員を推薦してもらい、運営会議に参加させることが承認された。

(5) 沖縄県新型インフルエンザ等対策専門家会議委員について

＜資料配布＞

沖縄県福祉保健部健康増進課結核感染症より沖縄県新型インフルエンザ等対策専門家会議委員会（案）に沖縄県薬剤師会から委員を1名参加させて欲しいという依頼があり、田場専務理事が参加することが承認された。

(6) 代議員補欠選挙（3人欠員の為）の件 ※事務局案：平成25年12月頃選挙

代議員3人欠員のため、補欠選挙を事務局案の通り、平成25年12月頃行うことが承認された。

(7) 一般社団法人の公益電子申請について

＜資料配布＞

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律施行規則第33条第1項の規定により、別紙のとおり公益目的財産額の確定に関し、必要な書類を提出することが承認された。

転載記事

会員の高江洲はつよ先生が紹介されていました。

2013/6/13 (木曜日) 第1354号

女性のためのライフアップ情報紙

週刊 ほへむぷらざ

Anniversary
60
形成会
当山美容外科
医学博士 当山 護
〒900-0013 那覇市久茂地2-11-18(一・三・五曜) ☎867-2093
http://www.touyama.com E-Mail info@touyama.com
日本形成外科学会認定医 日本美容外科学会専門医
日本医療従事者協会正会員 日本美容学会正会員
国際形成外科学会正会員 国際美容外科学会正会員



1080 彩職賢美

起業の第一歩 「祭り」で応援

「楽しんじゃってくだ祭」主催
薬剤師・リンパセラピスト
高江洲 はつよさん
(2面に記事)

撮影/比嘉秀明

今週の
おすすめ

女子力UPに必須! 「ペディキュア」 街角おしゃれ通信
出産・育児時の給付や支援を活用 私らしい働き方を見つけよう!
ユッカヌフィーのポーポーとチンピン ごちそうレシピ

<紙面案内は3面に。インフォメーションコーナーは31面から28面まで>

発行 株タイムス住宅新聞社
〒904-2234 沖縄県うるま市州崎7-14
http://www.jpresse.co.jp
☎098-934-1122(代) ☎098-934-2295(編集部)

沖縄タイムス ■■■■
本紙は「沖縄タイムス」とセットで配達される
副読紙です。購読の申し込みは上記の電話へ。

「第1回 楽しんじゃってくだ祭」の様子。はつさんは自身は出店せず「徹底的に裏方に回り、全力でサポートします」と力強い言葉（写真提供／高江洲はつよ）

「楽しんでやってくだ祭」は、セラピストや雑貨・菓子などのハンドメイド作家など「自分のサロン(店)を持ちたい方々のプレショップになれば」と高江洲はつよさんが企画・開催。年2回のペースで、今月23日に7回目を開催。一つでも多くの「楽しかった」のため、準備に奔走中だ。



高江洲さんのハッピーの種類

Q. イベントの裏方として意識していることは？

A. 楽しんでもらうためなら、何でもやりますよー。私、実はナレーターやMCを養成する学校に通っていたんです。だから、「こちらのお店って？ 四時なら予約が空いている？ 皆さん！ 早い者勝ちですよ!!」ってマイクパフォーマンスもします(笑)。あとは、催札やメニュー用の紙やペンも常に持っていて、困っている出店者にはサッとサポート。忍者のように目を光らせています！

Q. 忙しい毎日で、ストレス発散は？

A. ドライブです。あてもなく運転するのが好きで、沖縄県内で一日300km走らせたこともあります。子供たちに読み聞かせするのめ癒やしの時間です。沖縄の絵本を読み聞かせをすることで、私も方言や文化の勉強をさせてもらってます。

◆第7回「楽しんじゃってくだ祭」

日時／6月23日（日）10時～17時

浦添市産業振興センター「結の街」にて

出店者などの情報はブログで確認を

<http://lucis07.ti-da.net>

問い合わせ先はlucis99h@gmail.com



ホ

ポ スターを手に「いろんな来店者がいて、とっても楽しいイベントなので、遊びに来てください！」と、満面の笑みと大きなアクションで集客に駆け回るはずよさん。本業である薬剤師とリンパセラピストの仕事の合間に主催する「楽しんじやってく

「だ祭」の準備や広報に奔走している。

“柔らかなイベント名に反し、小さな起業家を世に出す”

という固い信念のもと、年々回のペースで開催。今月23日に第7回を迎える。セラビストやハンドメイド作家、ネイリストなど「自分のサロン(店)を持ちたいけど踏み出せない」とためらっている人々が客と接し、「私にも出来る！」と空のステッブを登っていく。中には起業に至った人もおり、着実に実を結びはじめている。「主婦だから、子育て中だから」、出来ない理由について

福岡から沖縄に移住してきた当初、文化の違いになじまず「もう帰りたい」と、空港に車を送らせたこともあった。そんな自分を変えたいと、リンバセラビのスクールに通って資格を取り、自身も講師を務めるまでになった。

ある日、近所の雑貨屋で「ヤール」がない時期は、店に空きスペースで寝て寂しい」と、リンバの話聞いた。そして、リンバの生徒たちからは「サロンを開きたいけど」という声。

場所になるはず！、第1回は30ブラスの出店者を集め、手書きのチラシを配布して集客に努めた。そのとき、すでに第2回の準備にも動いていたというから、本気度が伺える。

「正直、第5回あたりはきつかったのですが、私の名前、はつよは、この祭りのコンセプト」「世に発する（発世）」に重なる。私の生き方に合っているみたい。この前向きパワーが、祭りの核なのだと感じた。

（東江菜穂）

小さな起業家を世に出す



PROFILE

たかえす・はつよ 1972年福岡
県出身。薬学部卒業後、98年沖縄に
移住。2人の子供を出産し、2005年
にリンパセラピストの資格を取得。
薬剤師をしながらリンパセラピスト
資格取得スクールを開校。10年より
「楽しんじやってくだ祭」を主催。
現在は、フリーのセラピスト、「沖縄
県薬剤師会会堂薬局とよみ」の薬
剤師をしながら同祭の運営を行う。

「バズルのピースがヒタツ」とはまるように人と場所がかみ合ったんです。そうだと、イペントをやるうー」と決意。知人も少ない沖縄で「無謀だ」という人もいた。「私の父」と兄も福岡で街づくりに取り組んでいました。その背中を見てきたから、私にも出来るはず。もう逃げるのはやめた。」

※発行元（編集出版社）のご許可を得て転載しています。

転載記事

会員の砂川智子先生が紹介されていました。

琉球大学医学部第一内科
 琉球大学大学院医学研究科 感染制御医科学専攻
 感染制御特別コース 感染症・呼吸器・消化器内科学

研究内容・国際貢献の紹介

- 研究内容・国際貢献TOP
- 大学院の紹介
- 研究助成の紹介
- 学位取得者の紹介
- 第一内科雑誌・書籍
- 学会賞など
- 国際貢献
- 新聞記事の紹介
- 感謝状

第一内科の研究内容をご紹介します

大学院の紹介
 大学院をご紹介します

研究助成の紹介
 研究助成のご紹介

学位取得者
 平成18年以降の学

金時計と一緒に

現在大学院生11名（医師7名、薬剤師2名、看護師1名、教育学部から1名）

ホームページを見ている日本中の皆様へ

このたび、私、砂川智子（琉球大学医学部附属病院薬剤部所属）32歳（申年）は、琉球大学第一内科の社会人大学院生として修士課程を卒業することができました。また、同時に名誉ある学長賞を頂くことができました。記念品として金時計を頂きました（＾＾）

私は、修士課程の2年間で「結核と糖尿病との関連」をテーマに、基礎的検討と臨床的検討の両面から研究を行ってきました。また、沖縄県では独特の流行形態を示すインフルエンザ感染症についてもインフルエンザ感染症の治療、および予防の観点から、より適切な抗ウイルス薬の使用方法についての研究も合わせて行ってきました。

これも、薬剤部の所属である私を大学院生として心よく受け入れていただきました藤田次郎教授、大きな心でいつも色々な分野に手を出して研究の寄り道ばかりしていた私を応援、御指導いただきました比嘉太講師、そして学友としていつも励ましあえた伊波義一先生のおかげです。また、第一内科の感染症・呼吸器グループの先生方だけではなく、消化器グループの先生方にも発表内容について御指摘をいただいたり、アイデアを頂いたり、頑張っているねーと褒めていただいたり、ひーじゃー会に呼んでいただいたり（山羊尽くしの飲み会）、第一内科医局の秘書さんや薬剤部の皆様（特に潮平英郎先生）にも言葉に出来ないくらいたくさん支えて頂きました。これから博士課程へ進みます。博士課程でも結果を残し、頑張ること、御尽力頂いた皆様への恩返しにしたいと考えています。

社会人大学院生をしていると、『仕事との両立、大変でしょー？偉いねー！』と、言われていますが、私自身は大変だと思っていませんでした（御指導いただいた先生方は大変だったかも知れませんが…笑）。むしろ、薬学部を卒業し、薬剤師として経験を積んだ今、この瞬間に興味のある感染症と糖尿病をテーマに研究ができ、結果を積み重ねることができたことが嬉しくて、楽しくて、幸せだと感じていたくらいです。それで、偉いと褒められるのでなおさらラッキーです。

大学院で勉強できたことで、薬剤師としてより深く、患者さんや疾患についてさまざまな角度から考えることができるようになったと考えています。医師以外の職業では、学位取得が重要でない方もいるかもしれませんが、人生80年のうちの少しの時間なのでぜひ寄り道（？）して、大学院生活を経験してほしいと思います。第一内科では、感染症・呼吸器・消化器に関連した多くの研究が可能です。普段の業務から出る疑問点や興味のあることに対して素晴らしい先生方と研究に取り組むことができます。関心のある方は、お気軽に連絡下さい♪一緒に頑張りましょう！！

学位記と一緒に（藤田次郎教授の部屋で）

琉球大学大学院医学研究科、感染制御医科学専攻 感染症・呼吸器・消化器内科学講座
 同大学附属病院看護部 10西病棟 看護師 伊波 義一

病棟にて、悪性腫瘍、膠原病などを持つ患者さんと関わりその中で、創傷に対する外科的な感染、皮膚疾患における感染症、免疫不全疾患や腎移植に伴う易感染状態、呼吸器・消化器の内科的疾患や感染症疾患を経験し、疾患、治療へのさらなる知識を得たいという思いと、研究への視点、手法、分析を学び習得したいと考えがあり進学を決めました。

修士課程では、比嘉太先生、藤田次郎教授をはじめ多くの第一内科の先生方、保健学科の大湾知子先生、同期の薬剤師の砂川智子先生、よりご指導をいただきながら、さらに、勤務病棟の本永師長を始め下地副師長、同僚スタッフ、皮膚科、泌尿器科医師らの支援もいただき「勉強」・「研究」・「実践」と大変充実した日々を送らせていただきました。

比嘉先生、藤田教授の心強い後押しもあり、博士課程へと現在進んでいます。患者さんの「不安」の軽減や、「日々のケア」へ学んだ知識、技術を生かし、また、多くの方々からの支援を無駄にしないよう、病院内外でも地域のみならずへ貢献ができるように頑張っていきたいと思っています。

※発行元（編集出版社）のご許可を得て転載しています。

平成25年 6 月

- 1 土○**沖縄県病院薬剤師会総会** ホテルロイヤルオリオン
 - 第10回沖縄小児内分泌研究会 ホテル日航グランドキャッスル 共催：日本ケミカルリサーチ(株)
- 2 日○**学校薬剤師部会総会** 県薬研修室・ホール
- 3 月○九州ブロック日薬代議員予備会議 福岡県薬剤師会館 神村会長、吉田副会長
- 4 火○**沖縄県薬業連合会代表者会議** 沖縄都ホテル 神村会長、稲福係長
 - 沖縄県福祉保健部健康増進課より来訪 県薬会長室 神村会長
- 5 水○**社会保険診療報酬支払基金沖縄支部幹事会** 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 神村会長
 - 平成25年度第1回スポーツファーマシスト委員会 県薬会議室
- 6 木○**那覇市保護管理課より来訪** 県薬会議室 田場専務理事、山城課長
 - 日本スポーツ振興センターより来訪 県薬会議室 田場専務理事
 - 琉球放送局員とのテレビスポットCM製作についての打ち合わせ 県薬研修室 宮城理事、大城係長
 - 第11回心身医学学術講演会 ザ・ナハテラス 共催：Meiji Seika ファルマ(株)
 - 沖縄県社会保険診療報酬請求審査委員会 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 神村会長、吉田副会長
 - 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 社会保険医療担当：仲真良重氏
- 7 金○**琉球放送局員とのテレビスポットCM製作についての打ち合わせ** 県薬研修室 宮城理事、大城係長
 - 平成25年度第1回薬剤師学術研修委員会 県薬研修室
 - 無菌調剤室検討会議 県薬会議室
- 8 土○**平成25年度第2回都道府県会長協議会** 日薬 神村会長
 - 第1回うちなゐがん薬一薬連携講演会 (株)ダイコー沖縄 共催：特定非営利活動法人よりよい地域医療を応援する会
- 9 日○**日本薬剤師会創立120周年記念式典・祝賀会** 帝国ホテル本館 神村会長、吉田副会長、江夏常務理事、吉田久子幹事長
 - 中部地区薬剤師会総会 沖縄市福祉文化プラザ 田場専務理事(挨拶)
- 11 火○**第4回沖縄動脈硬化予防研究会** ザ・ナハテラス 共催：バイエル薬品(株)
 - 保健福祉委員会 県薬研修室
- 12 水○**沖縄県福祉保健部健康増進課より来訪** 県薬会議室 田場専務理事、山城課長
 - 平成25年度第3回定例幹事会 県薬会議室
- 13 木○**個別指導(2薬局)** 県庁 社会保険医療担当：仲真良重氏、吉田副会長
 - 琉球放送局員とのテレビスポットCM製作についての打ち合わせ 県薬研修室 宮城理事、大城係長
 - しごとミュージアム準備会議 県薬会議室 宮城常務理事、笠原理事、我喜屋理事、石川理事、大城係長
 - 医薬分業対策委員会 県薬研修室
- 14 金○**八重山地区薬剤師会研修会** 大濱信泉記念館 講師：笠原理事

- 15土○平成25年度第3回定例理事会 県薬研修室
- 16日○**認定実務実習指導薬剤師養成講習会** 県薬研修室
- 南部地区薬剤師会総会 (株)アトル 沖縄営業部 神村会長 (挨拶)
 - 北部地区薬剤師会総会 ホテルゆがふいんおきなわ
- 17月○平成25年度第1回医薬品事故・過誤対策委員会 県薬研修室
- フィジカルアセスメントワーキングチーム会議 県薬会議室
- 18火○会計監査(一般会計) 県薬研修室 仲程みちの税理士、事務局宮城
- 19水○日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部総会 (株)琉薬
- 20木○平成25年度財団法人沖縄県看護学術振興財団第1回理事会 沖縄県立看護大学 神村会長
- 保険薬局部会研修会** (株)アトル沖縄支店
 - 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部
社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
- 21金○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 社会保険医療
担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
- 実務実習(学校薬剤師について)補修 県薬研修室 講師：笠原大吾
 - 第2回夜間頻尿セミナー ラグナガーデンホテル 共催：グラクソ・スミスクライン(株)
 - 第1回 Novel Oral Anti Coagulant (NOAC) 講演会 ザ・
ナハテラス 共催：バイエル薬品(株)
- 22土○沖縄戦殉職医療人の碑へ慰霊 ひめゆりの塔構内 神村会長、田場専務理事、笠原理事、
久場トヨ氏、長田紀昭氏、大城係長
- 熱中症フォーラム2013 ―市民公開講座― 国立劇場おきなわ 共催：(株)大塚製薬
工場
 - 学術講演会 ホテルロイヤルオリオン 神村会長(座長)・田場専務理事 共催：(株)沖
縄大洋薬品
- 23日○**第108回健康とおくすり相談会** イオン那覇店 担当：那覇地区薬剤師会
- 24月○沖縄県口腔保健医療センター起工式 建設予定地(南風原町字新川上原218-1)
神村会長
- 三師会会長意見交換会 リーガロイヤルグラン沖縄 神村会長、宮城会長(医師会)、
比嘉会長(歯科医師会)
- 25火○豊平峰雲「沖縄タイムス賞受賞・個展開催祝賀会」 ザ・ナハテラス 神村会長
- 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部
社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
 - 保険薬局部会役員会 県薬会議室
 - 青年部会役員会 県薬部会室
- 26水○沖縄県薬業連合会(理事会・総会・懇親会) 沖縄都ホテル 神村会長、松山・吉田両副
会長、田場専務理事、事務局稲福係長・金城
- 沖縄県病院薬剤師会学術講演会 県薬ホール 共催：ノバルティスファーマ(株)
 - 第2回薬剤師のための在宅支援プログラム(フィジカルアセスメント講習会) 沖縄クリニ
カルシミュレーションセンター 笠原・川上各理事、上原幸代氏、他5人(各地区より推薦)
- 27木○個別指導(2薬局) 県庁 社会保険医療担当：仲真良重氏
- 薬学生実務実習(DI業務) 県薬DI室

27木○無菌調剤室検討会議 県薬会議室

○琉球放送テレビCM撮影 会営薬局医療センター前・キセ薬局・琉球放送 神村会長、田場専務理事、宮城常務理事、城間会営薬局医療センター前薬局長、喜瀬聡氏、上間秀子氏、武村博子（試験検査センター）、金城大志（D I 金城みどり氏子息）、大城係長

28金○健康づくり推進協議会 全国健康保険協会沖縄支部 吉田副会長

○くすりと健康フェア調整会議 県庁 山城課長、稲福係長

29土○平成25年度日本薬剤師会定時総会（30日迄） ホテルイースト21東京 神村会長、吉田副会長

○「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26ヤング街頭キャンペーン パレット久茂地前イベント広場・ジャスコ名護店前・北谷町美浜多目的広場・マックスバリュートよみ前・サンエーショッピングタウン宮古島店前・サンエー石垣店前 田場専務理事、亀谷常務理事、前濱理事、県薬職員

30日○保険薬局部会総会・講演会 県薬研修室

平成25年 7月

2火○エビリファイ学術講演会 ロワジールホテル那覇 共催：大塚製薬(株)

○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会室 社会保険医療担当：仲真良重氏

3水○なごみ会県民健康フェア実行委員会 沖縄県医師会館 笠原理事、稲福係長

4木○薬学生実務実習（D I 業務について） 県薬D I 室

○平成25年度第1回地域医療支援病院運営委員会 豊見城中央病院 神村会長

○フィジカルアセスメントについての打合せ会 県薬会議室 笠原・川上各理事、上原幸代氏、稲福係長

○第6回沖縄B型肝炎セミナー ラグナガーデンホテル 共催：ブリストル・マイヤーズ(株)

6土○九州山口薬剤師会研修会 福岡国際ホール 神村会長、田場専務理事、吉田久子氏、城間盛光氏、西川裕氏

7日○平成25年度女性薬剤師部会総会・第13回漢方講座 県薬ホール

○平成25年度医薬分業対策担当者全国会議 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 川上善久・池間記世（医薬分業対策委員会）

9火○グラクソ・スミスクラインより来訪 県薬会議室 田場専務理事

○平成25年度沖縄県警察官友の会役員会（総会）ならびに警察幹部との情報交換会 サザンプラザ海邦 大城桂子監事

○なごみ会主催県民健康フェア第1回県薬実行委員会 県薬研修室 保健福祉委員会、開局委員会、女性薬剤師部会、青年部会

10水○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部幹事会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 神村会長

○関節リウマチ治療薬適正使用セミナー ザ・ナハテラス 共催：アステラス製薬(株)

○第5回OPEN学術講演会 沖縄県医師会館 共催：グラクソ・スミスクライン(株)

○平成25年度第4回定例幹事会 県薬会議室

11木○個別指導（2薬局） 県庁 社会保険医療担当：宮城幸枝氏

○2013沖専各適正・適職・職業体験フェスタ「しごとミュージアム」 沖縄コンベンションセンター展示棟 宮城・前濱・石川・笠原・我喜屋各理事、実務実習生、大城係長

- 11木○沖縄県新型インフルエンザ等対策有識者会議（第1回） 自治会館 田場専務理事
○第9回沖縄上部消化管の炎症を考える会 ザ・ナハテラス 共催：大塚製薬(株)
○全国調剤担当審査委員会 東京 社会保険医療担当：仲真良重氏
- 12金○アクテムラ発売5周年・皮下注新発売記念講演会 ホテル日航那覇グランドキャッスル
共催：中外製薬(株)
○睡眠と生活習慣フォーラム 沖縄県医師会館 共催：MSD(株)
- 13土○薬学生実務実習（災害での薬剤師活動） 県薬研修室
○平成25年度第4回定例理事会 県薬ホール
- 14日○第45回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ（薬学教育者ワークショップ） in
九州・福岡（15日迄） 福岡大学薬学部棟 古謝真己氏、平良奈緒子氏、中尾滋久氏、
橋本裕行氏、山城巨佳氏
- 17水○沖縄県薬剤師学術講演会 ホテル日航那覇グランドキャッスル 共催：大塚製薬(株)
○グッジョブサマ〜スク〜第1回準備会議 県薬会議室 神村会長、宮城・前濱・笠原・
我喜屋・石川各理事、鈴木一徳（青年部会副部会長）、大城係長
- 18木○個別指導（2薬局） 自治会館 吉田副会長
○沖縄県後期高齢者医療制度運営懇話会 沖縄県後期高齢者医療広域連合 江夏常務理事
- 19金○平成25年度第1回沖縄県自然環境保全審議会自然公園・温泉部会及び現地調査 部会
（県庁会議室・金武町役場会議室）・現場確認（那覇市・南城市・金武町） 宮城理事
○第4回沖縄疼痛研究会 カルチャーリゾートフェストーネ 共催：久光製薬(株)
○第5回沖縄精神科再発予防研究会 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー
共催：ヤンセンファーマ(株)
- 21日○平成25年度新任・新人薬剤師研修会 県薬ホール
○実務実習生交流会 県薬研修室
- 22月○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査
委員会室 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
- 23火○平成25年度第2回沖縄県自然環境保全審議会自然公園・温泉部会及び現地調査 部会
（宮古合同庁舎3階会議室）・現地調査（宮古島市城辺） 宮城理事
○会計監査 県薬会議室 事務局金城
○平成25年度第2回スポーツファーマシスト委員会 県薬会議室
- 24水○第2回九州山口各県薬代表者会議 福岡県薬剤師会館 神村会長、吉田副会長
○フィジカルアセスメント学術講演会 県薬ホール 共催：テルモ(株)
○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査
委員会室 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
- 25木○沖縄県新型インフルエンザ等対策有識者会議（第2回） 自治会館 田場専務理事
○在宅小委員会 県薬会議室
○社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部審査
委員会室 社会保険医療担当：仲真良重氏・宮城幸枝氏・照屋林一郎氏
- 26金○グッジョブサマ〜スク〜第2回準備会議 県薬研修室 宮城・笠原各理事、鈴木一徳・
佐川和徳（青年部会役員）
○医療保険委員会 県薬会議室
○第5回沖縄前立腺癌研究会 ザ・ナハテラス 共催：アストラゼネカ(株)

- 28日○グッジョブサマ〜スクール 那覇市立天久小学校 宮城・笠原両理事、鈴木一徳・佐川和徳（青年部会）、大城係長
- 30火○管理者会議 県薬研修室
- 第3回沖縄糖尿病最新治療薬コンgres A N Aクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー
共催：ノバルティスファーマ(株)

沖縄県薬剤師連盟会務報告

平成25年6月

- 13木○宮崎政久後援会事務所訪問 宮崎政久後援会事務所 田場常任総務、事務局山城
- 14金○九州・山口薬剤師連盟会議 大分県薬剤師会 神村会長、事務局山城
- 19水○平成25年度 第3回全国会長・幹事長拡大会議 スクワール麹町 田場常任総務・吉田洋史総務
- 24月○沖縄明るい未来を創る県民の会 役員会議 沖縄明るい未来を創る県民の会 神村会長、事務局山城
- 26水○参議院議員通常選挙比例代表公認候補 沖縄県担当事務局会議 自由民主党沖縄県支部連合会事務局 事務局山城
- 28金○沖縄明るい未来を創る県民の会 第一回実務者会議 沖縄明るい未来を創る県民の会 事務局山城

平成25年7月

- 2火○仲井眞知事を囲む朝食会 A N Aクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 神村会長
○衆議院議員國場幸之助「国会活動激励の集い」 ホテル日航那覇グランドキャッスル
神村会長・吉田幹事長
- 4木○安里政晃出陣式 安里政晃選対本部前広場 吉田幹事長、事務局山城
○安里政晃後援会第2回実務担当者会議 安里政晃選対本部 事務局山城
- 8月○衆議院議員鴨下一郎氏来訪 県薬会長室 神村会長、田場常任総務
- 10水○安里政晃総決起大会 那覇市民会館 事務局宮城・上原
- 11木○安里政晃後援会第3回実務担当者会議 安里政晃選対本部 事務局山城
- 13土○薬局薬店訪問（木村隆次氏と共に） 各薬局薬店（18件） 神村会長、吉田幹事長、木村隆次氏、事務局山城
○木村隆次氏と語る会 県薬研修室
- 15月○厚生労働大臣田村憲久氏との懇談会 ロワジールホテル那覇 神村会長、田場常任総務、吉田総務
- 16火○安里政晃総決起大会 沖縄コンベンションセンター劇場棟 神村会長、田場常任総務、吉田総務、事務局山城
- 18木○薬局薬店訪問（渡嘉敷奈緒美氏と共に） 各薬局薬店（15件） 神村会長、渡嘉敷奈緒美氏、事務局山城
- 20土○安里政晃打ち上げ式 むつみ橋交差点（那覇市） 神村会長、吉田幹事長、城間副幹事長、田場常任総務、吉田総務、事務局山城・稲福
- 29月○沖縄県薬剤師連盟総務会 県薬研修室

ユンタク、ヒンタク

なんという猛暑だ。この夏は8月に入って四国や関東で40度を超え、沖縄でも36度を記録した。そのうえ全く雨が降らない。いつ断水になるかとヒヤヒヤである。4, 5, 6月に雨が多く降ってダム貯水量がまだ維持できているので何とか持っているが、これ以上続くと危うい。記録をとり始めてから最大の小雨記録だという。キビなどは立ち枯れし、宮古ではバッタが異常発生したとのことである。農家の皆さんは悲鳴をあげている。かと思ったら東北地方や九州・山口などは気象観測始まって以来のこれまた記録的な大雨で、「かつて経験したことのない大雨」という用語が付けられた。そして、「命を守る行動をとって下さい」というフレーズが付けられる有様である。洪水や土石流で生命と家屋などが沢山失われている。一体、日本列島はどうなっているのだ。いや、地球はどうなる。人間が作り出す二酸化炭素による温暖化。人間は自分で自分の首を絞めることになるのか。心配なことだ。

こんな中、終戦から68年が過ぎて戦争の悲劇を風化させてはならないと、戦争体験者の人達の声が沸き上がっている。ここ沖縄では、「沖縄戦を未来に伝えよう」と、戦争がどんなに悲惨なものか、そして今の平和がどんなに素晴らしいものであるか、68年目の節目にしっかり学習したいものだ。ここに来て憲法改正の声も上がって、それが広がり始めている。確かに、北朝鮮の脅威や強くなり過ぎた中国による尖閣諸島における毎日のような領海侵犯などと平和と安全が脅かされる状況が増えているから、「自国の領土や国民の生命は自ら守るのだ。だから、憲法9条を改めよう。集団的自衛権が公使できるようにしよう」とか考える人達がポツポツと増えてきている感がある。先輩は68年以前のいつか来た道を歩んでいるかなと思うと言う。未来に起こる戦争の戦前とでもいうのだろうか。自衛のための戦争もやはり戦争であるから悲惨を伴うだろう。さらに、近未来に起こるだ

ろうと思われる東南海地震などのことを考えたりすると余りにもテーマが重すぎて心が潰れそうだ。

そこで今日は、気持ちが安らぐようなホッとするようなエピソードを見つけないかと思う。先月だったか、日本中が思わず笑顔になり、心が和んだことがあった。サッカー日本チームがワールドカップ出場を決定した時である。居酒屋、サッカーBarなどで観戦していた若者達が渋谷の町へ繰り出した。4年前には興奮したサポーター達が勢いにまかせて暴れ大混乱となったが、今夜は違った。沢山の人が集まったところで若い警察官がマイクを手話し始めた。

「日本チームのユニフォームを着た皆さん。皆さんは12番目の選手です。チームメートです。チームメートはルールを守りましょう。この良き日をおまわりさんも一緒に喜んでいきます。ルールを守り歩道に上がって下さい。警察からのイエローカードをもらわないようにしましょう。チームメートの皆さん、周りに立っている怖い顔のおまわりさんも一緒に喜んでいきます。」

こんな調子で、アドリブで声の調子、間も良く話しかけるのである。命令調ではなく語りかける。群衆も言われるままに動く。ついには拍手が起こる。手を振り、好意すら示す。最初に「皆さんが安全無事に家に帰るまでが応援です」と決める。この光景がテレビで全国に放映されて、日本中で嬉しくなった。ディスクジョッキーは若者の心を捕まえて放さない。付いたニックネームがDJポリスである。これはこの人のセンスと訓練の賜物であろう。このような人が周りにいると楽しいことであろうと思う。

こんな話がある。バスの中で、ヤンチャな子供が走行中も席を離れたり動き回るので、お母さんはほとんど手を焼いて困っている。ついに口走った。「運転手さんに叱られるよ！」これを耳にした運転手はマイクをとると、「運転手さんはやたら子供を叱りませんよ。お母さん、転ばぬように、ケガしないように、

しっかりみて下さいよ。お母さん、頑張っ
ね～」とアナウンスした。お母さんのチラア
ファーの様子が見えるようだが、何か一つ学
んだことだろう。おじさんに叱られる、おま
わりさんに叱られると安易に使うことは反省
すべきかな。

これは小生の会った場面である。数年前
の冬の夜、帰宅が遅くなり、すっかり暗くな
った我が家の前のバス停にさしかかった。そこ
では、2人の若い女性が楽しそうに談笑して
いる。側を通り過ぎようとした時、バスが入っ
てきた。一人は乗る人と一人は送る人である。
ドアが開いて飛び乗る。バイバイと別れ惜し
そうに、また手を振る。すると、バスの運転
手のアナウンスが流れた。「見送りありが
とうネ。見送るおネエちゃん、夜道は暗いから
気をつけて帰るんだよ。ありがとうネ。発車
しま～す」動き出したバスに残った方はペコッ
と頭を下げ、さらに大きく手を振り始めた。
今度は友達に半分、運転手に半分の気持ちだ
ろう。バスが見えなくなるとスキップしなが
ら帰って行った。小生も映画のワンシーンを

見ているようで床に着くまで嬉しかったもの
であった。このようなウィットに富んだトー
クとアクションが咄嗟に出るということは、
日頃から「空気を読む」豊かな言葉の引き
出しから瞬間的に取り出す訓練を積んでいる
からだろう。

我々の業界も国から決められた点数をいた
だく立場から患者さんの接遇には大いに気を
配ろう。負の気持ちで入ってくる方に言葉が
少なかったり、的外れの会話はマイナスであ
るから、心で寄り添い、笑いも引き出すテク
ニックの訓練も怠らないことだ。もし、患者
さんがポジティブな気分にすることで、あの
薬局は優れているなどという風評が聞こえたら、
DJファーマシストの名称を献上しよう
かな。いつだったか、投薬の際、ヒートをま
とめていると、患者さんが小生の手元を見つ
める。なんと不器用なことよと言っているよ
うだ。そこで小生が、「輪ゴムでまとめましょ
うね。心がワ（和）ゴムと言いますので」
「ハァー」とチョッピリ期待していた笑いが素
通りしてしまった。アイエナー。 橋の下

会報原稿募集のご案内

広報委員会

おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。
広報委員会では、会員の皆様からの原稿や
作品を多方面にわたり募集致します。活発な
御投稿をお待ち致しておりますので、是非、
御協力下さいますようお願い致します。

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願
います。写真の採否、掲載月については広報委
員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙
写真はカラー、カットについては白黒印刷と
なります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します（薬
剤師会活動や社会に対する本音など何でも結
構です）。日常業務の中での疑問、薬剤師会
活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売
等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

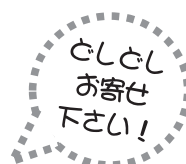
【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常
業務、過去、現在の職場に対する長短所・要
望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお
待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に
関する事、開業顛末記等、今後の進路を決め
る若い先生方へのアドバイス等についても募
集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集して
おります（手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳
句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポー
ツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報
告など何でも歓迎します）。



☆原稿送付先（会報に関する問い合わせ）

〒901-1105 島尻郡南風原町字新川218-10 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932
e-mail : kouhou@okiyaku.or.jp

慶弔関連

表彰 薬物乱用防止協会より感謝状を受賞



おめでとうございます

渡嘉敷 見先生 西 登貴世先生 玉山 善正先生

＜平成25年度薬物乱用防止協会総会＞

期日：平成25年6月20日(木) 会場：沖縄県薬剤師会館 ホール



左から受賞された渡嘉敷見氏、西登貴世氏、玉山善正氏

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

具志堅 興永 先生(享年73歳) 平成25年6月21日ご逝去



会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。

(香典・生花等の手配があります)

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしくお願いします。

【連絡先】県薬事務局：098-963-8930



誌上ギャラリー(裏表紙)について

左上：「タイムスリップ」 撮影地：首里殿内(那覇市)

photo by 比嘉 良喬(沖縄県歯科医師会長)

首里金城町の石畳にある、昔ながらたたずまいで、しばし喧噪な世界から逃避。

上：「蜜が吸いにくいなー」 撮影地：末吉公園(那覇市)

photo by 亀谷 浩昌(沖縄療育園)

針状の紅合歓の花を前に、蜜蜂が止まる場所を探して考え込んでいるようでした。

中央右：「まだ眠たい向日葵」 photo by 吉田 洋史(吉田薬局) 撮影地：宮古島

左下：「バンコクの寺院にて」 撮影地：タイ

photo by 平安山 春江(沖縄支部)

右下：「水前寺境内」 撮影地：熊本県

photo by 玉山 善正(東山調剤薬局)

第27回沖縄県薬剤師会学術大会の演題の募集について

会 員
部 会 長 各 位
地区支部長

沖 縄 県 薬 剤 師 会
会 長 神 村 武 之
〔 公 印 省 略 〕

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の学術大会を来る平成25年11月24日(日) 沖縄県薬剤師会館に於いて開催（特別講演会は沖縄県医師会にて開催予定）することになりました。

つきましては、下記により演題を募集致しますので、多数の申込を頂きますようお願い申し上げます。

記

1. 演題募集部会名：①保険薬局部会 ②学校薬剤師部会 ③女性薬剤師部会 ④公衆衛生部会
⑤行政薬剤師部会 ⑥病院診療所部会 ⑦卸勤務薬剤師部会 ⑧青年薬剤師部会
⑨開局部会 ⑩医薬品情報部会 ⑪試験検査センター

2. 発 表 時 間：一題 10分（発表8分、質疑応答2分）

①発表は口演（パワーポイント）発表を主とします。

②演題の応募状況によっては、発表時間を調整させていただくことがあります。

3. 演 題 申 込 締 切：平成25年9月27日(金)

4. 講 演 要 旨：A4版縦用紙1枚程度（1200字以内）にまとめ郵送またはメールで送付下さい。
（作成要領は裏面をご参照下さい。）

5. 要 旨 締 切：平成25年10月25日(金)

6. 申 込 先：〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 沖縄県薬剤師会館内
第27回沖縄県薬剤師会学術大会準備委員会
TEL (098) 963-8930 FAX (098) 963-8932
E-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

***大会プログラム及び大会参加申込書は、後日お知らせ致します。**

平成25年 月 日

第27回沖縄県薬剤師会学術大会 演題申込書

発表施設名 or 地区・支部委員会名・部会

演 題

所 属

電話番号

発表者（フリガナ）

（連名のとき演者に○印を）

所要器具（必要なものに○印を）

1. Power Point（パソコンプロジェクターは1台用意）
2. その他

※講演要旨作成要領は裏面に記載されています。

講演要旨作成要領

沖縄県薬剤師会学術大会事務局

1. 原稿をそのままオフセット印刷にかけて学術大会要旨集を作成しますので、次の要領で原稿を作成して下さい。
2. 講演要旨はA 4 版用紙を使用し、ワープロで作成して下さい。(A 4 用紙 1 枚にまとめて下さい。)
3. 演題、所属、氏名は下記の「作成見本」を参照して下さい。
4. 演題、所属、発表者氏名の欄は写植印刷致します。最上部の行から記入して下さい。演者の氏名には、先頭に○印を付けて下さい。
5. 作成見本

&&&&&&&&&

○##### #####
#####

[x].....
.....
[y].....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
[z].....
.....
.....

← 演題

← 所属 ○演者氏名 共同研究者名

← 本文

[目的]
[方法]
[結果]
[まとめ] 等

↑
← 用紙の上下左右は 1.5 cm程度空けること

編 集 後 記

広報委員長のうらかた日記なるものを書いた。実は報告記事が苦手、勝手気ままに書かせてもらった。しかしこれからは、堅い内容が書けるよう文章力に磨きをかけなければと思う。さて、広報委員会に新規メンバーが3名乱入（笑）。自分の年齢が後進の育成に励む齢だとやっと気づき、若い感性を大事にしつつ、「こき使うぞ〜」とほくそ笑む、新広報委員長であった。今後ともよろしくお願い致します。（クララ）

全国高校野球大会が夏の甲子園で開幕した。このところ雨らしい雨が無く、暑い日が続いている。炎天下、歩くだけでも目眩がする自分とは違う世界の人間のように、高校球児は暑さも関係ないとかに躍動している。これに似た感覚を編集委員会でも感じた。新たにエネルギーギッシュな若い人が一挙に3人も委員会に加わった。会報はさらにパワーアップして行くだらう。時々、マッカラーサーの気持ちがわかるような気がした。（亀）

薬剤師会の大先輩諸氏をお招きして毎年開催される「熟年の集い」で広報委員会メンバーが余興としてオカリナ演奏することになった。そもそものきっかけは某薬剤師会専務理事のT氏のオカリナの奥深い音色に心酔して、すっかりオカリナのとりこになってしまった某薬剤師会事務局のO氏の発案であった。オカリナという名前は知っているものの、実際にさわったこともなく、やみくもにネットで購入してしまったオカリナは、とても小さく、指が太くて不器用な私にはとてもとても歯が立ちそうもない。オカリナにはいろいろな種類があって、初心者にはほどほどの大きさで持ちやすい「アルトC管」がお勧めだそう。第1回練習会では、最初は「何の曲を吹いているのやら！」状態であったが、最後には曲の姿が見えてきた。「さすが！」である。（私はあえなく傍観者であったが…）期待できるかも！（ピアノ）

先日ドイツの友人から「今日気温が42度。沖縄より暑いでしょう。家にじっとしていても眩暈がする」とメールが。熱中症では即メールを返した。ドイツは涼しく、いや寒い国なので、暖房設備は整っているが、クーラー、扇風機なんて普通売ってない。何年か前の異常気象時にも扇風機が飛ぶように売れたと聞いた。さて日本では、テレビで「温度計が50度超えて測定不能」と言っている映像が流れている。ドイツに負けてないぞって、違うか。先週沖縄の知人を久しぶりに尋ねたところ、眩暈吐き気で受診したら熱中症と言われたと。聞けば、風通しがいい家なので、クーラーかけずに過ごしていたと。電気代節約のエコも考え物…さて、この友人がDrからもらったイオン水レシピ水1リットルに砂糖40g、塩3g。あれ？熱中症か？って時に、家であるものでまずは水分補給しましょう。（TOMO）

グッジョブサマースクールに参加してきました。子供達に何を伝えるか、薬剤師に興味を持ってもらうにはどうしたらいいのかゼロから企画を練り上げていきました。当日は小学1年生から中学2年生までの未来のかわいい薬剤師（？）が来てくれて熱心に目をキラキラさせて話を聞いてくれました。また、大人用の大きな白衣を来た子供たちがお母さんに記念写真を撮ってもらったりと、いい経験、記念になったことと思います。薬剤師はカッコいいぞ！って改めて感じた一日でした。（クロップ）

今年度より、広報委員を務めることになりました。青年部会長の石川恵市です。現在、若手薬剤師の交流を図るための事業活動として、講習会や懇親会（飲み会とも言いますが…笑）等に力を注いでいます。広報委員会の職務に携わることで、「読むのが楽しみ」だと感じて頂けるような会報作りを目指し、また会報を通じてどんな小さな事（もちろん、大きな事も!!）にも関わることで、皆様とコミュニケーションを取り、より一層密な関係を築いていきたいと思っています。向上心を持って取り組んでまいりますので、今後ともご指導ご協力の程、宜しくお願い致します。（ゴリ）

今回初めて広報委員に加わり、本誌の編集に関わることになりました伊敷です。（P.N.松）事務局のO氏より誘いがあり、こうして今回から関わらせてもらうことになりました…が、いまだ勝手がわからず、迷惑をかけてばかり。ベテランの諸先生方が不安になるのでは、と周りを見回せば意外や若手薬剤師の先生方の顔もちらほらと。おかげで少し気持ちの大きくなる自分がいました。これからよろしく願います。さて、後記といっても特に浮かばず近況の報告となってしまいますが、最近、我が家に一人家族が増えました。生まれたての子供の顔はサルのような、とよく言いますが、例にれず我が家の長男もサルでした。今のところ、妻と私のどちらに似ているとは言い難い状態ですが、とりあえず良いところは自分似だ、と主張し続けているところです。これから育てていくのに不安もあり、まだまだ未熟な私ですが、相手はさらに未熟な新生児。手をひねってあしらうつもりでしたが、如何せん相手は夜泣きのプロでした。いまはいかに彼を満足させて眠りに誘うか、研究に余念の無い日々となっています。妻の苦勞は推して知るべし…。（松）

暑い日々が続いておりますね。唯一すこししやすい時間が朝ですが、朝早く起きた時に外の涼しい風にあたり、スウェーデンにいたときのことを思い出します。緯度が高いので夏でも20度を越えることが少なく、大変過ごしやすいです。夏は白夜で陽が沈まないため、夜中まで友人たちと飲んでいても、昼間に素面で飲んでいるような変な気分になったものでした。スウェーデンでは、冬が真っ暗な分、真夏に日光に当たるとみなさん日光浴を楽しみます。私の出身が沖縄で海に囲まれていることを話すと、大抵の北欧人は羨ましがっていましたが、私自身は多くの日本人女性と同じく、紫外線が強い夏は真っ先に日陰へ。アジア出身の女の子友達は大体私と似ていました。今もインドア派ですが、太陽が貴重な北欧にいた時のことを思うとちょっと気持ちが外へ向きます。太陽の下、上機嫌にふふと笑う私。傍からみるとかなり怪しい。みなさまも、熱中症に気をつけて、楽しい夏をお過ごしください。（いさ吉）

沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937

■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932

■会営薬局うへはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567

■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

おきなわ薬剤師会報 第265号 平成25年8月18日発行

◇次号は、平成25年10月中旬発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 神村武之

編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／亀谷浩昌・池間記世・前濱朋子・砂川智子・鈴木一徳
石川恵市・伊敷松太郎・伊差川サヤカ 久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子
八重山地区通信員／宮良善朗 事務局／大城喜仁

印刷：有限会社 金城印刷

誌上ギャラリー

(会員作品)

お気軽にご投稿下さい。

